

白石市文化財調査報告書第56集

渡辺家文書Ⅲ

～現況目録3～

白石市教育委員会
渡辺家文書調査研究会

目次

- ④ 明治二〇年代前半の常林寺再築
- ⑤ 明治時代後期の投資活動

目次

II 目録

(W7|13|1) (W7|40|2|64) ……6

序文
凡例
調査参加者紹介

I 論考・解説

渡辺家文書目録Ⅲ～現況目録3～の概要
荒武 賢一朗……1

- ・本書の概要
- ・本書収載目録の解説
- ① 渡辺家の法要
- ② 戊辰戦争と白石
- ③ 取引関係の変化

序 文

平成二五年度より調査が進められている商家資料・渡辺家文書は、平成二七年度に「白石市文化財調査報告書第四九集 渡辺家文書Ⅰ（現況目録Ⅰ）」として発刊されてから、平成二八年度、そして本年度も渡辺家文書の調査報告書が発刊され、渡辺家文書を主体となって調査いただいている東北大学東北アジア研究センター准教授の荒武賢一朗先生の多大なるお力によって、当市にある商家・渡辺家がどのようなものであったか、一つ、一つ明らかにできております。

今回の現況目録の中にも、幕末に関わる文書も含まれ、荒武先生の解説においては元治元年に京都で起こった「禁門の変」を伝える文書などが取り上げられています。

白石にとって戊辰戦争は白石城が奥羽越列藩同盟の公儀府となり、同盟の拠点となるなど歴史の表舞台へ登場します。このような社会情勢のなかで、白石に住む人々はどのような状況に置かれていたのか、この渡辺家文書において、その一片を垣間見ることが出来ます。

その他にも、解説には渡辺家の法要などに関する資料や取引の資料、その他に「エドヒガン」でも有名な常林寺の再築に関する資料も紹介されています。現在も調査中の渡辺家文書ですが、引き続き多くの文書の詳細が明らかになっており、今後さらなる研究の推進が期待されます。

末筆になりますが、この報告書は、発刊にご理解を賜りました所蔵者の渡辺様、玉稿を賜りました荒武先生のご協力によって発刊することができました。心より御礼申し上げます。

平成三〇年三月

白石市教育委員会

教育長 武 田 政 春

凡 例

一、白石市・渡辺家文書は、同家に伝来してきた古文書から構成されている。調査途中のため総点数は不明（二〇一八年一月現在・約二万二千点）であるが、本書には二〇八三点の文書目録を収載した。

一、文書の整理は保存状況に応じて実施した。本書ではそのうち箱七の一部（W7-13-1、W7-40-2-64）を紹介するが、原文書は番号順で文書保存箱に収納している。

一、箱ごとの文書内部の配列は、保存状況に応じて文書番号を設定した。番号を設定後、内容が多岐にわたる文書については、枝番を付して詳細な情報を掲載している。

一、本書における文書目録の掲載項目は、箱番号・文書番号・枝番・表題（内容）・作成年月日・差出人・受取人・形態・状態／備考、の順番である。

一、表題は原題をもとに作成しているが、原題がない、もしくは主意内容の補記が必要な場合は、○内に必要な情報を記した。原文表記を尊重し、△で補足する場合がある。

一、差出人と受取人は原則として二名までを記載し、三名以上の場合は一名の記載と○内にその他の人数を記した。また、屋印（屋号・商号）は、「○」や「△五△」のように表記した。

一、破損などにより判読不能の箇所は、一字の場合「■」、二字以上または字数不明の場合は「□」で表記した。

一、年代不詳の場合は、「年月日未詳」などの表記をおこない、文書の内容やその前後関係などで推測できる場合には○で補足した。

一、字体は原文記載の通りを基本としているが、常用漢字を優先的に使用する場合を含む。

一、「渡辺・渡邊・渡部」および「儀蔵・義蔵・儀造」などの表記は原文にしたがって記載し、誤記と思われる名前などについてもそのまま表記した。

調査参加者紹介（五十音順）

荒武 賢一朗（あらたけ けんいちろう）

東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門准教授

白石市歴史文化アドバイザー

岡 慎太郎（おか しんたろう）

栃木県立黒羽高等学校講師

鬼丸 諒（おにまる りょう）

公益財団法人札幌市芸術文化財団職員

黒田 風花（くろだ ふうか）

東北大学大学院文学研究科博士後期課程在籍

清水 翔太郎（しみず しょうたろう）

東北大学史料館教育支援者

早坂 昌英（はやさか まさひで）

宮城県美里町立南郷中学校教諭

本木 成美（もとき なるみ）

松島町教育委員会教育課技師（学芸員）

渡辺 信男（わたなべ のぶお）

白石市文化財保護委員会委員長、渡辺家子孫

【謝辞】 渡辺家文書の調査は渡辺信男氏のご了解のもと、東北大学東北アジア研究センター、ならびに同センター上廣歴史資料学研究部門、白石市教育委員会生涯学習課の皆様方からの多大なご支援によるものである。本書の刊行には白石市教育委員会の皆様方、とくに生涯学習課の日下和寿、岸野太一両氏にご尽力を賜った。また、この調査の開始を企図された白石市図書館の櫻井和人氏には、現在に至るまでご助言をいただいている。関係各位に、記して謝意を申し上げる次第である（荒武）。

I 論考・解説

渡辺家文書目録Ⅲ〈現況目録3〉の概要

荒武 賢一朗

本書は、平成二五年（二〇一三）より現在まで継続中の白石市渡辺家文書の調査から、『渡辺家文書Ⅰ〈現況目録1〉』（二〇一六年、以下『目録Ⅰ』）、『渡辺家文書Ⅱ〈現況目録2〉』（二〇一七年、以下『目録Ⅱ』）に引き続き、目録の一部とその概要を紹介している。

これまでの調査の経緯や、渡辺家の歴史などに関する概要は、『目録Ⅰ』にて基本情報を紹介しているので、あわせて参照されたい。なお、『目録Ⅰ』および『目録Ⅱ』は発行部数に限りがあるため入手困難となっているが、白石市図書館、宮城県図書館をはじめ所蔵機関における閲覧ができ、また発行者である白石市教育委員会の委託を受けて、東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門のホームページにて全文をPDFファイルにてダウンロードが可能であるため、読者各位の積極的な利用をお願いしたい（東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門ホームページ <http://uehiro-tohokunet/>）。

また所蔵者で文書の研究を進めている渡辺信男氏の著書『ある百姓の覚え書き』（二〇一五年二月刊）は、大変参考になる文献である。この著書では渡辺家の歴史的な展開、家の由緒や領主・片倉氏との関係な

ど、豊富な情報が明らかになった。同書も、白石市図書館や宮城県図書館などで閲覧できるので、ぜひご参照いただきたい。

本書の概要

本書では、渡辺家文書の箱七に保管されている二〇八三点（同W7-13-1〜W7-40-2-64）の情報を収録した。この刊行によって三冊の調査報告書でおおよそ八千点の文書目録を公開できたことになる。本書で紹介する史料は、江戸時代の天明八年（一七八八）から明治四一年（一九〇八）にかけての商業関係文書と、渡辺家と白石の人々との交流を示すものを中心をなす。とりわけ幕末期から明治時代前期が大半を占め、戊辰戦争をはさんで激動の社会情勢に渡辺家や白石の住民たちがどのように向き合ったのかを示唆する文書も多く含まれている。ちょうど本書を刊行する平成三〇年（二〇一八）は戊辰戦争・明治維新から一五〇年という節目でもあるが、白石にとっては苦難と新たな展開を模索する時期だった。

明治一〇年代以降は年次が明らかになっているものが多数を占めるが、幕末維新期の文書は作成時期が判然とせず、「近世・年未詳」や「明治・年未詳」とする場合も年代は後日の検討を待たねばならない。いずれも現時点における推定であり、若干の「年次のゆれ」があることもご了解願いたい。

本書収載目録の解説

① 渡辺家の法要

目録の冒頭に登場するのは、渡辺家の法要に関する記録である。これは年代不詳の文書を含めておおむね天保年間（一八三〇～四四）に作成された。さきに紹介した『ある百姓の覚え書き』で渡辺信男氏が紹介する「渡邊家代々家系図」によると、六代・儀藏喜治が天保八年（一八三七）、その妻・倉は同四年、喜治の後を継いだ七代・甚藏喜伴の妻となった梅も同五年に亡くなっている。目録に掲出しているように、志弑妙預清信女なる戒名の女性は天保五年九月九日逝去とあるため、時期の合致する梅のことかもしれない。また、五代・與左衛門好直の妻も同六年に逝去したとあり、この数年にわたって相次ぐ葬儀と法要が営まれていたことが類推できよう。これらの記録は、故人を偲ぶ家族の手によるものだが、参列する親族や懇意の人々について名前がのこされており、渡辺家を取り巻く人的諸関係の重要な手がかりになる。

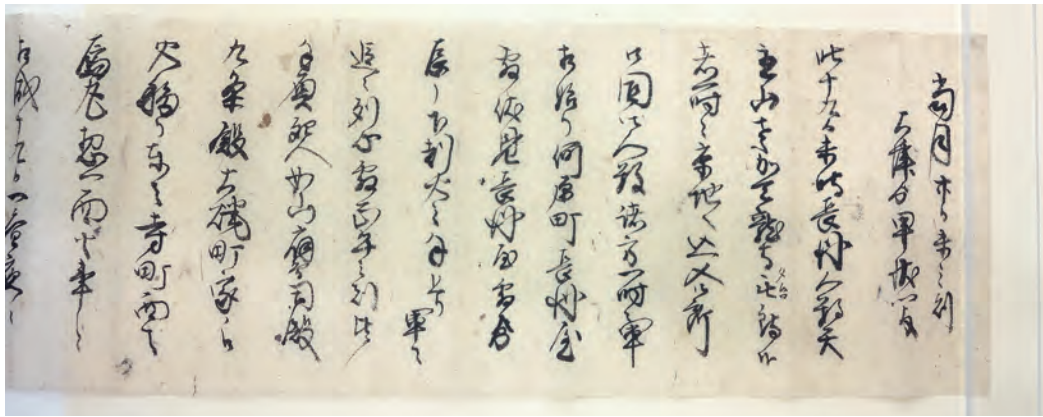
② 戊辰戦争と白石

慶応四年（一八六八）九月一五日、仙台藩の降伏によって白石の城下は大きな転換を余儀なくされる。この直後には官軍が片倉家領の中樞で象徴でもある白石城を接収し、武士や町人、百姓たちは経験したことの無い混乱に直面した。翌年（明治二年）六月には南部利恭が白石藩知事に任命され、南部藩士が白石に転入する。これは短期間に過ぎなかったが、白石の町・村に与えた衝撃は大きなものだったといえよう。

まず、片倉家中の武士たちは仙台藩（伊達家）からすると「陪臣」にあたるため、有無を言わず「帰農」することが命じられる。途端に行き場のなくなった武士たちの苦悩は計り知れないが、引き続き白石で暮らす者、仙台など他都市に行く人、そして新たな活路を見出すべく北海道開拓に向かう人々、といったようにさまざまな転身がみられた。いずれにしても決して生活が楽ではないことは想像でき、『目録Ⅱ』の論考で紹介したように、渡辺家の経営する質屋に刀を質入れする武士もいた。

山村と名乗る人物は、金二〇両を工面するため渡辺家に「一刀」を質入れしている（W7-15-95）。続いて維新の混乱期にあたる明治二年四月一四日、丹野直右衛門は渡辺義藏と甚藏に対し、「当国（片倉家および伊達家の領知）受難」を理由に「肥後守白包拵刀一腰」を金二五両で売却したいと手紙で伝えている（W7-15-206）。しかし、これはどうやら売買が成立しなかったらしく、丹野は同年一月に再び書状を甚藏に送り、刀を預けるので二五両を拝借したいと申し出ている（W7-17-2-1-4）。

明治二年の秋には、「蝦夷地御用金」という言葉が史料のなかにも表れてくる（W7-15-137/138・141；同年一〇月一日・一五日付け文書）。ここでは渡辺家が片倉家中の要請に応じて金二五両を出したことが示唆されるが、「預り」の文字がみえるので貸し付けたとみるだろう。従来、白石の北海道跋涉ほつしやうで述べられてきたのは「家来や有志の者を募って自費で北海道へ移住する」、移住を決意した者は「移住費用および入植後の生活費を用意するため、家屋敷や田畑を手放



して家財道具も整理する」、といった事例である。また、全体におよぶ費用として城下きつての豪商・山崎屋（米竹）清右衛門家から金三千両を借用したとされる（『白石市史一通史編』）。

政治体制の変革に伴い、生業である商売の大きな変化はもちろん、白石の社会が揺れるなかで渡辺家が戊辰戦争後にどのような動きを示していたのかを推測できる。

【写真】 禁門の変を伝える書状（W

7-17-2-2）

写真解説 元治元年（1864）7月、京都では長州藩と会津・桑名藩の軍事衝突が起こった。その様子について大津（現滋賀県大津市）から江戸の長谷川次郎兵衛家（長山三三）へ伝えられ、渡辺家に情報が飛び込んだようである

③ 取引関係の変化

これまでの『目録Ⅰ』と『目録Ⅱ』の論考では、江戸時代後期から渡辺家が仙台領内にとどまらず、江戸・福島・山形などの商家と濃密な取引関係を持っていたことが確認できる。本書でも幕末期から明治初年においては江戸大伝馬町の長谷川次郎吉、次郎兵衛（おおよそ四〇点ほどの書状）とのやりとりがうかがえる。長谷川家と並び「伊勢商人系」の川喜田久兵衛家とも明治六年（一八七三）に横浜の貿易関連で往来があったと認められる。いずれも数十年に及ぶ「懇意の関係」にあった有力な取引相手だが、連絡自体は明治一年を最後になくなっていく。これにはいくつかの背景が考えられるが、大きな要因としては渡辺家および長谷川、川喜田両家でそれぞれの経営動向からお互いを必要としなくなったといえる。そのうえであくまでも推測の域を出ないが、渡辺家文書からすると「伊勢商人系」と入れ替わるように、「近江商人系」との接点徐徐に深まっていく様相が見受けられる。

明治三年には塚本兵右衛門から商品代金百両を受領した書状（W7-17-3-3）、紅定（塚本定右衛門）から代金七百両余りを催促する文書（W7-17-4-6）、さらに時代を経て明治二九年（一八九六）から三三年にかけて塚本仲右衛門（W7-22-101-13・145、W7-31-7など）との商品取引があった事情がみえてくる。いずれも近江国（現滋賀県）出身の商家で、仙台などに出店（支店）を設け、東北地方一帯で手広く呉服や木綿などの商売を展開した。なかでも塚本仲右衛門家は仙台の大町四丁目に店を構え、渡辺家とも密接な関係

を持っていた。このような近江商人系の商家が渡辺家文書に登場するのは幕末期以降だが、明治時代後期に至ってもなお継続した関係を認めることができ、その一方で「伊勢商人系」の名前は目立たなくなっていくという変化を指摘しておきたい。

④ 明治二〇年代前半の常林寺再築

時宗の名刹・白石山常林寺は、正中二年（一三二五）に開山したと伝えられ、片倉小十郎景綱の時代に現在地へ移転したといわれる。渡辺家文書には寺社との関係もたびたび登場するが、明治二〇年（一八八七）に始まった常林寺の再築工事についてまとまった史料がある（W7-27）。これによれば同寺本堂の普請計画が出てきたのは明治二〇年三月のことで有志一同が志納金をもってこの事業が動き出したことがわかる。翌年の文書では、大工に対して本堂工事費六六円などが支払われ、檀家一同による寄付金集めと、工事費の支出が細かく記された。さらに同二二年に入ると、工事で使用する木材や瓦の運搬や、大工および手伝などが作業に従事したことが示されている。この再築の終盤となった同二三年には「外縁」や「本堂屋根葺き替え」がおこなわれ、一連の工事が完了した。

寺社の修築や寄進に関しての文書はほかにも存在し、白石町民の協力関係や当時の普請についての詳細な情報を得ることができる。

【写真】 常林寺本堂普請の記録

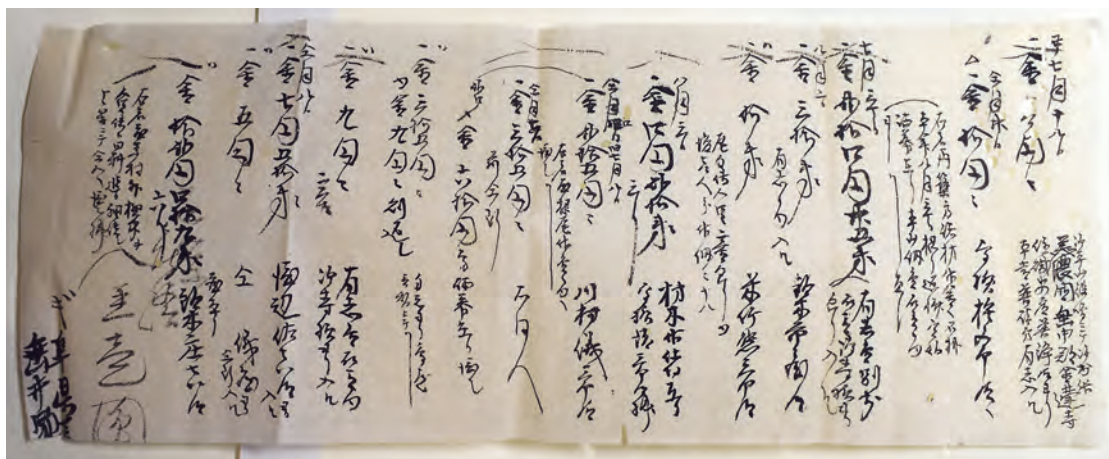
(W7-27-1-4)

— 53 —

写真解説 常林寺の再築に関しては白石および近隣地域から多額の有志金（寄付）が集まった。この文書では寄付金や材木代金を書き取って勘定をしている。

⑤ 明治時代後期の投資活動

近代日本において初めて会社法が制定されたのは明治二三年（一八九〇）で、現在の商法・会社法の原型となる改正は明治三二年（一八九九）となっている。また、明治時代の株式会社設立の動きは非常に活発で、とくに建設および運営資金を株式発行で賄う鉄道会社は沿線のみならず遠方からの投資を呼び込む必要があった。



明治三〇年代の文書には、渡辺家が株式投資をおこなっている様子が明らかになっている（W7-22）。鉄道関係で列举すると、日本鉄道、東浜電気鉄道、横浜鉄道、関西鉄道、北海道鉄道、山陽鉄道、京都鉄道、京阪電気鉄道など多方面に及ぶ。これ以外の他業種に目を向けると、日本織物、米沢水力電気、日本煉炭などがある。さらに地域の金融機関にも、白石商業銀行をはじめ、宮城商業銀行、宮城県農工銀行に対して出資がなされた。個別の事例について子細をひもとくと、それぞれの投資について思惑があり、また時代を読む経営感覚を垣間みることができよう。

以上の紹介はごく一部に過ぎないが、読者に目録を確認していただき、新たな史実の発見につなげてくだされば幸いである。なお、渡辺家文書の調査・研究は引き続き白石市教育委員会をはじめ、地元の人々のあたたかい支援によっておこなわれることを付記し、ひとまず筆を擱くこととする。

【写真】 常林寺のエドヒガン



目 録

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形態	状態／備考
W7	13	1			初七日法事(御寺様・加藤孫助様など参列者書上)	(天保6年)			状	こより共
W7	13	2			(覚、伊太右衛門殿など人名書上)	(天保6年)			状	
W7	13	3			(覚、小関慶次殿など人名書上)	(天保6年)			状	
W7	13	4			臨阿雪翁信士五十年忌・光阿明論善信士一周忌法事御支(御寺様・加藤四郎兵衛様・岩山操様など参列者書上)	(天保7年)十月十二日			状	
W7	13	5			(覚、御佛へ推茸五十・湯は五ツなど書上)	(天保6年)	新宅		状	
W7	13	6			(覚、志弍式妙預清信女七回忌・見夢善童子十七回忌法事参列者書上)	天保十一年子八月十九日			状	
W7	13	7			(覚、まんちう百五十書上)	天保十年六月九日	新宅	御本家様	状	
W7	13	8			(覚、快弍妙樂信女五十回忌・志弍妙預清信女十三回忌・見夢善童子二十三回忌法事参列者書上)	(弘化3年8月)			状	快弍妙樂信女=寛政九巳閏七月三日・志弍妙預清信女=天保五年九月九日・見夢善童子=文政七年申七月廿日(逝去か)
W7	13	9	1		(覚、三十五日待夜御布施・施餓鬼方御布施金書上)	(天保6年)			状	
W7	13	9	2		光阿明論善信士三十五日法事御支覚	(天保6年)			状	
W7	13	9	3		壽室貞勝清大姉七回忌(参列者書上)	天保六未年十月廿一日			状	
W7	13	10	1		(覚、光阿明論善信士七回忌・恵妙童女・幻光童女一周忌法事参列者書上)	(天保12年3月14日)			状	
W7	13	10	2		(覚、御佛様式人前・御客様四拾人前・五文餅百五十など法事酒食書上)	(天保12年3月14日)			状	
W7	13	11			御法事献立	(天保12年)六月十九日			状	
W7	13	12			(覚、現阿了春善信士三拾五日法事御支、参列者書上)	(近世・年月日未詳)			状	破損あり
W7	13	13			(覚、阿子島九郎次殿ほか24名の名前書上)	(近世・年月日未詳)			状	2紙1点
W7	13	14			覚(渡部甚蔵次女、昨十一日晚死去につき)	(近世・年月日未詳)	渡部甚蔵		状	
W7	13	15			法事御支(但室妙愛信女三十七回忌・光阿明論善信士三回忌・光弍貞照清信女七回忌・晚覚童女二十七回忌につき)	天保十年亥六月九日			状	
W7	13	16			法事口使帳(哲言宗知信士など法名書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	14	1			(覚、小児葉王肝臓丸の用法・用量・効能など書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	14	2			(御句書上、炭籠のけむりにおよぶ野風哉などにつき)	天明八年申の初冬			状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	15	1			(書状、昨日一寸御伺い申上候につき)	(近世・年未詳) 廿七日	左吉	清右衛門様	状	こより共
W7	15	2			(書状、引続不作ゆえ仕金御扱分御助け願いにつき)	(近世・年未詳) 十二月廿八日	大畑屋太平	寿丸御主人様	状	
W7	15	3			覚(金子明日迄に御かし成し下されたく候につき)	(近世・年未詳) 十二月廿九日	つゝみ	義藏様	状	
W7	15	4			(書状、十月下旬より山川酒造相始め大分流行なごにつき)	(近世・年未詳) 極月廿六日	桑折・与惣左衛門	渡邊尊兄様	状	
W7	15	5			(書状、下の座敷へ酒通のもの佐助一寸差置申付候につき)	申(近世) 二月廿五日	<ジ>ガミー→平内	○御主人様	状	
W7	15	6			(書状、私事久々隠療にて難義、壹両日漸く床の内にて起居のため式装金仙台手形で下されたく候につき)	(近世・年未詳) 十二月廿三日	権太	義藏様、豊吉様	状	
W7	15	7			口上(先日御主人様より御病人様のため一寸罷出候様仰せ下され候などにつき)	(近世・年未詳) 十月一日			状	
W7	15	8			(書状、金三両拝借、御手元へ上げ置候につき)	(近世・年未詳) 十二月廿四日	つゝみ	義藏様	状	
W7	15	9			(書状、別紙指上候用事ばかり申上候につき)	(近世・年未詳) 八月廿一日	大河原・藤兵衛	御城下中町・渡邊屋甚藏様	状	
W7	15	10			(書状、御買入之分、仙表よりも仰せ下され承知仕候につき)	(近世・年未詳) 十二月二日	米吉(印、<マホシ>仙台・武者・荒浜)	儀藏様	状	
W7	15	11			(書状、正金廿貳両指し下され候につき)	(近世・年未詳) 十二月廿三日	大河原・藤兵衛	白石中町・渡辺屋甚藏様、傳六様、半兵衛様	状	
W7	15	12			下の屋敷之内座金(覚、下の抱屋敷之内座敷へ住居致し候由、初而今日承りにつき)	(近世・年未詳)			状	
W7	15	13			(書状、去年中御割御不足のため其時々御入用の御御買上成され候につき)	(近世・年未詳) 八月十八日	加藤庄吉	渡辺儀藏様	状	
W7	15	14			覚(上々式丸代金半切御渡し下されたくにつき)	(近世・年未詳) 十九日	御用達所	渡義様	状	
W7	15	15			(書状、安齋様へ味噌代金御遣し成し下さるべく候につき)	(近世・年未詳) 六月廿九日	御用達所・儀兵衛	渡儀御店	状	
W7	15	16			(断簡、手形志持入)	(近世・年未詳) 三月八日	渡辺甚藏		状	
W7	15	17			(書状、品切之ものは店之者方申遣候間、相送り下され候様御願いにつき)	(近世・年未詳) 十二月五日	相原太兵衛	渡辺屋甚藏様	状	前欠 文書前半部分は W7-15-24にあり
W7	15	18			(書状、私共も在郷人に相成、孫も引越明け渡し、又々何角費用立て込みにつき)	(明治2年) 九月廿九日	つづみ	義藏様、豊吉様	状	
W7	15	19			(書状、庵水花拾反御足し加え、此者へ御遣し成し下されたくにつき)	(近世・年未詳) 十二月廿二日	渡辺屋儀藏、甚五郎(印、○・奥州・白石・中町・渡部屋)	熊谷屋善兵衛様、大治郎様、御店中様	状	
W7	15	20			(書状、塩直段の義につき)	(近世・年未詳) 十二月二日	東吉(印)	義藏様	状	
W7	15	21			口上(当春中より御頼みの金代行き違いにつき)	(近世・年未詳) 貳月廿八日	文治	御本家二而・渡辺屋御手代様	状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7 15 22					(書状、此頃御頼み候趣秋具の儀、只今如何御始末下され候哉につき)	(近世・年未詳)九月廿六日	草刈福五郎	渡辺儀藏様	状	
W7 15 23					(書状、夏中御談じ申上候一条につき)	(近世・年未詳)十月八日	左吉	儀藏様	状	
W7 15 24					(書状、店へも御立寄下され候趣も申聞候につき)	(近世・年未詳)十二月五日	相原太兵衛	渡辺屋甚藏様	状	後欠 文書後半部分は W7-15-17 にあり
W7 15 25					(書状、昨晚御頼みの金子借用致したく、および薄地四反御廻し致し候につき)	(近世・年未詳)九月廿九日	青木・小島内	渡部屋儀藏様	状	2紙1点
W7 15 26					(覚、只今直々罷出、一寸御待ち下されたく候につき)	(近世・年月日未詳)	佐六	義藏様	状	
W7 15 27					覚(菅分銀拾五切手形につき)	巳(明治2年)九月廿日	渡邊屋儀藏(印、○・奥州・白石・中町・渡部屋)	小原村・太郎右衛門殿	状	
W7 15 28					口上(糸御見出に相成、此節御廻し下されたく、および塩巻升借用願いにつき)	(近世・年未詳)九月三十日	鈴木軍治	渡部甚藏様	状	
W7 15 29					(書状、桑折分の渡り金、平治郎殿持参・御預り申上候につき)	(近世・年月未詳)朔日	忠兵衛	渡義様	状	
W7 15 30					覚(ちり紙百四拾駄代金巻両巻朱ト錢三百文勘定につき)	(近世・年月日未詳)	半兵衛	渡部屋傳六様	状	
W7 15 31					口上(急入用のため分札拾両拜借仕りたく御願いにつき)	(近世・年月未詳)廿八日	○		状	
W7 15 32					(書状、金弍十切錢札取合御かし下されたく願いにつき)	(近世・年未詳)十二月廿八日	つゝみ	義藏様	状	
W7 15 33					(覚、紙布四反代金四両巻弍朱上納成し下されたく候につき)	(近世・年未詳)八月廿五日	御用達所	儀藏様	状	
W7 15 34					(覚、只今飛脚にて申候間、早速御達し成し下されたく候につき)	(近世・年月未詳)廿五日	清右衛門	義藏様	状	
W7 15 35					(覚、葦半切の事御しらせ下さるべく候につき)	(近世・年月未詳)廿三日	御用達処	渡邊義藏様	状	
W7 15 36					覚(銀三十拾両など両札切かへにて下さるべく候につき)	(近世・年未詳)十二月廿九日	大河原・藤兵衛	白石・渡部屋甚藏様、傳六様	状	
W7 15 37					(書状断簡、中々当分御帰府の様子も相見得申さず候などにつき)	(近世・年月日未詳)			状	前後欠
W7 15 38					(書状断簡、桑折分飛脚参り、今夕中に武藤様へ罷出候などにつき)	(近世・年月日未詳)			状	前後欠
W7 15 39					(書状、下店分とも大川原佐藤屋庄次郎殿方へ引き受けくれ候などにつき)	(近世・年月未詳)廿八日	新店々	御本店様	状	
W7 15 40					覚(分紙代金六切三朱ト代三百文勘定につき)	(近世・年未詳)十月十一日	半兵衛	渡部屋傳六様	状	
W7 15 41					(書状、品々入御貴家様より相預りくれ候様に御座候処、其後席義無く御預り仕らず候につき)	(近世・年月未詳)廿九日	左吉	御本家様	状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7 15	42				(覚、醬油かす式升ばかり御意申上候につき) (断簡)	(近世・年月日未詳)		渡邊儀藏様	状	
W7 15	43				(覚、金札八拾三両式分書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W7 15	44				(覚、荷物志ツメ拾状巻包請取につき)	(近世・年月日未詳)		奈良屋八兵衛(印)	状	
W7 15	45				(書状、先日金九切三朱御遣し下され候内、沓歩取替依頼につき)	(近世・年月未詳)十月二日	田町・石井持郎	中町・渡部義藏様	状	
W7 15	46				(書状、御光来など御札につき)	(近世・年月未詳)十二月十三日	熊谷屋善兵衛	渡部屋儀藏様、御店様中	状	
W7 15	47				(覚、川幸殿へ杉原百帖など人名・商品書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W7 15	48				(書状断簡、嚴寒之御二御座候条などにつき)	(近世・年月日未詳)			状	後欠
W7 15	49				(書状、今日迄に金三両御かし下され候由御紙面に御座候につき)	(近世・年月未詳)十二月廿三日	つ、み	義藏様	状	
W7 15	50				(覚、大川原・金八両式分三朱など書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W7 15	51				(断簡、御当日は)	(近世・年月日未詳)			状	
W7 15	52				(書状、代式十貫を一両日のうちに御貸し下されたく候につき)	(近世・年月日未詳)十月廿日	◇ゾギミー→平内	○甚藏様	状	
W7 15	53				(書状、弁小弁は式、三日中に御下知成し下さる旨の由につき)	(近世・年月未詳)廿日	左吉	儀藏様	状	
W7 15	54				(書状、相談いたし置候塩式百俵、昨日入津仕候につき)	(近世・年月未詳)十月十日	奥津正左衛門	渡邊儀藏様	状	
W7 15	55				(覚、飯測惣吉様など人名5名書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W7 15	56				(書状、豊川様昨日御出立の由につき)	(近世・年月未詳)九月十六日	さ吉	義藏様	状	
W7 15	57				(覚、錢貳百枚御遣し成さるべく候につき)	(近世・年月未詳)五月廿五日	儀藏	甚藏殿	状	
W7 15	58				(覚、卯十一月一日古額金拾五両・同十一月廿九日同式拾両御世話につき)	(近世・年月日未詳)		渡邊様	状	
W7 15	59				(覚、江戸大傳馬丁長谷川次郎吉殿への渡し金百四拾五両為替手形)	慶応三年卯ノ十二月十二日	奥州白石・渡部屋儀藏(印、 ○・奥州・白石・中町・渡部屋)	大坂瓦町中橋西江入・泉屋 孫助殿	状	全体轉引抹消
W7 15	60				(書状、此度有り難き御沙汰有り、品物代金御渡し願いなどにつき)	(近世・年月未詳)八月三日	運助	清右衛門様(五か3名)	状	前欠カ
W7 15	61				(覚、醬油拾貳代錢八百文のうち式百文請取につき)	(明治2年)ノ十一月廿三日	渡部屋儀藏(印)	阿子嶋九郎次様	状	
W7 15	62				(覚、水澤へ式升之高相成候につき)	(近世・年月未詳)十一月	外・忠兵衛	渡義様	状	
W7 15	63				(書状、只今私人用出来にて百両斗借願いにつき)	(近世・年月未詳)十月十一日	落合善兵衛	渡邊儀藏様	状	
W7 15	64				(書状、持病再発のため此頃御無沙汰などにつき)	(近世・年月日未詳)			状	後欠
W7 15	65				(書状、御世話になり御礼などにつき)	(近世・年月日未詳)			状	後欠
W7 15	66								状	後欠

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	15	67			(書状、正米私方に相成候願書抜き出しにつき)	(近世・年未詳)十月十九日	さ吉	儀藏様	状	
W7	15	68			(覚、左吉事病気のため各様方早々御出金下されたく候につき)	(近世・年未詳)九月廿九日	渡邊儀藏	米竹清右衛門殿、菊地十郎左衛門殿	状	
W7	15	69			(覚、私事志向日以前々風邪にて療治後に出勤仕るべく候につき)	(近世・年未詳)九月廿九日	十郎左衛門	義藏様	状	
W7	15	70			覚(金澤六拾刈・大畑前三拾刈など書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	15	71			(書状案、此節塩私底のため迷惑に及び、山形表において買調候などにつき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	15	72			口上(野田様明日御出立払いに相成申候につき)	(近世・年月未詳)廿日	御用達所	渡邊屋様	状	
W7	15	73			(覚、巻升三ツなど数量書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	15	74			(覚、絹六拾反代銀メ四貫三百十四匁五分など勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	15	75			(書状、六月拝借の元利金、実々長々に相成恐入申候などにつき)	(近世・年未詳)十月五日			状	
W7	15	76			(書状断簡、極内用)	(近世・年月日未詳)	立羽浅治	渡部儀藏様	状	
W7	15	77			(書状、今日御家中一統分儀金取立勘定のため同役兩人御用処へ出席につき)	(近世・年未詳)九月廿九日	治武右衛門事・廓番	御用処・渡部義藏殿、渡部庄吉殿	状	
W7	15	78			(書状案、一昨日は御光来仕合に存じ奉り候などにつき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	15	79			(覚、国分三治郎をもって借用の金五拾切証文持参につき)	(近世・年未詳)十月四日	遠藤鶴三郎	渡部義藏様	状	
W7	15	80			(覚、両礼五両御引替下されたく候につき)	(明治・年月未詳)五日	栄治郎	○御兄様	状	
W7	15	81			口上(塩巻使参り申さず候につき)	(近世・年未詳)十月六日	つゝみ	義藏様	状	
W7	15	82			(書状、昨日願事仕候如何御心配成し下され候哉につき)	(近世・年月未詳)廿二日	忠吉	渡儀様	状	
W7	15	83			(書状、米代金私方へ御届ケ下され候につき)	(近世・年月日未詳)			状	後欠
W7	15	84			(書状、白五反などメ八反入帳、および金廿切御かし下されたくにつき)	(近世・年未詳)十月十四日	つゝみ	義藏様、豊吉様	状	
W7	15	85			(書状、何分御早く仰せ立てられたくにつき)	(近世・年未詳)十月十四日	御銀	渡義様	状	
W7	15	86			(書状、福島方米菜之義、御内々出廻様の御談じにつき)	(近世・年未詳)十月九日	左吉	儀藏様	状	
W7	15	87			(書状、御当日目出度存じ奉り候につき)	(近世・年未詳)十月六日	栄治郎	○御兄様	状	
W7	15	88			(書状、只今金札格別直段引上りにつき)	(明治・年未詳)十月五日	甚兵衛	義藏様、左吉様、平内様	状	
W7	15	89			覚(小山村荷物三駄書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	15	90			覚(すこ入拾俵など荷入罷成申候につき)	(近世・年未詳)九月廿二日	山馬佐兵衛	○御主人様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	15	91				(書状、東京方分申すは御ふる屋分御示談をもつて拾五両御借入、および登せくれ候趣などにつき)	(明治・年未詳)六月十二日	新宅・左吉	御本家・儀藏様	状	
W7	15	92				(書状、金札と額判引替の儀願ひ上げ候につき)	(明治・年未詳)十月廿八日	儀左衛門名改・恒吉	渡邊儀藏様	状	
W7	15	93				(書状断簡、態々飛脚ヲ以啓上仕候)	(明治・年月日未詳)			状	後欠
W7	15	94				(書状、甚蔵方へ御相談、金八両御遣しの由御約定行き違い候事二而へ迷惑につき)	(明治・年月日未詳)			状	後欠
W7	15	95				(書状、額判式拾両計り入用のため何卒御心配申上候、および今・明日のうち一刀御預りの上、式拾両御貸し下されたく候につき)	(明治・年未詳)十月十六日	山村	渡部様	状	
W7	15	96				口代(しふゆり一字荒札に相成候につき)	(明治・年未詳)八月十二日	新町分・庄三郎	本町・儀藏様	状	
W7	15	97				(書状、昨日分頭痛いたし平臥仕居候、および上納金十両丈御渡しにつき)	(明治・年月日未詳)	菊地義兵衛	渡邊義藏様	状	
W7	15	98				(書状、為替之儀一円申され、勿論東京計りにも厳しく遣し候訳につき)	(明治・年未詳)八月廿二日	山久郎	渡儀様	状	
W7	15	99				(覚、水沢行飛脚御手数ながら役所へ御遣し下されたく候につき)	(近世・年未詳)十月十日	御用達所	渡辺儀藏様	状	2紙1点
W7	15	100				覚(渡辺屋儀歳吉貴式百文御用書上)	(近世・年未詳)八月廿二日			状	
W7	15	101				(書状、先刻仰せ付けられ候式品代銀御立替御遣し下されたくにつき)	(近世・年未詳)七月二日		御しち屋義藏様	状	
W7	15	102				(書状、町々御都合御通達成し下されたく別紙相添え願ひ上げ候につき)	(近世・年未詳)十二月廿日	寿丸	角田様	状	端裏に「別紙入」とあり
W7	15	103				(書状、銀子送付のため紙荷物送り成し下されたく願ひ上げ候などにつき)	(近世・年未詳)十二月十七日	国井屋清次郎	寿丸御主人様	状	
W7	15	104				(書状、駄ちんの割合成し下されたく願ひ上げ候につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	15	105				覚(金札三拾両御預り申上候につき)	巳(明治2年)ノ八月七日	渡辺屋甚蔵(印)	山田秀之助様	状	
W7	15	106				(書状、馬吉足御頼み、新右衛門様ニも何分御示談下され候様願ひ上げ候につき)	(明治2年)十月十一日	清吉	渡儀様	状	
W7	15	107				(書状、三浦屋為替の義昨日相渡し候間、渡り次第御案内申上候につき)	(明治2年)十二月十八日	中屋平兵衛	渡邊屋儀藏様、御店衆中様	状	
W7	15	108				(書状、調達金治武右衛門殿へ御出勤、御見聞下され候につき)	(明治2年)十月十四日	吉田忠七郎	渡部儀藏様	状	
W7	15	109				(書状、私分御伝え申上、御繰合一寸も御出下され候につき)	(明治2年)十月十四日	渡儀藏	菊地十郎右衛門様	状	
W7	15	110				(覚、長持沓、此者へ一寸御渡し下されたく候につき)	(明治2年)十二月十九日	才藤勇	渡部儀藏様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	15	111				(書状、金入用之儀出来致し、別紙包六両手配につき)	巳(明治2年)ノ十二月廿日	徳恣名改・本澤大次郎	渡部儀藏様	状	
W7	15	112				(書状、白ち、み四反など入帳、金札三両など御かし下されたく候につき)	(明治2年)十二月廿日	つ、み	義藏様	状	
W7	15	113				(書状、南部味噌九拾樽余約定いたし、手附金廿両儀兵衛様へ渡し申置候につき)	(明治2年)十月廿七日	佐藤新左衛門	渡辺儀藏様	状	
W7	15	114				(覚、醬油壱升代銭六百文など書上)	巳(明治2年)ノ八月七日			状	
W7	15	115				(書状、御預物方今日先方より首尾御願いにつき)	(明治2年)十二月六日	<ナル久>栄治郎	○御兄様	状	
W7	15	116				覚(嶋ち、み五反・白ち、み壹反御入帳成し下されたく候、および金札二両も五両御かし下されたく候につき)	(明治2年)十二月六日	つ、み	義藏様	状	
W7	15	117				(書状、佐藤様之御状など委細承知、および短ヶ町大畑へも割合申置候などにつき)	(明治2年)八月廿五日	菊地十郎左衛門	米竹清右衛門様	状	
W7	15	118				(書状、来扶住り一見のところ、何れ道中行き違ひもあり、大いに安心仕候につき)	(明治2年)八月廿四日	清右衛門	佐吉様、義藏様	状	
W7	15	119				(覚、戌・卯代などメ金六十六両貳分貳朱勘定につき)	(明治2年)			状	
W7	15	120				覚(塩宮升代銭引替につき)	(明治2年)八月廿八日	御用達所(印)	渡辺屋儀藏様	状	
W7	15	121				(書状案、塩払底のため他領塩にて買入、当分少しすつも払方仕りたく、最上辺手配のところ案内高直につき)	(明治2年)			状	
W7	15	122				覚(金貳両手形につき)	巳(明治2年)ノ八月十八日	渡部屋儀藏(印)、○・刈田・白石・渡部)	川村屋庄輔様	状	
W7	15	123				覚(たまり拾盆、此者に御払い下されたく候につき)	(明治2年)八月廿三日	上小原肝入・長十郎(印)	渡邊屋儀藏様	状	
W7	15	124				口演(金子柳く調達仕候、まず返上致したき心組につき)	(明治2年)八月廿九日	片平與左衛門	渡部甚藏様	状	
W7	15	125				(書状断簡、此間中入用方などにつき)	(明治2年)			状	
W7	15	126				(書状、忠兵衛殿内談のため拙宅迄入来の由につき)	(明治2年)			状	前欠カ
W7	15	127				(書状、塩方之義、昨十二日朝御光来下されたく候などにつき)	(明治2年)			状	後欠
W7	15	128				(書状、借仕候両札御扱いにつき)	(明治2年)八月五日	さ吉	儀藏様	状	
W7	15	129				(書状、五月中塩御払に相成候、受取手形相廻され候様申置候につき)	(明治2年)八月廿三日	渡邊儀藏	塩問屋・十郎左衛門様	状	
W7	15	130				(覚、惣メ金八拾壹両三分・三百三十文勘定につき)	(明治2年)			状	前欠カ
W7	15	131				(書状、漆物仕込方へ入用のため塩宮儀御通り願いにつき)	(明治2年)十月十二日	田町・石井梅助	中町・渡部義藏様	状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	15	132			(書状、御用向御座候ため下向につき)	(明治2年)十月十五日	長谷川次郎吉・長七、新七 (印)	渡邊屋儀藏様、御店御中様	状	
W7	15	133			(書状、伊達出し御見届け願いたくにつき)	(明治2年)	白石町・儀藏、同町御判肝 人・傳五郎(印)	渡邊様	状	
W7	15	134			(書状、急之入用出来候ハ、別紙小量分御渡し下 されたく候につき)	(明治2年)八月廿日	村井岡兵衛	渡邊様	状	
W7	15	135			(書状、水沢への文通御見合相成候につき)	(明治2年)十月四日	勇治	儀藏殿	状	
W7	15	136			(書状、頃日會計ニ而都合仕候六百五拾貫文、此 もの共ニ御渡し成し下されたくにつき)	(明治2年)十月十三日	左吉	甚藏様	状	
W7	15	137			(書状、蝦夷地御下候方御用金御渡し下さるべく につき)	(明治2年)十月十五日	吉田忠七郎、草刈富五郎	渡辺儀藏様	状	
W7	15	138			覚(蝦夷地方金貳拾五両預りにつき)	巳(明治2年)ノ十月十四日	渡辺儀藏(印)	吉田忠七郎様、草刈富五郎 様	状	
W7	15	139			(書状、金巾直違仰せ下され相改め、此方間違 いにて御直し御壳捌成さるべく候につき)	(明治2年)十月十四日	渡部屋義藏	三浦屋又重郎様、御店中様	状	
W7	15	140			覚(餅米貳升御かし下されたく候につき)	(明治2年)九月廿九日	渋谷善兵衛(印)	渡辺義藏様	状	
W7	15	141			覚(日下仁右衛門など蝦夷地方御役金貳百切上 納成され候につき)	(明治2年)十月十四日	吉田忠七郎、草刈富五郎	渡辺儀藏様	状	
W7	15	142			覚(手間ちん金三朱御渡し成し下されたくにつき)	(明治2年)八月十四日	慶治	甚兵衛様	状	
W7	15	143			(書状断簡、昨日は御馳走様在り難く仕合に存じ 奉り候)	(明治2年)			状	
W7	15	144			(書状、此度東京荷物着仕候間、多少に限らず御 用向仰せ付けられたく願ひ上げ、および佐吉様 御病気の件につき)	(明治2年)十月十日	中屋吉太郎	渡邊屋儀藏様、豊吉様	状	
W7	15	145			(覚、薪沓間代金三歩沓朱前後(ほか米・大工口料・ 炭など書上)	(明治2年)			状	
W7	15	146			(書状、金沓両御落手成し下されたく候につき)	(明治2年)十月十五日	山村亮平	渡部甚藏様	状	
W7	15	147			覚(ちきざ料一挺、此ものに御かし下されたく候 につき)	(明治2年)九月十六日	渋谷吉兵衛	渡辺儀藏様	状	
W7	15	148			覚(紙代金のうち拾五切御預りにつき)	明治二年九月廿八日		小原村・太郎右衛門殿	状	
W7	15	149			(書状、今朝腹痛全快、是より官所へ罷出、彼品の 儀承り候所などにつき)	(明治2年・月未詳)十八日	(御所方)	御若さま	状	
W7	15	150			おほへ(塩代金沓朱分の支払いにつき)	(明治2年)九月十八日	白石町・納所	渡邊儀藏様、御台所中	状	
W7	15	151			(書状、福島方一条之儀御出金成し下さるべく 候、および昨朝丸角兄様から一寸奉り荒兵衛津様 へ御書札到来につき)	(明治2年)十月十三日	左吉	儀藏様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	15	152				(書状、仕立上りの品一円これ無く、指し支え何共困り入り候、明六日八つ頃までに取り揃え申さずにつき)	(明治2年)九月五日	源左衛門	儀藏様	状	
W7	15	153				(書状、塩不払の義、本町・中町および短ヶ町検断衆へ相届々の御取り計らい依頼、私義今日塩場へ出張につき)	(明治2年)八月廿六日	渡邊儀藏	米竹清右衛門様、菊地十郎左衛門様	状	
W7	15	154				(書状、去卯十月質物の流れ御見詰申聞、来月中旬まで御猶予下されたく願ひ上げ候につき)	(明治2年)八月廿四日	佐藤屋与惣左衛門	渡部屋儀藏様	状	
W7	15	155				(書状、御恩借の金札へ金子をもって返済の御約諾のところ、廣金・新銀謙忌のため金札にて返済の意向につき)	(明治2年)八月廿七日			状	
W7	15	156				(書状、一条方如何の都合に罷成候哉、桑折方の御挨拶も同様御伺いにつき)	(明治2年)十月十六日	左吉	儀藏様	状	
W7	15	157				(書状断簡、糸の儀につき)	(明治2年)			状	後欠
W7	15	158				覚(塩五升・たまり十盃御遣し下さるべく候につき)	(明治2年)八月廿四日	つゝみ	義藏様	状	
W7	15	159				(書状案、段々御心配御尽力下され候につき)	(明治2年)			状	3紙1点
W7	15	160				(覚、代金方御取調御遣し下さるべく候につき)	(明治2年・月未詳)十四日	庄姿	義藏様	状	
W7	15	161				(手形、金廿五切)	(明治2年)			状	
W7	15	162				(書状、鉄四箇代金十三両御帳入成し下されたく願ひ上げ候につき)	(明治2年)八月十三日	彦助	中町・寿丸御印様	状	端裏「御直談奉願上候・金五両添ル」とあり
W7	15	163				(書状、荷物引請金子御立請成し下されたく願ひ上げ候につき)	(明治2年)八月十三日	渡邊屋儀藏、甚藏	伊勢屋利平様、惣七様、御店中様	状	前欠
W7	15	164				覚(八月九日御祝御用三百文渡しにつき)	(明治2年)八月十日	渡辺屋儀藏		状	
W7	15	165				(書状、金一朱御通り下されたく相願候につき)	(明治2年)八月十四日	小杉金左衛門	中町・渡邊儀藏様	状	
W7	15	166				(書状、菅朱銀井四文銭取合御かし下されたく候につき)	(明治2年)八月八日	つづみ	中町・渡部様	状	
W7	15	167				(書状、唯今のうち御按候様御願ひにつき)	(明治2年)九月五日	斎藤新藏	渡部屋義藏様	状	
W7	15	168				(書状、店片付けさせ候様御達しにつき)	(明治2年)八月七日	御用達・忠兵衛	渡邊儀藏様	状	
W7	15	169				(書状、塩不足のため当分のところ御用の欠金も相成申すべく候などにつき)	(明治2年)8月17日)	(塩問屋頭取共)		状	後欠 後半部分はW7-15-170
W7	15	170				(書状、御用指支無く成し下されたく候につき)	(明治2年)八月十七日	塩問屋頭取共		状	前欠 前半部分はW7-15-169
W7	15	171				(書状、御尊書拜見仕候につき)	(明治2年)			状	後欠
W7	15	172				(覚、白石町御塩問屋儀藏、塩拾拾俵御首尾成し下されたく候につき)	巳(明治2年)九月十六日	左倉村・御塩問屋・圓七(印)	通御政・御役人様	状	
W7	15	173				(覚、醬油壹升・味噌百文・塩壹升相場につき)	(明治2年)			状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	15	174				(書状断簡、過ル十日御草書相達につき)	(明治2年)			状	後欠カ
W7	15	175				(書状、此者ニ御貸し下されたく候につき)	(明治2年)九月六日	善兵衛・忠吉	儀藏様	状	
W7	15	176				(書状、土屋に売方仕候は然るべき存意、御中考下されたく候につき)	(明治2年)八月七日	左吉	儀藏様	状	
W7	15	177				(書状、御見舞の節御相談申上候一件、如何御吟味成し下され候哉につき)	(明治2年)八月十六日	米治	渡儀様	状	
W7	15	178				(書状、此者へ醬油代金御勘定下し置かれ候につき)	(明治2年)七月廿八日	大畑屋兵助	渡部屋甚藏様	状	
W7	15	179				(書状、先般中御拜借任置候金六両出金につき)	(明治2年)八月十六日	左吉	儀藏様	状	
W7	15	180				(書状、紙布三反代金御渡し下されたく候につき)	(明治2年)九月十五日	田町・石井佐兵衛門	中町・渡部義藏様	状	
W7	15	181				(覚、鶴喜金七両三分式朱受取につき)	(明治2年)			状	
W7	15	182				覚(布七丈五尺代錢三貫七百七拾文勘定につき)	(明治2年)九月四日	井上与兵衛(印)		状	
W7	15	183				(書状、八戸塩取引につき)	(明治2年)九月四日	米竹清右衛門	渡部義藏様	状	
W7	15	184				(書状、書物御返上申上候につき)	(明治2年)八月廿日	清吉	渡儀様	状	
W7	15	185				(書状、古手の義御伺申上候につき)	(明治2年)九月十六日	佐兵衛	○御主人様	状	
W7	15	186				(書状、此度荷物式箇御持参候につき)	(明治2年)十二月廿九日	仙台カ・同(渡辺屋)儀藏	白石町・渡辺屋甚藏殿	状	
W7	15	187				(書状、角正申し遣わされ候処、同家ニ而も不足ゆえ金拾両だけ遣しくれ候につき)	(明治2年)二月	左吉	甚藏様	状	
W7	15	188				(書状、昨日拝借の金五拾切返上仕候につき)	(明治2年)八月十六日	源左衛門	儀藏様	状	
W7	15	189				(書状、豊川様分御紙面のため御出成され置き候哉につき)	(明治2年・月未詳)九日	左吉	義藏様	状	
W7	15	190				(書状、まめ式俵代金廿切余下されたく候につき)	(明治2年)十一月廿五日	つゝみ老人	渡辺豊吉様	状	
W7	15	191				(書状、当月中には相違無く始末相立候につき)	(明治2年)十一月廿四日	加藤庄吉	甚藏様	状	
W7	15	192				(書状、金三拾切拝借願いにつき)	(明治2年)十一月廿四日	庄吉	儀藏様	状	
W7	15	193				(書状、金札にて返金成し下されたく候につき)	(明治2年)十一月廿四日	庄吉	甚藏様	状	
W7	15	194				(書状、御出金の金札御座無く候につき)	(明治2年)十一月廿四日	庄吉	甚藏様	状	
W7	15	195				(書状、明屋頃迄には御金繰御遣し下されたく候につき)	(明治2年)十一月廿五日	一問太	甚藏様	状	
W7	15	196				(書状、金子二而入割御咄仕候上、金四両指上申候につき)	(明治2年)十一月十七日	義藏	和助様(ほか2名)	状	
W7	15	197				(書状、刀御拝借願いにつき)	(明治2年)十一月十七日	倉彦助	寿丸御印様	状	
W7	15	198				(書状、先日より願上候金式十切御かし下されたく候につき)	(明治2年)十二月二日	本町・つゝみ	長町・甚藏様	状	
W7	15	199				(書状、先日送付の金式百両につき)	(明治2年)十二月廿一日	佐藤屋徳之助	渡辺義藏様、御店中様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形態	状態／備考
W7	15	200				(書状、先日御願上候品代残金、京屋便にて送りとく候につき)	(明治2年)十一月廿一日			状	
W7	15	201				(書状、此度大須森にて佐々木市郎米買付金入用の場、大政官五両札・十両札のうちにも借用の程私方も御頼みに及び候につき)	(明治2年)十一月十三日	学	中町・儀藏様	状	
W7	15	202				(書状、角正お只今廻草に御座候処、貴所様にて御返答下されたく候につき)	(明治2年・月未詳)十八日	左吉	儀藏様	状	
W7	15	203				(書状断簡、例の写五卷送上申候につき)	(明治2年・月未詳)廿日	後小路・塩店	渡儀様	状	
W7	15	204				(書状案、段々御相談夜具の義、四人へも相談につき)	(明治2年)			状	
W7	15	205				(書状、腹痛のため御遣しの貳万金改め運滞、および四両だけ御切替下されたく候につき)	(明治2年)十一月十二日	左吉	儀藏様	状	
W7	15	206				口演(肥後守白包拵刀拵腰、当国受難のため都合貳拾五両にて売却いたしたく候につき)	巳(明治2年)ノ四月十四日	直右衛門	義藏様、甚藏様	状	
W7	15	207				(書状、佐徳殿太物代銭本家へ不孝延引、および此度金百拾兩指上申候につき)	(明治2年)十一月廿一日	国井屋勝次郎	旦那様、若旦那様 御店様中	状	
W7	15	208				覚(料紙代金三歩御払い下されたく候につき)	(明治2年)十一月十四日	ふかや村肝入、案右衛門	白石中・渡邊義藏様	状	
W7	15	209				覚(銭拾貫五百文御受取下されたく候につき)	(明治2年・月未詳)十五日	<ヤヤ上>	○御印様	状	
W7	15	210				覚(麻紅絞り・真岡さらし上物など商品書上)	(明治2年)			状	
W7	15	211				(書状、渡部屋方勘定にて困り入り候次第、哲治方袴地を先生の御宅にて白地・茶地に取替代金相渡すなどにつき)	(明治2年)			状	
W7	15	212				(覚、七百弍十六番<ヤヤ三>・貳百六十番<ヤヤ長>書上)	(明治2年)			状	
W7	15	213				覚(八十弍・拾弍盃代銀メ三拾七貫三百六拾匁勘定につき)	(明治2年)九月八日	はし屋常治	本家・渡邊御店様	状	
W7	15	214				(書状、先日相願い手形の件、御取扱下されたく候につき)	(明治2年)九月十二日	鈴木梅平	渡部甚藏様	状	2匁1点
W7	15	215				(覚、越河駄送方金四両貳分書上)	(明治2年)八月十三日			状	
W7	15	216				(覚、たき出し方のため米御都合次第候を此者へ御渡し下さるべく候につき)	(明治2年)九月七日			状	
W7	15	217				覚(塩五升の高、御宅より御払い下されたく候につき)	(明治2年)九月九日	つゝみ	義藏様	状	
W7	15	218				(書状案、態々飛脚の者差上申候につき)	(明治2年)			状	
W7	15	219				(覚、長兵衛桑折へ遣し申候、御用あらば御認め成し下されたく候につき)	(明治2年・月未詳)十三日	井丸・惣三郎	寿丸・甚藏様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形態	状態／備考
W7	15	220				(書状、当五月中御土産入用につき)	(明治2年)九月十四日	伊藤安之助	渡辺儀藏様	状	
W7	15	221				(覚、かし仕候三斗五升につき)	(明治2年)			状	
W7	15	222				(覚、正金二而も指上候得ハ源左衛門様も御頼み相成居不都合につき)	(明治2年)			状	前欠カ
W7	15	223				(書状、伊達表へ御用のため一昨日帰国仕候処、昨日会計御用などにつき)	(明治2年)			状	後欠
W7	15	224				覚(此者へ白米弍升御渡し下さるべく候につき)	(明治2年)			状	
W7	15	225				覚(急御用のため此夜金子御貸し下されたく候につき)	(明治2年)九月六日	源左衛門	儀藏様	状	
W7	15	226				(書状、盛岡御公藩御繰込の節御用立候につき)	(明治2年)九月五日	草刈三左衛門	渡邊儀藏様	状	
W7	15	227				(書状、あわび四拾五送付申上候間、おわけ成し下されたく候につき)	(明治2年)九月六日	小沼屋長藏	渡部儀藏様、小沼屋長十郎殿	状	
W7	15	228				(書状、味噌代金九両壹朱御渡し申し上げたく、此ものへ買調の書付御遣し下されたく候につき)	(明治2年)九月六日	清太郎	渡辺儀藏様	状	
W7	15	229				(覚、壹貫錢匁錢につき)	(明治2年)			状	
W7	15	230				(書状、先日中仰せ付けられ候金九拾切御用立につき)	(明治2年)八月四日			状	
W7	15	231				(覚、塩方一条の儀補務様へ御相談のため御出勤下されたくにつき)	(明治2年)八月十九日	佐吉	儀藏様	状	
W7	15	232				(書状、仙台駄賃銭のため壹束札に御切替御頼み申候につき)	(明治2年)八月廿一日	大右衛門	儀藏様	状	
W7	15	233				(書状、吉田・柴辻両人にて証文相認め持参致し、および品物指し戻し申候などにつき)	(明治2年)九月六日	甚藏	会計局二而・御兄様	状	
W7	15	234				(書状、周旋方金子の義三拾五両御調達願いにつき)	(明治2年)八月十九日	熱海勝助	渡邊儀藏様	状	
W7	15	235				(覚、昨日丁錢にて指上のところ、昨日吹方九六の御達し相成候につき)	(明治2年)八月廿一日	儀藏	忠兵衛様	状	
W7	15	236				(書状、塩問屋内評の次第、塩荷入まで直揚猶予と衆評任り、今日検断衆へ御届け相済候につき)	(明治2年)八月廿一日	十郎左衛門	儀藏様	状	
W7	15	237				(覚、客人茶支度のところ、俄に指支のため御出で下されたく候につき)	(明治2年)八月十九日	佐吉	儀藏様	状	
W7	15	238				(書状、先日御引合のかみ、角助へ相廻り相談につき)	(明治2年)八月九日			状	
W7	15	239				(書状、此者へ金壹切御貸下されたく候につき)	(明治2年)八月廿日	源左衛門	儀藏様	状	
W7	15	240				(書状、仙台御邸宅後、別段申し達すべく候につき)	(明治2年)八月十九日	惣内	渡辺様	状	
W7	15	241				(断簡、昨日残御入用二付指上候処)	(明治2年)			状	前後欠

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	15	242				(書状、南部米千式百俵取引につき)	(明治2年)九月九日	新右衛門	八十治殿、定吉殿	状	
W7	15	243				(書状、御座払底に相成候につき)	(明治2年)			状	後欠
W7	15	244				(書状、昨日御骨折成し下され候願い一条方につき)	(明治2年・月未詳)廿日	左吉	御本家様	状	
W7	15	245				(書状、夜前御出にて御相談申上候につき)	(明治2年)十月十九日	渋谷吉兵衛	渡辺儀藏様	状	
W7	15	246				(書状、桑折佐新様昨夕御光来につき)	(明治2年)十月十日	新宅・左吉	御本家・儀藏様	状	
W7	15	247				覚(下麻晒菅定・晒布菅反代金菅両三分式朱請取につき)	巳(明治2年)六月	渡邊屋儀藏(印)	副補務中様	状	
W7	15	248				覚(丹後島菅定・伯駒嶋菅反代金拾両式朱請取につき)	巳(明治2年)六月	渡邊屋儀藏(印)	副補務中様	状	
W7	15	249				(書状、小子ども御供にて一先罷下り、留主中は万端御世話成し下され御礼申上、なお両殿様より御意有り、御咄のため罷登りたく候につき)	(明治2年)十月五日	片原・一問大	渡部・甚藏様	状	
W7	15	250				覚(葛籠吉籠御預りにつき)	巳(明治2年)ノ七月五日	渡邊儀藏(印)	佐藤様	状	
W7	15	251				(書状、此度御承知の通り引越仕らず事に成り、封印の尻一俵御戻し下されたく候などにつき)	(明治2年)八月三日	運動	儀藏様	状	2紙1点
W7	15	252				(書状、御無心様に御座候得共、大学の経典より当座御かし下されたく候につき)	(明治2年・月未詳)四日	左吉	儀藏様	状	
W7	15	253				(断簡、昨日ハ御便リヲ待上など)	(明治2年)			状	
W7	15	254				(書状、此節御店様にて金札御入用のため五百両御世話申上委細承知仕候、および来ル十日桑折役所取扱の方、福嶋縣へ残らず御引渡のため御役所拜借金の御取立にて一同当惑などにつき)	(明治2年)十二月七日	佐藤弘右衛門	渡邊義藏様	状	
W7	15	255				(書状、早速に御入金を申し上げず申し訳なく御座候、および眞平御用捨希上奉り候につき)	(明治2年)十二月七日	山万・佐平	寿丸・御主人様	状	
W7	15	256				(書状、此項中折角御協義成し下され候事件、吟味直りに相成候などにつき)	(明治2年)十二月六日	山田豊三郎	渡邊屋儀藏様、佐吉様	状	
W7	15	257				(書状、米方の義其後何等の沙汰も無く、志願のところ残念の至りにつき)	(明治2年)十二月六日	新宅・佐吉	御本家・儀藏様	状	2紙1点
W7	15	258				(書状、九日朝指上申候金四百両は如何御都合下され候哉、早々仰せ下されたく候につき)	(明治2年)十二月十二日	義藏	又十郎様	状	
W7	15	259				(書状、兼而御注文仰せ付けられ品々、疾に式筋仕るべきところ、染物など盆後引紙延引、殊に金札狂いのため商内休み同様に仕り居り候などにつき)	(明治2年)十月十八日	さのや丹兵衛(ほか2名)	渡邊屋儀藏様、甚藏様(〇様)	状	2紙1点
W7	15	260				覚(金拾両御入用次第、此手形御渡し仕るべく候につき)	巳(明治2年)九月廿日	渡邊屋儀藏(印)、奥州・白石・中町・渡部屋	小原村・甚吉殿	状	
W7	15	261				(書状、是非金子持参致しくれ候段御願い申上候につき)	(明治2年)十二月二日	彦太郎	寿丸御主人様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	15	262				寛(兩札貳百兩御借用仕り候につき)	(明治2年)十二月十三日	渡辺屋儀藏	養五郎様	状	
W7	15	263				口上(御申合通り手形指上申候間、御借渡成し下されたく願ひ上げ候につき)	(明治2年)十二月十六日	菊地屋万五郎	渡部屋儀藏様	状	
W7	15	264				寛(兩札八拾八兩三歩昨晩御引合、殘金手形にて御座候につき)	巳(明治2年)ノ十二月十三日	渡邊屋儀藏代・半右衛門(印、奥州・白石・中町・渡部屋)	菊地屋養五郎様	状	
W7	15	265				(書状、兩札御かし成し下され候、尚又十五枚御拝借仕りたく願ひ上げ候につき)	(明治2年)十二月十七日	<丸角>傳五郎	○・甚藏様	状	
W7	15	266				寛(長町御店貳貫七百五十文など諸色代錢メ拾壹貫五百廿九文勘定につき)	(明治2年)			状	
W7	15	267				(書状、兩札入用の儀出来候処、三拾五枚分御持ち合わせだけ御かし成し下されたく御願み仕り候につき)	(明治2年)十一月廿七日	左吉	甚藏様	状	
W7	15	268				口上(六月十七日たまご持分代金相払いのため御売払渡し成し下されたく願ひ上げにつき)	(明治2年)十一月十四日	渡らせ町・おたよ	白石長町二而・渡邊様	状	
W7	15	269				(書状、拝借致候相場貳貫五百文になり候由承候につき)	(明治2年)七月廿九日	つゝみ	義藏様、豊吉様	状	
W7	15	270				(書状、金六切相副え、その分御かし下されたくにつき)	(明治2年)十二月七日	三丈内寛一郎	渡部甚藏様	状	
W7	15	271				(書状、明後まで御勘定につき)	(明治2年・月未詳)十六日	澤端青友	渡部兄	状	
W7	15	272				(書状、明日荷物式筒相送り申したく候につき)	(明治2年)十二月十八日	<丸久>平兵衛	寿丸・甚藏様	状	
W7	15	273				(書状、来ル十五日までに戸口へ相送り候様成し下されたくにつき)	(明治2年)十二月四日	吉次	彦吉様	状	
W7	15	274				(書状、愚父事角田県へ出張致し居り候につき)	(明治2年)十二月十九日	斎藤屋	渡部義藏様	状	
W7	15	275				(書状、今八ツ時の御人来成し下されたく候につき)	(明治2年)十二月十日	山方・佐平	○御主人様	状	
W7	15	276				(書状、仰せ下され候通り手配仕り候処、差当り相見得申さずにつき)	(明治2年)三月十二日	菊地十郎右衛門	渡部義藏様	状	前欠
W7	15	277				(書状、塩御買入につき)	(明治2年)十二月六日	米吉	義藏様	状	
W7	15	278				(書状、去月中御預りの品未だ不調達につき)	(明治2年)十二月七日	かとお庄吉	渡辺甚藏様	状	
W7	15	279	1			(書状、御百姓共旧年の米錢渡掛などのため騒ぎ出し候につき)	(明治2年)九月廿二日	正左衛門	儀藏様	状	
	15	279	2			(書状、羽織三両位のところにて何も丈の長イ之一ツ相頼み遣し申候につき)	(明治2年)九月廿二日	正左衛門	儀藏様	状	
W7	15	280				(書状、まめ・米少し申し入れたく候につき)	(明治2年)			状	後欠
W7	15	281				(書状、塩方御入手の儀および手元至而不足のため金拾兩だけ御都合下さるべく候につき)	(明治2年)十一月十日	左吉	儀藏様	状	
W7	15	282				(書状、今朝紙面を以て八月分切替の義相達し候につき)	(明治2年)三月十四日	御致然から熱海勝助	渡邊義藏様、御同役中様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	15	283				別紙追啓を以申上候(宛印中打・古手など取扱につき)	巳(明治2年)十一月廿一日	清次郎	小旦那様、半兵衛様	状	
W7	15	284				(書状、永々勤中にて万端御厚情にあづかり御礼申上候につき)	(明治2年)十一月十八日	浜屋言太郎	渡邊儀藏様	状	
W7	15	285				(書状、商品取引などにつき)	(明治2年)八月廿一日	大石屋太吉	渡邊義藏様、御店中様	状	2紙点
W7	15	286				(断簡、平次郎方参り候飛脚へ挨拶遣候処)	(明治2年)			状	
W7	15	287				(書状、私共当年已来上納の身合に罷成、昨今肝入方へ諸上納方物人のため難装につき)	(明治2年)十二月四日	本町方・堤	長町・義藏様	状	
W7	15	288				(断簡、百五十両式未也)	(明治2年)			状	
W7	15	289				(書状、古歩出拾切、御店の半袋を以て御願み申上候につき)	(明治2年)十二月三日	宮方・良治郎	白石中町二而・渡部甚藏様	状	
W7	15	290				(覚、三十紋五十帖代金巻歩など書上)	(明治2年)			状	前欠
W7	15	291				(書状、下拙一覽致さず候間、仰せの趣先方へ申し遣し候につき)	(明治2年・月未詳)八日	<ソ久>栄治郎	○御主人様	状	
W7	15	292				(書状、先日中・衆右衛門殿御出張にて残金取調・四百両のところ当月十日頃まで御引合仕り候などにつき)	(明治2年)十二月五日	渡邊屋儀藏(印)、岩代・白石・渡邊屋)	但馬屋松太郎様、御店中様	状	
W7	15	293				(書状、先日中ハ誠ニ御龜末の段、御用拾成し下されたく候につき)	(明治2年)十二月七日	三浦徳兵衛	渡邊儀藏様	状	
W7	15	294				(断簡、御尊書在り難く拜見仕候につき)	(明治2年)			状	
W7	15	295				(書状、長持の内より相出たき品有り、相願い申候につき)	(明治2年)十二月八日	斎藤平七郎	渡部儀藏様	状	
W7	15	296				(書状、当年も月廻に相成申候間、早速御相拶下され候などにつき)	(明治2年)十一月廿五日	吉次	彦吉様	状	
W7	15	297				(断簡、青巻貫拾式女)	(明治2年)			状	前後欠
W7	15	298				(覚、亘り荒濱御藏分堀三拾式俵荷出仕り相通申候につき)	ミ(明治2年)ノ十二月廿一日	圓七(印)	所々御改御役人様	状	
W7	15	299				(覚、金八十五両につき)	(明治2年)			状	
W7	15	300				(断簡、不得)	(明治2年)			状	
W7	15	301				(書状、金札のうち相成るだけ御拝借成し下されたく候につき)	(明治2年)十二月廿二日	<ソ久>兵平	寿丸・甚藏様	状	
W7	15	302				(書状、昨日御願申上候一条、今日少々買入仕りたくにつき)	(明治2年)十二月廿二日	<ヤ大>彦太郎	寿丸様	状	
W7	15	303				(書状、金五切拝借仕りたくにつき)	(明治2年)十二月廿一日		中町二而・渡邊儀藏様	状	
W7	15	304				(書状、雪道ニ而御注文の品指上兼候につき)	(明治2年)十二月廿二日	川張村・浜や幸助	白石中町・渡邊儀藏様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	15	305				(書状、伊之助様明日御立寄下されたく願ひ上げ候につき)	(明治2年) 極月廿二日	兵平	寿丸・御主人様	状	
W7	15	306				(書状、三十枚の儀仰せ付けられ承知仕候につき)	(明治2年)	善右衛門	寿丸・甚蔵様	状	前欠
W7	15	307				(書状、定而公役之上御遣し下され候哉とハ存じ候につき)	(明治2年)			状	
W7	15	308				(書状、金式切吉朱御取替成し下されたく願上候につき)	(明治2年) 八月廿八日	石井冬太郎	渡邊儀蔵様	状	
W7	15	309				(書状、大舟入衆各方向道二而罷出候段、各方御用向も承り参候につき)	(明治2年) 八月十三日	検断・佐藤虎五郎	渡邊佐吉殿、渡邊儀蔵殿	状	
W7	15	310				(書状、明荷四箇・塩付巻つメ五箇手形引替御渡しに覚(明荷四箇につき)	巳(明治2年)ノ八月廿九日	渡辺儀蔵(印、岩代白石中町・金銀不用・渡邊屋)	賄・文弥様	状	
W7	15	311				(書状、金札御両家様之分まで私方二而請取につき)	(明治2年) 九月四日	米竹清右衛門	渡辺左吉様、渡辺義蔵様	状	
W7	15	312				(書状、明五日明六ツ時御供前二而殿様御帰府のため大橋脇まで罷出候様御達しにつき)	(明治2年) 九月四日	渡辺儀蔵	米竹清右衛門様、渡辺佐吉様、菊地重郎左衛門様	状	
W7	15	313				(書状、今日熱海屋八文字屋手形之義仰せ遣わされ候につき)	(明治2年) 三月十四日	左吉	儀蔵様	状	
W7	15	314				(覚、亘り荒濱御藏八塩拾八俵荷出仕、相通申候につき)	巳(明治2年)ノ九月十六日	圓七(印)	所々御改御役人様	状	
W7	15	315				(書状、御判紙取扱之義につき)	(明治2年) 九月廿日	検断・佐藤寅五郎	儀蔵様	状	
W7	15	316				(書状、察、懇々忠兵衛殿遣わし申候につき)	(明治2年)			状	
W7	15	317				(書状、醤油方願井五十集問屋方別紙の通り取り計らいにつき)	(明治2年) 九月十九日	十郎左衛門	清右衛門様、義蔵様	状	
W7	15	318				(覚、金十切勘定などにつき)	(明治2年)			状	
W7	15	319				(書状、種々ご相談につき)	(明治2年) 九月十六日	佐藤屋栄助(印)	渡邊儀蔵様、同治兵衛様、大畑屋平兵衛様、御店様中	状	
W7	15	320				(覚、御旧藩の御取次にて借用お夜具・布段<ふとん>不足分くわしく御調子御直し成し下され候につき)	(明治2年・月未詳) 十一日	渋谷善兵衛	渡邊儀蔵様	状	
W7	15	321				(包紙、添状)	(明治2年)	佐栄	(白石町)	状	W7-15-319の包紙カ
W7	15	322				(書状、他領塩荷着に相成、先以四俵も指上候につき)	(明治2年) 九月廿一日	白石町・同、渡邊儀蔵	宮町・御塩問屋・勇治様	状	
W7	15	323				(覚、角山相替之儀仰せ下され驚き入り申候につき)	(明治2年) 八月廿二日	左吉	儀蔵様	状	
W7	15	324				(覚、御出金の五両札、此ものへ御かし下さるべく候につき)	(明治2年・月未詳) 廿二日	左吉	甚蔵様	状	
W7	15	325				(書状、出立後途中にて出合、および明日出立の都合御座候などにつき)	(明治2年) 三月廿六日	<ヤ>上>千右衛門	寿丸御主人様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	15	326				口演(大豆四俵如何様に練合指上申すべく候につき)	(明治2年)六月廿五日	清右衛門	儀藏様	状	
W7	15	327				(書状、めん此者二御渡し下された願上候につき)	(明治2年)三月廿五日	国分喜右衛門、竹岡広之助	渡部義藏様	状	
W7	15	328				(書状、米穀類共出穀いずれ苧両日中に成しなされ候につき)	巳(明治2年)ノ十二月朔日	甚藏	御兄様	状	
W7	15	329				(書状、福島表渡し方數願も均明申さず、米も仰せ付けられ候哉計りがたく候などにつき)	(明治2年)十月十八日	義藏	新右衛門様	状	
W7	15	330				(書状、今日金七拾五兩相渡し候につき)	(明治2年)七月五日	左吉	義藏様	状	
W7	15	331				(覚、御無心にて品物此ものに御見せ下され候につき)	(明治2年)十月五日	渋谷善兵衛	渡辺儀藏様	状	
W7	15	332				(書状、廿七日角田泊りにて廿八日無事着、病症は老症にて甚心配住り申候につき)	(明治2年)十一月一日	斎藤屋傳六	小旦那様	状	3紙1点
W7	15	333				(書状、拜借仕居候金子漸く返上につき)	(明治2年)十一月四日	片平・一問太	渡部・甚藏様	状	
W7	15	334				(覚、会計局分早々申来候につき)	(明治2年)七月十四日	義藏	清右衛門様、佐吉様	状	
W7	15	335				(断簡、別紙之通申来候処)	(明治2年)			状	
W7	15	336				(書状、森藤塩方廻り二成し置かれ候につき)	(明治2年)七月	<井丸>	丸様	状	
W7	15	337				覚(六寸釘千四百本など差上申候につき)	(明治2年)九月十九日	吉田三次六	渡辺儀藏様	状	
W7	15	338				(書状、山形方駄賃支払いにつき)	(明治2年・月未詳)廿六日	左吉	甚藏様	状	
W7	15	339				覚(銭八拾四貫文勘定につき)	(明治2年)十一月拾日	<井丸>	〇様	状	
W7	15	340				(覚、塩十六俵売申候につき)	巳(明治2年)ノ十月廿八日	圓七(印)	所々御改御役人様	状	
W7	15	341				(書状、市中店々御世話につき)	(明治2年)七月二日	<ヤラ上>千右衛門	〇御印様	状	
W7	15	342				(覚、包白七文など諸色代銀メ貳貫五百九十三匁六分勘定につき)	(明治2年)			状	
W7	15	343				(書状、布団御覽成され候所などにつき)	(明治2年)	<カ六>	〇様	状	
W7	15	344				(書状、森治殿参られ塩配分二相成候処などにつき)	(明治2年)十一月五日	左吉	儀藏様	状	
W7	15	345				(書状、御願上置候みそ桶御渡し下されたく候につき)	(明治2年)十月廿六日	本町カ・ツ・ミ	中町二而・義藏様、豊吉様	状	
W7	15	346				(書状、一寸御入来御勘定調指出下されたく候につき)	(明治2年・月未詳)廿九日	左吉	儀藏様	状	
W7	15	347				(書状、御勘定之義仰せ下され候処などにつき)	(明治2年)十二月廿七日			状	
W7	15	348				(書状、大奉書五状など注文申上候間、来正月二日前二着相成候様御手配御送り成し下されたく候につき)	巳(明治2年)十二月廿六日	加藤直介	渡辺屋儀藏様、御店中様	状	
W7	15	349				(書状、此度御送り成し下され候諸紙何れも高直につき)	(明治2年)十二月廿七日	清次郎	御主人様、小旦那様、御店様中	状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題(内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	15	350			(書状、兼而御用達申候塩御払いにつき)	(明治2年)十月廿三日	薄	儀藏殿	状	
W7	15	351			(覚、白石町御塩問屋儀藏・佐吉の塩八俵相通され候様御首尾成し下されたく願上候につき)	巳(明治2年)ノ十月廿六日	左倉村御塩問屋・圓七(印)	御役人様	状	
W7	15	352			(書状、先月中紙注文申上、早速御取揃相違無く引合入帳仕候につき)	(明治2年)十二月廿七日	嶋屋甚助、儀助	渡邊屋儀藏様、御店中様	状	
W7	15	353			(覚、米分ギレのため三升など御割書上)	(明治2年)			状	
W7	15	354			(覚、直段御吟味仕り、願上候につき)	(明治2年)			状	前欠
W7	15	355			(書状、殿様御城入のため何角混雑仕り、私共の御用立入御塩仕候ほか御割合仕置候につき)	(明治2年)			状	後欠
W7	15	356			(書状、御指支御座無く候ハ、八日頃指し上げたぐ今日御尊来下さるべく候様偏二待上候につき)	(明治2年)十月廿七日	十郎右衛門	義藏様	状	
W7	15	357			(覚、隣家分御雇い成され賃料金を赤朱など成し下されたく候につき)	巳(明治2年)ノ十月廿七日	左助、助之丞	白石・渡邊屋儀藏様	状	
W7	15	358			(書状、鴨志羽・さけの腹子志樽御用御草代両札二而七間さし上げたく候などにつき)	(明治2年)十二月廿七日	佐藤新右衛門	渡邊儀藏様、同豊吉様	状	破損あり 端裏書「明治二年巳十二月廿七日改常用六枚」とあり
W7	16	1			年貢米・利子米受領証(控、三十三年度参号)	明治参拾参年十二月卅日ヨリ(明治35年1月5日まで)			冊	
W7	16	2			畑小作料受領証(控、明治参拾七年八月第貳号)	自明治三拾七年八月(19日)、至同三十八年六月(24日)			冊	
W7	16	3			畑小作料受領証(控)	明治参拾六年拾月(至同三拾七年8月19日)			冊	
W7	16	4			貸金利子受領証(控、第壹号)	明治卅一年八月廿七日ヨリ(～明治卅三年三月廿二日)	渡邊儀藏		冊	
W7	16	5			小作米受領証(控、第貳号)	明治参拾六年十二月ヨリ同三十七年一月十五日	渡邊儀藏・地所係		冊	
W7	16	6			畑小作料受領証(控)	明治参拾六年壹月(～明治三十六年十月四日)			冊	
W7	16	7			畑年貢受領証(控、明治三十二年第貳号)	明治三十二年八月十八日(～明治卅四年一月四日)			冊	
W7	16	8			畑年貢受領証(控)	明治三拾五年二月六日ヨリ(～明治36年一月卅日)			冊	
W7	16	9			畑年貢領収証(控、第貳号)	明治三十四年一月(十七日)～明治三十五年二月七日	渡部儀藏		冊	
W7	16	10			年貢米・利子米受領証(控、第貳号)	明治参拾五年一月(九日)ヨリ(明治35年十二月廿五日)			冊	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形態	状態／備考
W7 16 11					明治参拾五年度小作米領収証綴(控、第参号)	(明治)三拾五年拾貳月式 拾五日(明治36年一月 廿九日)	寿丸・渡邊		冊	
W7 16 12					貸金(控、領収証綴)	明治三十七年九月十三日 (～明治38年11月29日)	寿(丸)		冊	破損甚大
W7 16 13					利子金受領證(控)	明治参拾九年第壹月(八日) ～明治四十年二月十五日	壽丸・渡邊		冊	
W7 16 14					小作米請取証(控、第参号)	明治三十七年一月拾六日 (～明治37年十二月八日)			冊	
W7 16 15					年貢米並利子米請取証書(控)	明治十八年西拾二月(十日 ～明治十九年八月四日)	渡邊氏(儀藏)		冊	後半部分は未使用
W7 16 16					明治三十七年度小作米受領証(控、第参号)	(明治37年)十二月三十一 日～明治卅八年十二月十 九日	壽丸・渡邊		冊	
W7 16 17					田小作米受領證(控、第二号)	明治四十年十二月九日 (～明治41年1月1日)	壽丸・渡儀		冊	
W7 16 18					督促帖	明治廿四年八月四日(～ 明治廿六年八月七日)	壽丸・渡邊氏		冊	破損あり 後半部分は未使用
W7 16 19					明治参拾五年度小作米受領証(控)	明治36年1月28日～明治 36年12月16日			冊	こより共
W7 17 1	1	1			(書状、当地過ル七日出を以年始請用向仕候、売 込相始り頃日追々相場引立申候などにつき)	(明治6年)正月十二日	川喜田久大夫(印、大傳馬 壹)(ほか2名)	渡辺儀藏様、御店衆中様	状	こより共「西三月廿五 日改・東京請取并諸方切 手」巻あり
W7 17 1	2				(書状、戦争之儀弥相片付申候様風聴仕り、生糸 も少々売込などにつき)	(明治6年)正月十日	川喜田定兵衛、茂平	渡邊屋儀藏様、御店衆中様	状	
W7 17 1	3				(書状、旧冬の初春の成行少し景気宜敷、一昨日 佛蘭西船入津に相成候、および唐わた・唐いとな ど横浜相場報知につき)	(明治6年)正月廿四日	川喜田定兵衛、茂兵衛(印、 <ヒ>三>横濱)	渡邊儀藏様	状	
W7 17 1	4				相場書(奥仙針道・南京米・洋銀などにつき)	(明治6年)	川喜田定兵衛、茂平	渡邊屋儀藏様	状	
W7 17 1	5				追落(兼而御送り下され候品物入割差上仕候な どにつき)	(明治6年)正月廿四日			状	
W7 17 1	6				(書状、金五拾両之内、列金五両弐分、今便にて御 戻し申上候、および御預りの踊わら五月中頃分 追々下落、一向相手御座無く損毛の品者迎も売 切には相成申さず候などにつき)	(明治6年)二月七日	川喜田久大夫、卯兵衛	渡邊屋儀藏様、御店衆中様	状	
W7 17 1	7				(書状、兼々御預りの品物追々下落、日夜心痛仕 居候処、過日中望人相出のため別書の通り売込 相成候につき)	(明治6年)五月十七日	川喜田久大夫(印、大傳馬 壹)、卯兵衛	渡邊佐吉様	状	
W7 17 1	8				(書状、東京私店名当に別紙到来のため開封仕 候処、悪しからず御承引下さるべく候につき)	(明治6年)五月廿六日	<井丸>新店	御本家様	状	破損あり

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	17	1	9			(書状、兼而御預りの品物、横濱店より連絡などにつき)	(明治6年)八月十七日	川喜田久太夫(印、<ピ>川>大傳馬臺・金銀不用・河喜田)、嘉兵衛	渡邊屋儀藏様、御店衆中様	状	
W7	17	1	10			相場書(奥仙生糸・かけ田・唐糸などにつき)	(明治6年)五月十一日	川喜田		状	
W7	17	1	11			(書状、兼而文通ヲ以御問合申上候儀、誠二直段も下落仕候などにつき)	(明治6年)三月八日	川喜田定兵衛、茂兵衛	渡邊儀藏様、御店衆中様	状	
W7	17	1	12			(書状、当年は種紙大凡見積り相庭き反分式反半位いは手合に相成申候との巾中風聞などにつき)	(明治6年)五月十一日	川喜田定兵衛(印、<ピ>三>横濱・南中通三・河喜田)、茂兵衛	渡邊儀八様	状	
W7	17	1	13			(書状、案外之相場貴地真わた万一氣配出申さざる時は荷戻し遊ばされ候由などにつき)	(明治6年)十一月廿五日	川喜田久太夫(印、<ピ>川>大傳馬臺・金銀不用・河喜田)、武兵衛、嘉兵衛	渡邊屋儀兵衛様、御店衆中様	状	
W7	17	1	14			(書状、御預りの品物引続浜表不印当惑仕候、浜店より極上物七拾枚など相場報知につき)	(明治6年)閏月十二日	川喜田久太夫(ほか2名)	渡部屋儀藏様、御店衆中様	状	
W7	17	1	15			(書状、今更御引戻しに相成候而も又々取賃其余入費相掛り、殊に当節の成行往々見詰なども如何相成るべきも計り難くにつき)	(明治6年)四月十六日	川喜田久太夫(印、<ピ>川>大傳馬臺・金銀不用・河喜田)(ほか2名)	渡辺屋儀藏様、甚藏様、御店衆中様	状	彌多分文通書巻、未五月卅日改じとあり
W7	17	2	1	1		口演(相願置候一件のため昨晩丹野義御宅江直々参上、拜願之上御指分ケ下され候事につき)	(明治2年)十一月廿八日	一問太	甚藏様	状	包紙、こより共
W7	17	2	1	2		(書状、御約定之金子廿両御遣わし成し下され拜謝につき)	(明治2年)十一月廿八日	丹野直右衛門	渡辺甚藏様	状	
W7	17	2	1	3		寛(伊勢大塚松岡住来宗次在銘脇指巻腰、式分金式拾両にて御預り相願候事につき)	明治二年巳ノ十一月廿五日	丹野直右衛門(印)	渡辺甚藏殿	状	
W7	17	2	1	4		寛(肥後守国康刀拵巻腰御預り相願候、二分金式拾両・額銀五両拜借につき)	(明治2年)巳ノ十一月十四日	丹野直右衛門(印)	渡辺甚藏様	状	
W7	17	2	2	1		(書状、紙布方取調申候間、通帳之金代へ御勘定相立てられ下されたく候につき)	(明治3年)三月廿一日	斎藤	渡部様	状	
W7	17	2	2	2		当月廿日未之刻大津の早状写(昨十九日未時長州人数京地へ込込入につき)	(近世・年未詳)七月廿五日	長<ヤ>三>店		状	
W7	17	2	2	3		寛(紙包壹個請取につき)	午(明治3年)ノ五月二日	佐藤屋徳兵衛(印)		状	
W7	17	2	2	4		(書状、長州勢京都へ打寄候につき)	(近世・年未詳)七月廿五日	長谷川ウ		状	
W7	17	2	2	5		(寛、白縮拵六反などメ七拾七反勘定につき)	(明治3年)			状	
W7	17	2	2	6		口上(当正月分之分新通御仕立御調下されたくにつき)	(明治3年)三月六日	孫左衛門	儀藏様	状	
W7	17	3	1			(書状、兼而御願申上候差引調之書など夫々御承引成し下され候につき)	(明治3年)十二月六日	兵右衛門	渡邊儀藏様、御店衆中様	状	こより共
W7	17	3	2			寛(古手類百四拾貫四百九十奴など宜敷願上候につき)	午(明治3年)閏(10)月廿七日	兵右衛門	渡邊儀藏様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	17	3	3			(書状、金百両御入金健二入帳仕候などにつき)	(明治3年)四月十九日	塚本兵右衛門、源兵衛	渡邊儀藏様、御店中様	状	
W7	17	3	4			(書状、旧冬差引調之書引合セ仕、別段相違も御座無く候につき)	(明治3年)正月四日	兵右衛門	渡邊儀藏様、御店中様	状	
W7	17	4	1			覚(下店へ金九拾弍弍分弍弍請取・受仕候間宜敷御承引成し下さるべく候につき)	(明治4年)三月二日	長谷川次郎吉(印)、新七	渡辺屋儀藏様、甚藏様	状	W7-17-4-1~20こよりにて一括
W7	17	4	2			(書状、金百三拾弍弍分・銀引替金など相違無く相渡し候につき)	(明治4年)一月十三日	佐野屋丹兵衛(印)(ほか2名)	渡部屋儀藏様、甚藏様	状	
W7	17	4	3			仕限書(極上羅紗など諸色代銀メ七百拾匁請取につき)	(明治4年)二月二日	佐野屋丹兵衛、徳藏(印、東京)	渡辺儀藏様、御店衆中様	状	
W7	17	4	4			(書状、上方本船をもつて追々引メリ実々御心配致し居候、および木村氏先月中御入用のため金五拾両用立呉候様仰せられ候などにつき)	(明治4年)霜月九日	佐野屋丹兵衛(印)(ほか2名)(<リヤツ木>)	渡邊屋儀藏様、甚藏様(○サマ)	状	
W7	17	4	5			(書状、兼々御願申上の品々代金御送り成し下され御礼につき)	(明治4年)十一月	川喜田久太夫、卯兵衛	渡辺儀藏様、甚藏様、御店衆中様	状	
W7	17	4	6			覚(不足金七百廿七両、此者へ御渡し下さるべく候につき)	(明治4年)八月朔日	紅定(印)	渡邊様	状	
W7	17	4	7			(書状、御出府の際、金五拾両御送り下され入帳仕候、および当地成行其後上方筋追々引上ケ気配強く当惑などにつき)	(明治4年)十一月十六日	長谷川源右衛門、吉助	渡部屋儀藏様、甚藏様、御店中様(渡義サマ)	状	
W7	17	4	8			(書状、御注文之品御送り申上候につき)	(明治4年)七月四日	丁子屋甚兵衛、惣助	渡辺屋儀藏様、御店衆中様	状	
W7	17	4	9			(書状、金札五拾両受取・入帳仕候につき)	(明治4年)六月廿七日	佐野屋丹一郎、文吉(印、<リヤツ木>野州・宇都宮・寺町・佐野屋丹一郎)	渡辺屋儀藏様、甚藏様、御店衆中様	状	
W7	17	4	10			差引書(二月五日金弍両につき)	(明治4年)七月十九日	長谷川次郎吉、新七(印)	渡辺屋儀藏様	状	
W7	17	4	11			(書状、金札五拾両有り難く入帳仕候、諸品之儀矢張差引合二而宜敷御承引下されたく候につき)	(明治4年)六月廿八日	さのや久右衛門、長七	渡部屋儀藏様、甚藏様、御店衆中様	状	
W7	17	4	12			(書状、金札百両健二入帳仕候などにつき)	(明治4年)五月廿四日	佐野屋丹一郎(印、野州・宇都宮・寺町・佐野屋丹一郎)(ほか2名)	渡邊屋儀藏様、甚藏様、御店衆中様	状	
W7	17	4	13			(書状、金百六両弍分御送り成し下され今日当着入帳仕候につき)	(明治4年)七月廿二日	伊勢屋利平、惣七(印)	渡辺屋儀藏様、甚藏様、御店中様	状	
W7	17	4	14			(書状、金百両請取・入帳仕候につき)	(明治4年)七月四日	佐野屋丹兵衛(ほか2名)	渡辺屋儀藏様、甚藏様	状	
W7	17	4	15			(書状、金弍百両請取・記帳仕候につき)	(明治4年)七月廿二日	長谷川次郎吉、新七(印)	渡辺儀藏様、甚藏様	状	
W7	17	4	16			(書状、此度は金七両余入手仕候、東京商社甚朱札、当三月限り不引替の報知などにつき)	(明治4年)七月廿三日	丁子屋甚兵衛、代・惣助	渡辺屋儀藏様、甚五郎様、御店衆中様	状	
W7	17	4	17			(書状、此度吉村持をもつて太物代金三百両入帳仕候、また秋物の養も相応の気配などにつき)	(明治4年)七月廿三日	佐野屋久右衛門、長七	渡辺屋儀藏様、甚藏様(○サマ)	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形態	状態／備考
W7	17	4	18			(書状、佐久間氏へ御用立申上候分、元利共差引、および官許コロナリ病氣流行などにつき)	(明治4年)七月廿二日	佐野屋丹兵衛(印、江戸・大傳馬堂・佐野屋丹兵衛)(ほか2名(＜イリヤ木＞))	渡部屋儀藏様、甚藏様(○サマ)	状	
W7	17	4	19			覚(金四百六十四両貳分弍式朱、殘金相違無く御渡し申上候につき)	未(明治4年)ノ八月	渡邊屋儀藏、甚藏	紀屋定右衛門様、勘助様	状	
W7	17	4	20			(書状、冬もの仕入時刻のため御取計願上候につき)	(明治4年)七月九日	長谷川次郎吉、新七(印)	渡辺儀藏様、甚藏様	状	
W7	17	5	1			覚(晝・膳など御用都合書上)	申(明治5年)九月廿日	丸木	○御店様	状	
W7	17	5	2			覚(哥市八丈腰・十三反など書上)	(明治5年)九月廿日	佐野屋久右衛門、長七	渡部屋儀藏様、甚藏様	状	
W7	17	5	3			(覚、とんひ七十九位ら百三十位迄取合七反など御見付願上候につき)	(明治5年)	(豆理町・近江屋与左衛門、横山町貳丁目・川島半兵衛)		状	前欠カ、後欠
W7	17	5	4			(覚、ちん払など代金貳拾五両勘定につき)	(明治5年)			状	
W7	17	5	5			覚(金拾両請取につき)	(明治5年)九月五日夜	鳴屋藤兵衛	御連中様	状	
W7	17	5	6			覚(金地金四貫七文、白地金百弍貫文、安藤屋菊藏様々願入候につき)	(明治5年)八月廿八日	萩原民藏(印)	渡辺屋儀藏様	状	
W7	17	5	7			覚(各商人との勘定書上)	(明治5年)八月卅日		渡邊屋甚藏様	状	
W7	17	5	8			覚(商品出納書上)	(明治5年)八月廿七日	丸木	○御店様	状	
W7	17	5	9			覚(商品出納書上)	(明治5年)八月廿二日	<カト>	甚藏様	状	
W7	17	5	10			覚(商品出納書上)	(明治5年)八月廿一日	八六	○御店様	状	
W7	17	5	11			直書覚(京染上代などメ二百七十五反ト十一反御引合遊ばされ候につき)	(明治5年)八月廿一日	佐野屋丹一郎(印)	渡邊屋儀藏様、甚藏様、御店中様	状	
W7	17	6	1			覚(大判ミの紙沓状など相渡候につき)	ミ(明治2年)ノ十月廿五日	鈴木市司	渡辺義藏様	状	
W7	17	6	2			(覚、漣返し紙拾状など始末相立候迄、此者へ遣わされ候につき)	(明治2年)十月廿四日	丹野奎平	渡辺甚藏様	状	
W7	17	6	3			覚(日録沓状など御用ニ相入候につき)	(明治2年)十月三日	長谷川弥三郎	渡辺義藏様	状	
W7	17	6	4			覚(白半紙沓状、急御用紙ニ相成候間御遣わし下されたくにつき)	(明治2年)九月廿一日	安斎廣平	渡辺甚藏様	状	
W7	17	6	5			覚(白半紙沓状など早速御用紙ニ行当り、此者ニ御遣わし下されたくにつき)	(明治2年)九月廿一日	安斎廣平	渡辺甚藏様	状	
W7	17	6	6			覚(新並三状など勘定者直々相立候条仕切相添、此者ニ御渡し下されたくにつき)	(明治2年)九月九日	久左衛門(印)		状	
W7	17	6	7			覚(鼻紙金沓歩など御遣わし下されたくにつき)	(明治2年)九月十七日	小島中	渡辺店にて	状	
W7	17	6	8			覚(下太方五状など急入用相出申候間、此者へ御渡し下さるべく候につき)	(明治2年)九月六日	本澤庄次郎、佐藤治武右衛門	渡部甚藏様	状	
W7	17	6	9			(覚、下太方三状入用有之候間、此者へ渡し下さるべく候につき)	(明治2年)九月五日	佐藤治武右衛門	渡部義藏様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形態	状態／備考
W7	17	7	1			(寛、醬油巻升代銭六百文およびみそ百文に目方七十五匁に相直し、中町仲間中へ通知につき)	(明治・年未詳)八月七日	検断・掃五郎	味噌醬油や・儀藏殿	状	
W7	17	7	2			寛(松葉半切・ちり紙の直段、此者に御遣わし成さるべく候につき)	(明治・年未詳)廿二日	御用達処(印)	渡義様	状	
W7	17	7	3			(寛、薄用ガソビシの類御座候ハ、二、三枚御遣わし成し下され候につき)	(明治・年未詳)八月廿四日	(新にて)	義藏様	状	
W7	17	7	4			寛(太物巻駄、此駄貫巻貫四百文、此者へ御渡し下さるべく候につき)	(明治・年未詳)九月十四日	才川町・間屋	白石中町・渡部屋儀藏様	状	
W7	17	7	5			(寛、下太方拾帖・上太方拾帖、輾夷地方ニ而御買上相成候につき)	(明治・年未詳)八月廿七日	忠左衛門(ほか2名)	儀藏様	状	
W7	17	7	6			(寛、昨日御咄申上候三十枚御直段御引合につき)	(明治・年未詳)八月廿九日	大河原・藤兵衛	渡邊屋御店様ニ而・清次郎様	状	
W7	17	7	7			寛(金札五両分引かへ依頼につき)	(明治・年未詳)八月廿九日	藤兵衛	半兵衛殿	状	
W7	17	7	8			(書状、幸手形下直もの御面倒ながら此者へ御渡し下されたく候などにつき)	(明治・年未詳)九月十五日	鎌先カ・高橋三涯	渡邊儀藏様	状	
W7	17	8	1			贈状之事(丈間包巻筒、添金貳両につき)	(明治5年)五月晦日	大傳馬壹丁目・佐野屋丹兵衛(印・大傳馬壹・佐野屋)	奥白石・渡邊屋儀藏殿	状	こより共
W7	17	8	2			送り状之事(淡紙丸巻つ・目方巻貫目・賃先私につき)	(明治5年)十一月十五日	長谷川源右衛門(印)	岩代白石・渡部屋儀藏殿	状	
W7	17	8	3			送り状之事(漙包巻筒、駄貫金相済につき)	(明治5年)三月二日	宇都宮・玉屋長藏(印)	白石・渡邊屋儀藏殿	状	
W7	17	8	4			送状(漙包太物入巻筒につき)	申(明治5年)十月廿八日	宇都宮鑊炮町・佐野屋久治郎(印、<カト>宇陽・鉄炮町・佐野屋久次郎)	白石・渡部屋儀藏殿	状	
W7	17	8	5			贈り状之事(両聞せ小附巻つ、賃金巻歩相済につき)	申(明治5年)十一月二日	野州宇都宮・佐野屋丹一郎(印)	白石・渡邊屋儀藏殿	状	
W7	17	8	6			送り状之事(太物漙包巻筒、金巻両き分式朱相添につき)	(明治5年)十月十九日	伊勢屋利平(印、堀江壹・金銀不用)	盤城白石・渡邊屋儀藏殿	状	
W7	17	8	7			送状(漙包太物入巻筒につき)	申(明治5年)十月十一日	宇都宮鑊炮町・佐野屋久治郎	白石・渡部屋儀藏殿	状	
W7	17	8	8			(寛、<カト>巻貫三百匁・〇貳貫目など書上)	(明治5年)			状	
W7	17	8	9			(寛、<カト>木>><カト>など取引差引メ金拾巻両三分式朱余受取につき)	(明治5年)十月廿日	才料・新六	御主人様	状	
W7	17	8	10			送り状之事(〇太物漙包式筒につき)	(明治5年)九月十日	伊勢屋利平(印、<カト>堀江壹・金銀不用)	磐城白石・渡邊屋儀藏殿	状	
W7	17	8	11			贈状之事(〇印行漙包八十入巻つ、但し鱗屋新六殿持につき)	(明治5年)九月九日	大傳馬丁式丁目・勝田新七郎(印)	奥州白石・渡邊や儀藏様	状	
W7	17	8	12			贈状之事(〇漙包巻筒につき)	申(明治5年)九月十日	大傳馬町壹丁目角・佐野屋丹兵衛(印、東京・大傳馬壹・佐野丹・新店)	奥白石・渡部屋儀藏殿	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形態	状態／備考
W7	17	8	13			送り状之事(○印太物沓筒につき)	(明治5年)九月十日	東京・川喜田久太夫(印、<シ川>大傳馬壹・金銀不用・河喜田)	奥州白石・渡邊屋儀藏殿	状	
W7	17	8	14			送り状之事(○太物五箇につき)	(明治5年)九月十日	長谷川次郎吉(印、<ヤ三>)	奥州白石・渡邊屋儀藏殿	状	
W7	17	8	15			贈状之事(○筵包三箇、才料・鱗屋新六持につき)	(明治5年)九月十日	大傳馬町壹丁目・佐野屋丹兵衛・本店(印、<カヤ平>東京・大傳馬・壹丁目・佐丹本店)	奥白石・渡辺屋儀藏殿	状	
W7	17	8	16			贈り状之事(○丈間巴式筒、賃金式両相添につき)	申(明治5年)ノ九月廿四日	野州宇都宮・佐野屋丹一郎(印)	白石・渡邊屋儀藏殿	状	
W7	17	8	17			送り状之事(○印太物式筒、鱗屋新六殿持につき)	(明治5年)九月十日	大傳馬町・長谷川源右衛門(印)	奥州白石・渡部屋儀藏殿	状	
W7	17	8	18			送り状之事(○太物筵包沓筒、鱗屋新六持につき)	(明治5年)九月十二日	長谷川次郎吉	奥州白石・渡辺屋儀藏殿	状	
W7	17	8	19			送り状之事(○丈間包太物入沓筒につき)	申(明治5年)六月廿七日	宇都宮・さのや久二郎(印、字陽・鉄炮町・佐野屋久次郎)	岩代白石・渡部屋儀藏殿	状	
W7	17	8	20			贈り状之事(○荷物沓筒、賃金沓両沓歩式朱、御小人持につき)	申(明治5年)四月	野州宇都宮・佐野屋丹一郎(印)	しら石・渡邊屋儀藏殿	状	
W7	17	8	21			寛<カヤ平>・<ヤ平>など取引ノ金四両勘定受取につき)	(明治5年)四月十三日	新六	丸印・御主人様	状	
W7	17	8	22			送り状之事(○筵包太物入沓筒につき)	申(明治5年)四月	宇都宮・さのや久二郎(印、<カ十>字陽・鉄炮町・佐野屋久次郎)	白石・渡部屋儀藏殿	状	
W7	17	8	23			送り状之事(○太物筵包式筒につき)	(明治5年)三月廿三日	伊勢屋利平(印、<ヤ平>堀江壹・金銀不用)	岩城白石・渡邊屋儀藏殿	状	
W7	17	8	24			贈状之事(○筵包式筒、金式両添につき)	(明治5年)三月廿三日	大傳馬町壹丁目・佐野屋丹兵衛(印)	白石・渡邊屋儀藏殿	状	
W7	17	8	25			状之事(○太物筵包沓筒、鱗屋新六持につき)	(明治5年)三月廿二日	長谷川次郎吉	渡邊屋儀藏殿	状	
W7	17	8	26			送り状之事(筵包沓筒、鱗屋新六殿持、賃相済につき)	申(明治5年)三月十六日	東京・丁子屋甚兵衛(印、東京・堀留町式丁目)	奥州白石・渡辺屋儀藏殿	状	
W7	17	8	27			送り状之事(○筵包太物入二箇につき)	申(明治5年)三月廿七日	宇都宮・さのや久二郎(印、<カ十>字陽・鉄炮町・佐野屋久次郎)	白石・渡部屋儀藏殿	状	
W7	17	8	28			贈り状之事(○丈間包沓筒、賃金沓両一分式朱につき)	(明治5年)三月廿八日	野州宇都宮・佐野屋丹一郎(印、野州・宇都宮・寺町)	しら石・渡辺屋儀藏殿	状	
W7	18					(狂歌・川柳書上、九量座敷にアホイを活て会津次第に花か咲など)	(明治・年月日未詳)			状	破損あり
W7	19					道中日記覚(明治二年巳八月吉廿六日出立、塩取引など領内関係)	明治二年八月廿日(～廿九日)	渡部氏		冊	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	20					(覚)越河分銅御割合申上候につき)	(明治・年月日未詳)	会所	甚蔵様	状	
W7	21	1				白石町字柳ノ下(絵図)	(明治十九年)			状	袋共 袋「明治拾九年新製・白石 本郷絵図面」とあり
W7	21	2				字無双作(絵図)	(明治十九年)			状	
W7	21	3				字芳ヶ池・旧無双作ノ内(絵図)	(明治十九年)			状	
W7	21	4				字六反町(絵図)	(明治十九年)			状	
W7	21	5				字一(壹)番入生(絵図)	(明治十九年)			状	
W7	21	6				字二番入生(絵図)	(明治十九年)			状	
W7	21	7				字三番入生(絵図)	(明治十九年)			状	
W7	21	8				字東板橋(絵図)	(明治十九年)			状	
W7	21	9				字西板橋(絵図)	(明治十九年)			状	
W7	21	10				字上金坪(絵図)	(明治十九年)			状	
W7	21	11				字下金坪(絵図)	(明治十九年)			状	
W7	21	12				字中金坪(絵図)	(明治十九年)			状	
W7	22	1				(通知)定時株主総会相開キ、右單字臨時株主総 会開会につき、二百株以上株主氏名表・委任状を 含む)	明治三十六年七月十日	日本鐵道株式会社	宮城縣刈田郡白石町中町・ 渡辺儀藏殿	状	包紙共
W7	22	2				(覚)澁油五升頂戴につき)	(明治37年)四月十七日	社務所(印)	渡辺儀藏様	状	
W7	22	3				(覚)ふすま式間不足につき)	(明治37年)四月廿一日	白石ホテル・塩入武衛	渡辺儀藏様、御店御中	状	
W7	22	4				河北新報第二號外(露國司令長官以下戦死)	明治卅七年四月十四日	河北新報社		状	
W7	22	5				(通知)刈田郡兵事義会白石町支部理事ニ公撰ニ 依リ囑託致候につき)	明治三十七年二月十五日	白石町支部長・十二村辰五郎	渡辺儀藏殿	状	包紙共
W7	22	6				(書状、友人村松亀一郎氏ノ為メニ多数投票ノ栄 譽ヲ得セシメ度につき)	(明治37年)二月	仙台市東貳番丁・濱崎芳雄	渡辺儀藏様	状	包紙共
W7	22	7				(通知)明廿五日の例会を渡辺佐吉殿新座敷ニ於 テ開会につき)	(明治37年)二月廿四日	佛教青年会	高橋甚兵工殿(ほか11名)	状	包紙共
W7	22	8				(通知)耕地整理前記申請につき)	明治三十七年二月廿四日			状	包紙共
W7	22	9				宣言書(憲法政治ハ徳義政治ナリ)	明治三十七年二月六日		衆議院議員候補者・高野孟矩	状	
W7	22	10				(書状、候補者に立テ貴下の賛同を乞ふに当リ衆 議院解散の顛末を略述し、併せて愚見を進言致 候につき)	(明治37年)二月	仙台市東一番丁・村松亀一郎	中町・渡辺儀藏様	状	包紙共
W7	22	11				(書状、我党候補者菅原傳氏ハ其適材ト存じられ 候につき、菅原傳の名刺入り)	明治三十七年二月二十五日	佐藤清	渡辺儀藏殿	状	包紙共

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	22	12				(書状、前代議士鎌田三之助君は我同志の希望に副へるの上たるにつき)	明治三十七年一月	志田郡鹿嶋台村・鎌田三之助	渡辺儀藏様	状	
W7	22	13				(書状、来ル三月廿六日修業及び卒業証書授与式御参席下されたく候につき)	明治三十七年三月廿二日	白石小学校長・矢内浦一郎	渡辺儀藏殿	状	包紙共
W7	22	14				(書状、先達兄出発之際ハ御餞別など成し下され御礼につき)	(明治37年)二月廿六日	高橋甚兵衛	渡辺組頭・渡辺儀藏殿	状	包紙共
W7	22	15				(通知、第二師団各将士卒諸君は明日より出征の趣、就ては午前十一時より当駅御通過のため随時御欲送相成たく候につき)	(明治37年)	刈田佛教婦人会	中町・渡辺儀藏御家内様	状	包紙共
W7	22	16	1			送別会次第書	(明治37年)			状	包紙共
W7	22	16	2			(書状、第二師団將校別送会につき)	(明治37年)二月十四日	町長・十二村辰三郎(印、十二村)	渡辺儀藏殿	状	
W7	22	16	3			(書状、第二師団各將校招待送別会開会ノ旨申来候につき)	明治三十七年二月十三日	白石町長・十二村辰三郎	渡辺儀藏殿	状	
W7	22	16	4			出征將校送別会場略図	(明治37年)			状	
W7	22	17				年賀状(海外渡航の目的も相遂げ難く止むを得ず当分東京の都合に御座候につき)	甲辰(明治37年)陰曆元旦	東京市小石川区仲町常泉院萬・足田運敬	渡辺儀藏殿	状	
W7	22	18	1			明治三十六年下半季利子配当通知書	明治三十七年二月二十五日	東京市京橋区山城町九番地・京釜鉄道株式会社	宮城縣刈田郡白石町字仲町四九・渡辺儀藏殿	状	包紙共
W7	22	18	2			(書状、株主総会決議左記ノ通ニ候間御承知下されたく候につき)	明治三十七年二月廿五日	京釜鉄道株式会社		状	
W7	22	18	3			京釜鐵之部第五回事業報告書	(明治37年2月25日)			状	
W7	22	19				(書状、本社貸店致囑託候処、幸い御快諾に預り候につき)	(明治37年)二月三日	帝国生命保険株式会社・社長・福原有信	白石町代理店主・渡辺儀藏殿	状	
W7	22	20				(書状、香金内金三十拾円だけ御送り申上候などにつき)	(明治37年)二月廿七日	つなや利兵衛	渡部義藏様、御店中様	状	封筒共
W7	22	21				(書状、醬油代金差上申すべきところ取纏め六件御送附仕候につき)	(明治37年)五月十四日	佐藤多七	渡辺儀藏様	状	封筒共
W7	22	22				(書状、県総選挙代表候補者澤来太郎氏賛助願につき)	明治三十七年二月	佐藤長十郎	渡辺儀藏様	状	封筒共
W7	22	23				(書状、明日婦人会・明後日折壽会のため火鉢六個御拜借願上候につき)	(明治)三十七年三月十一日	常林寺・萩本	渡邊儀藏様	状	封筒共
W7	22	24				(書状、法話開会致候間、御参会下されたくにつき)	(明治37年3月)	仏教婦人会	渡辺つね、ふさ様	状	封筒共
W7	22	25				(書状、弊店にて味噌少し不足相成候のため御譲り相願申したくにつき)	(明治37年)三月十日	笹森省三	又四郎様	状	封筒共
W7	22	26				(書状、刈田各宗協会戦勝祈禱大般若会に併せて出征軍人家族へ御守授与致したく候につき)	(明治37年)三月	刈田各宗協会	渡邊儀藏殿	状	なかかに「招待券」を含む

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	22	27				(通知、耕地整理施工ノ義、当町称念寺御参集につき)	明治三十七年三月十一日	発起人惣代・十二村辰五郎(印)	渡辺儀藏殿	状	封筒共
W7	22	28				(書状、野田銚子地方へ出張之儀致しかね、皆々様へよろしく御伝意下されたくにつき)	(明治37年)三月廿四日	小室春治	渡邊儀藏様	状	封筒共
W7	22	29				(書状、弊亭儀移転、料理店開業仕候のため御光来成し下されたく御招待申上候につき)	(明治37年)	花菱(菱沼やそ)	渡辺儀藏様	状	封筒共
W7	22	30				(書状、御約速セシ借家の先以てた、み丈御手下され候につき)	明治卅七年四月十三日	白石ホテル内・塩入武衛	渡邊大家様(渡邊儀藏様)	状	封筒共 2紙1点
W7	22	31				(通知、第廿四回株主定時総会開会につき)	明治三十六年十二月	(東京市本所區柳原町壹丁目十一番地)總武鐵道株式會社	株主御中(宮城縣刈田郡白石町字中町四十九番地・渡邊儀藏殿)	状	封筒共
W7	22	32				(通知、定時株主總會開催および第八回募集株式に対する第五回払込につき)	明治三十七年一月二十日	(東京市下谷區山下町二番地)日本鐵道株式會社・取締役社長・曾我祐準	(宮城縣刈田郡白石町大字白石中町四十九)渡邊儀藏殿	状	封筒共 2紙1点
W7	22	33	1			(封筒)	(明治36年)十一月四日	横濱市太田町三丁目・<ツル田>田原商店	磐城白河町<ツル>・渡邊義禮様	封筒	
W7	22	33	2			(書状、私英國食塩輸入致し、塩を御試し下されたく依頼につき)	明治卅六年十一月四日	(<ツル田>田原商店)田原尚一	渡辺義禮様	状	2紙1点
W7	22	33	3			英國食塩輸入販売広告	(明治36年11月)	英國食塩輸入元・横濱市太田町三丁目四十五番地・<ツル田>田原商店		状	
W7	22	34				(書状、御照会の大豆粕御入用の趣御引合につき)	(明治37年)三月廿八日	岩瀬新助(岩瀬庄八)	渡辺又四郎様	状	封筒共
W7	22	35	1			(書状、先般仕立収帳御承引下され、別紙相場表送付につき)	(明治)卅七年三月廿五日	(近江能登川停車場南入)中村各名會社支店	(盤城国刈田郡白石町)渡辺義平様(渡邊儀兵衛様商店御中)	状	
W7	22	35	2			近江収帳定價表	(明治)参拾七年参月	<ツルヤ>中村各名會社・能登川支店		状	2紙1点
W7	22	36				(通知、愛国婦人会講話につき)	明治三十七年四月九日	近藤な月	(渡辺儀藏様方)渡辺みか様	状	封筒共
W7	22	37				(通知、第一回卒業・修業証書授与式開催につき)	(明治)三十七年四月八日	刈田中学校長・新東金端	(白石中町)渡辺儀藏殿	状	
W7	22	38				(通知、第二日曜午後一時より法話開会につき)	(明治37年)	佛教婦人会	渡辺つね様(渡辺儀藏御家内様)	状	封筒共
W7	22	39				(書状、過般の東上種々御厚情御配慮の御礼につき)	(明治37年)四月十四日	(伊具郡角田町)笹森清之助	(刈田郡白石町)渡辺惣吉様、御高堂中様	状	封筒共
W7	22	40				(通知、払込金取扱銀行につき)	明治三十六年十二月十六日	(東京市京橋區山城町九番地)京釜鐵道株式會社・取締役會長・濹澤榮一	(宮城県刈田郡白石町中町四九・渡辺義藏殿)	状	封筒共 3紙1点
W7	22	41				(書状、定時總會及臨時總會相開キ候間、御出席成し下されたくにつき)	明治三十七年二月八日	京釜鐵道株式會社總裁・古市公威	宮城縣刈田郡白石町字中町四九・渡辺義藏様	状	包紙共

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	22	42				(書状、流れ之品代金御送金延引に相成、誠に以て御申訳なき次第に御座候につき)	(明治37年)三月十八日	佐直・勘治	渡辺儀藏様	状	包紙共
W7	22	43				(書状、御調へノ通り金六拾壹円余差上申候につき)	(明治37年)三月廿八日	佐直商店	渡辺儀藏様	状	包紙共
W7	22	44				(書状、玄米壹俵頂きニ参上致したく候につき)	(明治)三十七年三月三十一日	常林寺・萩本	渡辺儀藏様	状	包紙共
W7	22	45				(包紙、為替貯金事務)	(明治37年)	郵便為替貯金管理所(印、名越)	宮城縣白石中町一九・渡辺儀兵衛様	状	
W7	22	46				明治卅七年四月中火災保険契約満期調	明治卅七年三月廿六日	(仙台市大町四丁目八番地)横濱火災運送保険株式会社仙台支店	(刈田郡白石町字中町・渡辺儀藏様方・横濱火災運送保険株式会社代理店御中)白石代理店御中	状	封筒共
W7	22	47				(書状、領収証御返送下され落掌仕候、および差引ノ拾参円余につき)	明治三十七年三月廿八日	(東京市日本橋區坂本町五番地・東京株式取引所仲買・<ヲ上>半田庸太郎商店)半田商店	(磐城白石町仲町)渡邊儀藏様	状	封筒共 2紙1点
W7	22	48				差引計算書(帝國商業銀行20株につき)	明治三十七年三月廿八日	東京市日本橋區坂本町五番地・公債株式現物問屋・半田庸太郎商店	(磐城白石町仲町)渡邊儀藏殿	状	封筒共 2紙1点
W7	22	49				(通知、本月二十四日大会開催につき)	(明治37年)四月二十二日	刈田佛教青年會	渡辺儀藏様	状	封筒共
W7	22	50				公告(大平村會議員半数改選および補欠選挙につき)	明治卅七年四月十日	(大平村役場)大平村長・古山三郎(印)	(渡邊儀藏殿)	状	封筒共
W7	22	51				(書状、内国勸業博覧會賞一覧の表ヲ以て出精直段御報知申上候につき)	明治卅七年4月17日	近江屋・西川甚五郎	渡辺儀三様	状	封筒共
W7	22	52				(通知、株主總會可決事項及び配当金送金につき)	明治三十七年一月廿五日	株式会社七十七銀行・頭取・遠藤敬止	渡辺又四郎殿	状	封筒共
W7	22	53				(通知、第五十一期明治卅六年下半年營業報告書につき)	明治三十七年一月九日	株式会社七十七銀行・頭取・遠藤敬止	渡邊又四郎殿	状	封筒共
W7	22	54				(はがき、申置候金之儀手形差上置期日ニハ持参之上御返金仕るべく候につき)	(明治37年)	細田小太郎	渡辺儀藏殿	状	
W7	22	55				(はがき、平兵衛新宅へ御遣わし相成候などにつき)	(明治)卅七年二月十九日	桑折町・佐藤新右衛門(印、sato)	白石町仲町・渡辺儀藏様	状	
W7	22	56				(はがき、今月中旬迄には必ず参り候につき)	(明治37年)二月十九日	七ヶ宿村字廣町・高橋末次	刈田郡白石中町・渡辺儀三殿	状	
W7	22	57				<ヲ上>株式商報 第壹號(諸銀行会社ノ近況など)	(明治)卅七年二月六日	発行所・日本橋區阪<ヲ上>本町五番地・半田商店		状	2紙1点
W7	22	58				(はがき、古着代六拾円九拾七錢御送金につき)	(明治37年)	呉服太物商・<イリヤ>小>・大丸屋松之助	刈田郡白石町・渡辺儀藏様、御店御中様	状	
W7	22	59				(書状、御贈品ノ記念として幾久敷御芳志を拝すべく所存ニ御座候につき)	(明治37年)二月十五日	石川学藏	渡辺儀藏様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形態	状態／備考
W7	22	60				<ㄥ上>株式商報 第貳號(各種有価証券現取引 気配など)	明治卅七年二月十三日	発行所・日本橋區阪<ㄥ>本 町五番地・半田商店		状	
W7	22	61				<ㄥ上>株式商報 第參號(各種有価証券現取引 気配など)	明治卅七年二月二十日	発行所・日本橋區阪<ㄥ>本 町五番地・半田商店		状	
W7	22	62				(はがき、明日当方まで御出向キ下され候様御通 知申上候につき)	(明治37年)三月二十二日	桑折町・小出善助(印、岩 代桑折停車場前魚問屋共進 舎)	磐城国白石町・仲町・安藤屋 栄治郎様	状	
W7	22	63				(はがき、金三拾円入帳と年末の挨拶につき)	(明治36年)十二月三十一日	東京日本橋區堀江町・西村 寛藏	宮城県刈田郡白石町・渡辺 儀藏様	状	
W7	22	64				(はがき、金拾五円安田銀行渡置ニ而入帳致候に つき)	(明治37年)一月十二日	(印、東京日本橋區堀江町一 ノ六・<ㄥ>西村寛藏商 店)	宮城県白石町・渡辺儀藏様	状	
W7	22	65				(はがき、岩越鉄道株式拾五株御送付手續之上出 来次第御送付につき)	(明治37年)二月廿四日	東京(日本橋區坂本町五番 地)<ㄥ上>公債株式現物問 屋・東京株式取引所仲買人・ 半田庸太郎商店	磐城白石町・渡辺屋儀藏様	状	
W7	22	66				(はがき、品物明後キ店迄戻し候につき)	(明治37年)三月十三日	桑折停車場前・小出キヨ	磐城白石町・仲町・東ウラ・片 平与左衛門様	状	
W7	22	67				(はがき、御預り申上候品御引渡し候につき)	(明治37年)三月十日	桑折停車場前・小出キヨ	磐城国白石町・字・仲町・東ウラ 通り・片平与左衛門様	状	
W7	22	68				(書状、君より申頼談ノ件審談所届ハ無キ御通知 につき)	(明治37年・月末詳)十四日	寿	○印兄者様	状	
W7	22	69				(はがき、大畑味代吉殿保証書不交合ノ為御調 べノ上至急御開答致したくにつき)	(明治37年)十一月八日	大阪市東区本町式丁目・大 阪生命保険株式会社(印)	宮城県刈田郡白石町・渡邊 儀藏殿	状	
W7	22	70				(はがき、衆議院議員選挙御費助御投票依頼につき)	明治三十七年二月	東京市牛込北町四十番地・ 首藤隆三		状	
W7	22	71				<ㄥ上>株式商報 第四號	明治卅七年二月廿七日	日本橋區阪本町五番地・半 田商店		状	
W7	22	72				(はがき、株主總會開催通知につき)	明治卅七年二月廿四日	株式會社宮城縣農工銀行頭 取・遠藤庸治	刈田郡白石町・渡邊儀藏殿	状	
W7	22	73				(はがき、御照會の大豆式拾石計りあり、御引合 に相成、御買上願上候につき)	(明治37年)三月廿日	船岡・鍛冶源彦市郎	刈田郡白石町・渡邊儀藏様	状	
W7	22	74				(書状、早速御出荷過日入手仕り、および杉原日 録直投引合につき)	(明治)卅七年三月二日	ソルヲカ八日町・山澤根治	宮城県刈田郡白石町・渡邊 儀藏支店御中	状	
W7	22	75				(はがき、目下下地商況は大々不気にて御猶予御 承引下されたく候につき)	(明治)卅七年三月廿日	磐代福嶋荒町式拾参番地・ 呉服太物商<ㄥ>リヤ小>大丸 屋松之助	刈田郡白石町・渡邊儀藏様、 御店兼中	状	
W7	22	76				(はがき、弊園幹事直衛儀、来上の節は種々御馳 走に相成、御製造の醬油御土産として御送り下 され御礼につき)	明治三十七年三月廿三日	伊具郡館山・寿尚園主・阿部 松衛	刈田郡白石町・渡辺儀藏様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	22	77				(はがき、過日参上の際は種々御配慮を蒙り千両有りかたたく御札などにつき)	(明治)三十七年三月廿一日	伊具郡船山・寿尚園・阿部直衛	刈田郡白石町・菊地直治様	状	
W7	22	78				(はがき、時候の挨拶につき)	(明治)卅七年三月廿二日	在廣島後歩ノ四第五中隊第二小隊 小園丹吉	磐城国刈田郡白石中町・渡邊儀藏様	状	
W7	22	79				(はがき、田売買の登記三件いまだ御報知なく御伺いにつき)	(明治)卅七年三月二十九日	七ヶ宿村字渡瀬・半沢兵藏	刈田郡白石仲町・渡部儀藏様	状	
W7	22	80				塩業新報第十二號	明治卅七年三月廿五日	東京市日本橋區箱崎町貳丁目壹番地・安部林商店	(磐城白石町・渡辺儀藏様)	状	
W7	22	81				(はがき、時候の挨拶につき)	(明治)卅七年四月二日	宮城郡七北田村市名坂・佐藤多七	刈田郡白石町・渡辺儀藏様	状	
W7	22	82				(はがき、戦時増税の原案に協賛のため御報告につき)	明治三十七年四月	仙臺市東一番丁・衆議院議員・村松龜一郎	刈田郡白石町中町・渡辺儀藏様	状	
W7	22	83				(はがき、下山参儀、不如意のため他家へ預け置のうち出跡いたし、万一参館候とも御追放下されたく候につき)	(明治)卅七年四月一日	桑折町・穴戸傳助	刈田郡白石町・渡辺儀藏様	状	
W7	22	84				(はがき、御土産の御礼、および只今は四、五日中在宅致したく候につき)	(明治)卅七年四月三日	刈田郡宮村三〇・伊藤佐吉	刈田郡白石町・渡辺儀藏様	状	
W7	22	85				(はがき、兼而御約定仕置田地につき)	明治卅年四月十六日	刈田郡七ヶ宿村渡瀬・佐藤富三郎	刈田郡白石町・鈴木清之輔様	状	
W7	22	86				(はがき、小作之義手不足にて耕作致し兼ね候につき)	明治卅年四月十一日	七ヶ宿村大字渡瀬・佐藤富三郎	刈田郡白石町・大畑屋清之助様	状	
W7	22	87				(はがき、塩代金貳円九拾四錢相整候間、御記帳下さるべく候につき)	明治37年2月23日	東京日本橋区堀江町一ノ六・<ヤカ>西村寛藏商店	宮城縣刈田郡白石町・渡辺儀藏様	状	
W7	22	88				(はがき、本塩代納金につき)	(明治37年)二月二十日	東京日本橋区堀江町一ノ六・<ヤカ>西村寛藏商店	盤城白石町・渡辺儀藏様	状	
W7	22	89				(はがき、上風もノ生地有り、御用向願上候につき)	明治卅七年三月廿三日	近江能登川停車場南・<イヤ>又>中村合名會社支店	磐城国刈田郡白石・渡辺義平様	状	
W7	22	90				(はがき、定期売買ハ分配高下の儀につき)	(明治37年)二月十五日	東京日本橋区兜町五・合資會社<オネ>正>松野屋商店、東京株式仲買人・阿部鉄之助	磐城国白石町・渡辺儀藏様	状	
W7	22	91				(はがき、無事入隊仕り候間、他事ながら御安神成し下されたく候につき)	明治三十七年二月八日	仙台河内歩兵第二十九聯隊第七中隊・陸軍歩兵中尉・高橋清次郎	白石町・渡辺儀藏様	状	
W7	22	92				(はがき、無事昨夕六時着につき)	(明治37年)五月六日	廣島市島屋町・歩兵第七中隊・高橋清七郎	磐城刈田郡白石町・渡辺儀藏様	状	
W7	22	93				(はがき、塩相場につき)	(明治37年)	東京市深川区在賀町吉丁目四十番地・<ヤカ>大>米穀食塩・白井支店	岩城白石・渡辺儀藏様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	22	94				(はがき、日露事件にて船舶欠乏を生じ運賃早騰仕候得ハ台湾塩高直につき)	(明治37年)三月十四日	台湾官塩専売所・東京市日本橋区北新堀町拾四番地・ <一サカカ>小栗商店東京支店	磐城国刈田郡白石町・渡辺儀藏様	状	
W7	22	95				(はがき、移転御披露券併セテ希上候につき)	明治三十七年二月七日	宮城縣柴田郡<マ>白石町・渡辺儀藏様	状		
W7	22	96				<マ上>株式商報 第五號	明治卅七年三月五日	東京日本橋区坂本町・<マ上>半田庸太郎商店(印)	磐城国白石町・渡部儀藏様	状	
W7	22	97				<マ上>株式商報 第八號	明治卅七年三月廿六日	東京日本橋区坂本町・<マ上>半田庸太郎商店(印)	磐城国白石町・渡部儀藏様	状	
W7	22	98				<マ上>株式商報 第拾號	明治卅七年四月九日	東京日本橋区坂本町・<マ上>半田庸太郎商店(印)	磐城国白石町・渡部儀藏様	状	
W7	22	99				(はがき、両国・本所間高架鐵路落成、本月五日ヨリ開業につき)	明治三十七年四月	本所区柳原町一丁目・総武鉄道株式会社	宮城縣刈田郡白石町字中町四十九番地・渡辺儀藏殿	状	
W7	22	100				塩業新報 第十三號	明治卅七年四月五日	編輯兼発行者・片倉仙助	磐城白石町・渡辺物吉様	状	
W7	22	101	1			(書状、手仕舞御案内申上候、本日着貴地出の趣承知仕候などにつき)	(明治卅二年)四月廿一日	(岩代國福島町東裏二丁目・ <カカハス>小杉重藏	(盤城國刈田郡白石町)渡邊 惣吉様	状	こより・封筒共
W7	22	101	2	1		(書状、過日御注文の品、別紙の通り出荷仕候、および為替金送附の御札につき)	(明治33年)九月三日	(東京日本橋區富澤町七番地<カネ久>木綿・金巾問屋・ 今井商店)長井九郎左衛門、 伊之助	(磐城国白石町中町)渡辺儀 藏様、御店中様	状	封筒共
W7	22	101	2	2		(通知、本年夏物木綿中形類の儀は好況、および見本切添付の品説明につき)	明治三十三年九月	東京市日本橋區富澤町七番地<カネ久>木綿・金巾類卸 商・今井商店	渡辺儀藏様、御店衆中	状	
W7	22	101	2	3		(覚、羽二重・木綿見本切)	明治三十三年九月	東京市日本橋區富澤町七番地<カネ久>木綿・金巾類卸 商・今井商店	(渡辺儀藏様)	状	一紙に見本地7点添付
W7	22	101	3			(覚、○印大急入用のため九時半頃金廿円だけ御手配下されたく候につき)	(明治34年)一月九日	(穀庄分)庄八	(寿丸御店にて・伊藤大兄) 寿丸・伊藤留治様	状	封筒共
W7	22	101	4			(書状、小生今四月或る会社へ月給廿円にて今日迄雇われ候処、古郷へ帰り商業に従事することなどにつき)	(明治)卅三年十一月二十 九日	(東京下谷區北船荷町四十 番地・東城方)三浦殿	(磐城國刈田郡白石町・渡辺 又四郎殿)渡辺君	状	封筒共
W7	22	101	5			(覚、今回御注文の勝止袖、別紙の通り取揃御通送申上候につき)	(明治34年)一月廿日	仙臺市國分町・佐助呉服店	(刈田郡白石町)渡邊儀藏様	状	
W7	22	101	6			(書状、古着代金細田小太郎分及び弊店分安田銀行替為<マ>券金四百五拾弍円七拾五錢壹葉同封御報知申上候などにつき)	(明治)三十四年式月十八日	奥山忠左衛門(印、岩代伊達 郡藤田・古久屋・奥山商店)	(莊田郡<マ>白石町)渡 部儀藏殿、御尊店中様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形態	状態／備考
W7	22	101	7			(通知、日本織物株式会社製造織姫纏子を弊店において全国一手販売仕候につき)	(明治)卅四年四月十五日	(東京市日本橋區田所町) <ヤト> 樋口春吉商店	(磐城国刈田郡白石町仲町) 渡邊儀藏様	状	封筒共
W7	22	101	8			(書状、今回も五百四拾六円九拾貳銭為替をもって御配慮に預り、昨十二日請取・入帳などにつき)	(明治34年)五月十三日	長井商店・新之丞(東京大傳馬町) 卷了目・八番地・長井九郎左衛門)	(磐城白石町) 渡邊儀藏様、御店兼中	状	封筒共
W7	22	101	9			(書状、当年は氣候遅延のため一般商況不振の様子などにつき)	(明治34年)五月五日	長井商店・新之丞(東京大傳馬町・長井商店)	(磐城白石町) 渡邊儀藏様	状	封筒共
W7	22	101	10			舌代・記(茶縮五反現品差上御伺、およびメーラ紺糸御貸渡下されたく候につき)	(明治)34・式月式十五日	富澤(清太郎)(印、<ワ>富> 磐城国刈田郡四野町)	(白石仲町・渡部本店様) ○ 渡部様	状	封筒共
W7	22	101	11			仕立蚊帳直段表	明治卅四年四月十二日	東京市日本橋區通一丁目一番地・<ヤ>> 近江屋・西川甚五郎	岩代白石町・渡邊儀三様	状	封筒共
W7	22	101	12			(覚、祖母長病之廻昨午後六時死去いたし候につき)	(明治)卅四年十一月九日	(志田郡松山町) 斎藤清太郎	渡部儀藏様	状	封筒共
W7	22	101	13			(書状、今回御注文の品運送、および紺形は新柄のため三十反だけ申上候につき)	(明治34年)五月二十六日	(仙臺市大町四丁目<イ>ヤ<小>) 塚本仲右衛門	(磐城国白石町) 渡部儀藏様	状	封筒共
W7	22	101	14			(通知、新年之挨拶)	(明治34年)一月二日	青森港大字米町七拾九番戸・渡邊佐助	渡邊儀藏様	状	封筒共
W7	22	101	15			(書状、今回風物相撰、別紙の通り極々出精などにつき)	(明治34年)一月十二日	長井商店・新之丞(東京大傳馬町<イ>ヤ<十>)	渡邊儀藏様	状	封筒共
W7	22	101	16			清酒醬油防腐方法伝授広告(申込書付き)	明治卅四年	横浜市青木町三百七番地・高橋駒吉	宮城県刈田郡白石町・渡邊儀藏殿	状	封筒共
W7	22	101	17			(通知、新年の挨拶)	明治三十四年一月	東京商品取引所仲買人・東京日本橋区蛸壳町一丁目四番地・<六二>> 小布施千代太郎(ほか2名)		状	封筒共
W7	22	101	18			(書状、御注文之廻し漸々取揃、別紙之通御出荷につき)	(明治33年)十二月廿七日	金子商店(東京市富澤町<ヤ> 江>各名会社・金子商店)	(磐城国白石) 渡邊儀藏様	状	封筒共
W7	22	101	19			(書状、御注文之品々取揃運送、猶又御送金のうち三十五円八十銭大垣和三郎殿、式十四円五十銭石破佐平殿へ御渡し申上候につき)	(明治33年)十二月十九日	大濱官三郎出店(東京市日本橋区田所町・大濱商店)	(磐城白石町) 渡邊儀造様、御店中様	状	封筒共
W7	22	101	20			(書状、手掛御取調へ下され御用向之程申上候などにつき)	(明治33年)十二月十五日	(東京橋町) 卷了目・上田藤三郎	(磐城白石) 渡邊儀藏様(ほか2名)	状	封筒共
W7	22	101	21			(書状、延引の物品一昨廿一日<ワ>川>へ出荷仕候につき)	(明治33年)六月廿四日	川口兼吉(印、東京神田<ワ> 加>東龍閑町九番地・近江屋兼吉)	(磐城国白石町) 渡邊儀藏様	状	封筒共
W7	22	101	22			(書状、仕切書紛失に相成、今回風呂敷直書御送り申上候につき)	(明治33年)六月十九日	(東京日本橋区橋町一丁目<カ>中>) 中村儀八	(磐城白石町) 渡邊儀造様	状	封筒共
W7	22	101	23			(書状、不揃品有りのところ折合丈別紙の通り取揃へ送付申上候につき)	(明治・年未詳・8月5日)	(仙台市国分町・佐助呉服店)	○御店様(刈田郡白石・渡邊儀藏様)	状	封筒共

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形態	状態／備考
W7	22	101	24			(書状、益後ニハ必ず御勘定仕候、あずからじ御願候につき)	(明治・年未詳)旧七月九日	七ヶ宿村ノ内・追見新田・斉藤清次郎	白石町・渡部義藏殿	状	封筒共
W7	22	101	25			(封筒)	(明治・年月日未詳)	東京市小石川区表町百九番地・大日本中学会	磐城国刈田郡白石(石町カ)二六一・渡辺店・斉藤亀治殿	封筒	破損あり
W7	22	101	26			(包紙)	(明治・年月日未詳)	東京市小石川区表町百九番地・大日本中学会	磐城国刈田郡白石町白石二六一・渡辺方・斎藤亀治殿	状	
W7	22	101	27			(書状、常盤形商標額調製仕候につき)	明治(年月日未詳)	仙台市国分町・佐助呉服店 卸部(電信略號サヌケ)	刈田郡白石町・渡辺儀藏様	状	包紙共
W7	22	101	28			(書状、只今喰塩安直ニ買形ニ宜敷候につき)	(明治・年未詳)六月廿三日	伊具郡金山町・小島酒店(印)	刈田郡白石町・渡辺儀藏様	状	包紙共
W7	22	101	29			(書状、小生独立経営につき)	(明治・年未詳)五月二日	春山傳之助(印、東京市麴町区永田町式丁目七拾三番地・経済新報社)	宮城縣白石町・渡辺儀藏様	状	包紙共
W7	22	101	30	1		(書状、五拾円はかり不足ニ相成候まま現金にてても代用品にてても御都合仕り送附願上候につき)	明治卅八年七月廿八日	東京日本橋区兜町五番地・合資會社松野屋商店・阿部鉄之助	磐城国白石町・渡辺儀藏様	状	包紙共
W7	22	101	30	2		計算書(東濱電気鉄道株式会社株式につき)	明治卅八年7月25日	東京日本橋区兜町五番地・合資會社松野屋商店・阿部鉄之助	磐城国白石町・渡辺儀藏様	状	包紙共
W7	22	101	31			(書状、先刻御断の件、鈴木様にも御来社ニ相成り候間、即刻御来社成し下されたく候につき)	けふ(明治・年月日未詳)	宮城縣刈田郡白石町・<カ>信>白石信託合資会社(電信略符(マ)ヌ(ソ))	渡辺儀藏様	状	包紙共
W7	22	101	32	1		(書状、御注文之北海道鉄道株州株につき)	(明治38年)六月拾三日	東京市日本橋区兜町五番地・東京株式仲買人・阿部鉄之助(合資会社<カネ正>松野屋商店)	渡辺儀藏様	状	包紙共
W7	22	101	32	2		(謄、関西鉄道株式会社株拾箇分売附につき)	明治三十拾八年六月八日	合資会社<カネ正>松野屋商店・阿部鉄之助(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	22	101	33	1		(書状、関西株代甚敷延引申訳無くにつき)	明治卅八年九月三日	合資会社<カネ正>松野屋商店・阿部鉄之助(印)	磐城国白石町・渡辺儀藏様	状	
W7	22	101	33	2		記(関西株拾株代金五百壹円四拾壹錢受取につき)	(明治38年9月)	(松野屋商店・阿部鉄之助)	(渡辺儀藏様)	状	
W7	22	101	33	3		計算書(関西鉄道株式会社株拾式株につき)	明治卅八年8月31日	合資会社<カネ正>松野屋商店・阿部鉄之助	渡辺儀藏殿	状	
W7	22	101	33	4		計算報告書(関西株代預501円につき)	明治38年9月2日	合資会社<カネ正>松野屋商店・阿部鉄之助(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	22	101	34	1		(覚、金子参拾圓入手仕候、右領収証御送附申上候につき)	(明治38年)六月拾七日	(東京日本橋区兜町五番地)阿部鉄之助	(磐城国白石町)渡邊儀藏様	状	封筒共
W7	22	101	34	2		証(関西鉄道株式会社株拾売附、代金参拾円受取につき)	明治三十拾八年六月十四日	株式会社東京株式取引所仲買人・合資会社<カネ正>松野屋商店・阿部鉄之助(印)	渡辺儀藏殿	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	22	101	35			(書状、先日は病中のため御立寄のところ甚だ失礼仕候につき)	(明治)39・六月九日	(東京市浅草区西鳥越町三)小山海平	(宮城県刈田郡白石町)渡辺儀藏(儀造)殿	状	封筒共
W7	22	101	36			(書状、日下氏大河原へ出張、および明日入管などにつき)	(明治)・年月未詳)二十九日	石塚(秀雄)	渡邊兄(又四郎様)	状	封筒共
W7	22	101	37			(書状、今朝片山博士の診察を受け、頓服薬新規に服用する事、出京の帰途会津熱海温泉にて試浴致す事などにつき)	(明治)40・十月十一日	(東京本郷区駒込蓬萊町六番地・小柳館萬)渡邊儀藏	(宮城県刈田郡白石町)渡邊外吉殿、渡邊又四郎殿	状	封筒共 2封じ点
W7	22	101	38			(書状、御父上様には御不快のため定儀温泉に逗留につき)	(明治40年)十二月十四日	(岩代・桑折)大竹吉兵衛	(刈田郡白石町字中町)渡辺又四郎様、御家内中様	状	封筒共
W7	22	101	39			(封筒)	(明治)40・九月廿七日	東京市本郷区駒込蓬萊町六番地・小柳館方・渡辺外吉	宮城県刈田郡白石町・渡辺又四郎様	状	封筒共
W7	22	101	40			(書状、御尊母様・御内室様へ粗菓呈上致候につき)	(明治40年)十二月廿日	石塚(秀雄)	渡邊又四郎様	状	封筒共
W7	22	101	41			(書状、大河原二於テ恩借承諾二相成、利息・保証人の件などにつき)	(明治40年)十一月四日	白石寿藏	(刈田郡白石町)渡辺又四郎様	状	封筒共
W7	22	101	42			(封筒)	(明治40年10月1日)	大河原税務署	刈田郡白石町白石・寿丸合名会社御中	封筒	
W7	22	101	43	1		委任状(田畑担当者渡邊又四郎ヲ以テ代人ト定メにつき)	明治四十年拾壹月拾五日	刈田郡白石町白石字中町四拾九番地・渡邊儀藏(印)	(大河原区裁判所)	状	封筒共 W7-22-101-43-1~3封筒にて一括
W7	22	101	43	2		郵便送達証書(大河原区裁判所書記課発・渡邊義藏宛証人呼出状取扱候につき)	明治四十年十一月廿三日	白石郵便電信郵便局・配達人・石塚幸六	(渡邊義藏)	状	
W7	22	101	43	3		証人呼出状(原告佐竹喜幸治・被告高橋栄八間ノ事件ニ証人トシテ訊問のため別紙訊問事項につき)	明治四十年十一月廿二日	大河原裁判所・書記・秋吉正治(印)	渡邊義藏殿	状	付箋「雨天ノ際ノ出頭ヲ要セズ、但他出ヲ見合ハス可シ」あり
W7	22	101	44			郵便送達証書(仙台地方裁判所書記課予審係発・渡邊儀藏宛証人呼出状取扱候につき)	明治四十年十二月三日	白石郵便電信郵便局・配達人・石塚幸六	(刈田郡白石町・寿丸合名会社)渡邊儀藏殿	状	封筒共
W7	22	101	45			(書状、渡辺線所有地のうち、私小作畑売却遊ばされ候ハ、牛糞精蔵氏ニ御周旋申し上げたくにつき)	(明治40年)九月廿三日	(伊具郡西根村布倉)小村専治	(刈田郡白石町字郡山)菊池直治様	状	封筒共
W7	22	101	46			(書状、明日ヨリ仕込、藤倉モ充分明キ申候テ、出来揚ル丈ケ摘ミ取り、明日御送附仕りたくにつき)	(明治40年)九月廿九日	(白石蒲萄園合資会社内)船迫清吉	(寿丸蒲萄栽培場<マ>>出張事務官)菊池直治殿	状	封筒共
W7	22	101	47			(書状、病気など近況報告につき)	(明治34年)八月三日	(仙台市宮城宿野)渡辺しん	(刈田郡白石町・渡辺儀藏殿方)あね上さま(渡辺おつねさま)	状	封筒共
W7	22	101	48			(書状、貴殿所有の田員求め宜敷候はゞ、折返し御一報くだされ候につき)	(明治)・年未詳)旧七月廿一日	(刈田郡七ヶ宿村・渡瀬守道兄)古山休三郎	(磐城刈田白石)渡部儀藏様	状	封筒共
W7	22	101	49			(覚、反物代金拾七円五十錢勘定につき)	(明治31年11月28日)	(東京日本橋区大門通田所町・京呉服問屋・<マ>>)市田弥一郎	(磐城白石)渡辺儀藏様	状	封筒共

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	22	101	50			(書状、御注文に相成候物御引合下されたくにつき)	(明治31年)七月四日	川口兼吉	(磐城國刈田郡白石町)渡辺儀造様	状	封筒共
W7	22	101	51			(書状、晒無地色無地直段ノ義及び販売につき)	(明治31年)七月二十六日	(京都市あげず門通松原南へ入ル・<small>安</small>)京都・安盛善兵衛商店	(磐城白石町中町)渡辺儀三様	状	封筒共
W7	22	101	52			(書状、商品代金百六十八円拾九銭弍厘御送金下され御厚札申上候につき)	(明治31年)八月十七日	(大傳馬巷・<small>長ヤ三</small>)長山三・長谷川治郎兵衛、源三郎	(磐城國白石町)渡邊儀藏様、御店中様	状	封筒共
W7	22	101	53			(書状、近日入荷次第御送り、および出荷御案内につき)	明治三十一年十月廿六日	(京呉服問屋・<small>カサ</small>)東京(日本橋区)大門通田所町・市田弥一郎、貞治郎	(磐城白石)渡辺儀藏様	状	封筒共
W7	22	101	54			(書状、御品切御注文之分御出荷申上候間、御入帳下されたく願上候などにつき)	(明治39年)七月十三日	(仙台市国分町)佐藤助五郎	(刈田白石町)渡辺儀藏様、御系様	状	封筒共
W7	22	101	55			(書状、仰せの通り品物御送附成し下され候などにつき)	(明治・年月日未詳)	彦市郎	卯吉様、庄八様(白石寿丸御店様)	状	封筒共
W7	22	101	56			(書状、明後九日古着入札のため御尊来御入札下されたくにつき)	(明治29年)九月七日	渡邊佐吉	(中町)御本家様(渡邊儀藏様)	状	封筒共
W7	22	101	57			(書状、御送金近々参金取極メ致すべく御願申上候につき)	(明治29年)九月廿二日	(七ヶ宿村渡瀬)古山隆平	(刈田郡白石町にて)渡部卯吉様	状	封筒共
W7	22	101	58			記(土蔵物置麦からふき普請間二合兼ね候間、両日中ニ着手のため金員御送附下されたく願上候につき)	(明治29年)拾月三日	幸得与惣左衛門	(白石)渡邊卯吉様	状	封筒共
W7	22	101	59			(書状、出張の事など近況報告につき)	(明治)廿九年八月三日	(岩代桑折)佐藤新右衛門	(刈田郡白石町・渡邊儀藏様)渡邊兼吉様	状	封筒共
W7	22	101	60			(書状、旧七月下旬ニハ屹度御勘定申上候につき)	(明治29年)7月13日)	(刈田郡小原村)高橋源重郎	(白石中町)渡辺義藏様	状	封筒共
W7	22	101	61			(書状、滑津山林方川村君御手元ニテ引ヨセ御キキトリ下されたく、および大至急材木請取方相成たく候などにつき)	(明治)廿九年旧六月十五日(七月二十五日)	(七ヶ宿村)滑津・和田清五郎	(刈田郡白石町白石中町)渡邊卯吉様	状	封筒共
W7	22	101	62			(書状、まぐらの儀ハ前金だけ差上のところ、下田屋渡山に成り候などにつき)	(明治)廿九年旧五月十九日(六月二十九日)	(刈田郡七ヶ宿村大字横川)佐藤門五郎(ほか2名)	(刈田郡白石中町・渡部方二於て)佐藤多七様	状	封筒共
W7	22	101	63			(書状、御恩借の品物代金甚だ永びかせ申訳無く、本月末には乞度御勘定仕り候御猶予願ひにつき)	(明治)卅一年八月十三日	(仙臺市東一番丁四十八番地内)木村(嘉逸郎)	(刈田郡白石町)渡辺儀造様(御店御中)	状	封筒共
W7	22	101	64			(書状、今回御注文の品物別紙之通今日出荷申上候につき)	(明治)卅一年六月廿五日	(仙臺市國分町)佐助シテ(支店)・芳兵衛	(刈田郡白石町)渡辺儀藏様、亀次様	状	封筒共
W7	22	101	65			(覚、御注文品御送り申上候、および平掛は不揃のため悪しからず御承引御入帳願上候につき)	(明治)卅一年八月三十一日	(仙臺市國分町)サヌケ(佐助支店)	(刈田郡白石)○御店サヌケ(渡辺儀藏様)	状	封筒共
W7	22	101	66			(覚、今度の御注文品、昨日出荷仕候につき)	(明治)卅一年8月16日	(仙臺市國分町)佐助・芳兵衛	(白石町)渡辺儀藏様、亀次様	状	封筒共

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形態	状態／備考
W7	22	101	67			(書状、本日御手紙拝見、晒十反不足の趣御申訳無く宜敷御勘弁願上候につき)	(明治)卅一年八月十八日	(仙臺市國分町)佐藤助五郎 (佐助支店)	(刈田郡白石町)渡辺儀藏様	状	封筒共
W7	22	101	68			(封筒)	(明治)卅一年七月六日	仙臺・佐助呉服店	刈田郡白石町・渡辺儀藏殿、 御店中	封筒	
W7	22	101	69			(書状、此度御了命之内、大勉強ヲ以而本日別紙之通出荷申上候につき)	(明治)卅一年七月廿五日	(仙臺市國分町)佐助支店	(刈田郡白石町)渡辺儀藏様	状	封筒共
W7	22	101	70			(封筒)	(明治)卅一年八月三日	仙臺市荒町毘沙門前・<ホソキ>鳴瀬屋・佐瀬儀平	白石伸町・渡邊儀藏様	封筒	
W7	22	101	71			(書状、先年御買受けの山内約定には栗木五百本・樺木<ひさくら>十五本のところ、至急撰取候につき)	(明治)卅一年旧四月廿七日(六月十五日)	(七ヶ宿村)佐藤源三郎	(刈田郡白石伸町)渡部卯吉様	状	封筒共
W7	22	101	72			(書状、過日より取引書早速に差し送るべきところ、延引のため御詫び申上候、別紙の通りに相成申上候につき)	(明治)卅二年第九月七日	(東京橋町)菅丁目)上田庫三郎	(磐城白石)渡辺儀藏様、惣 吉様、御店御中様	状	封筒共
W7	22	101	73			(書状、今回御注文の御札、別紙之通り尽力ヲ以御調達仕候、ただし博多校り品切のため悪しからず御承引願上候につき)	(明治)卅二年第六月廿九日	(東京橋町)菅丁目)上田庫三郎	(磐城白石)渡辺儀藏様、惣 吉様、御店御中様	状	封筒共
W7	22	101	74			(書状、過般御注文の品物、大ニ延引ニ相成、本日別紙之通りフレキパン積ミにて出荷仕候につき)	(明治)卅二年六月廿九日	近江や兼吉(東京神田・<カ加>川口兼吉)	(磐城国白石町)渡辺儀藏様	状	封筒共
W7	22	101	75			(封筒)	(明治)卅四年七月十五日	飯淵 まん	(刈田郡白石中町)渡邊御つ ねさま	状	封筒共
W7	22	101	76			(覚、御照会の費用債務者佐久間仁吉分金八円七拾六銭など御回答につき)	(明治)40年)	(柴田郡大河原町)辨護士・ 鈴木俊輔法律事務所主任・ 高橋熊吉	(刈田郡白石町)中町・寿丸合 名会社御中)渡邊又四郎様	状	封筒共
W7	22	101	77			(書状、過般御地出張の際、高堂に寄宿する光栄を得、感謝申上につき)	(明治)40.十一月十五日	(仙臺歩兵第廿九聯隊)陸軍 歩兵中尉・鈴木昶夫	(刈田郡白石町)四十九番地) 渡辺儀藏殿	状	封筒共
W7	22	101	78	1		(通知、株式ノ名義書換・新株券発行手数料につき)	明治四拾年八月	横濱市青木町参千五百七拾 九番地・横濱鐵道株式會社	(宮城縣刈田郡<マ>白石 町大字白石字中町四九・渡 辺儀藏殿)	状	封筒共
W7	22	101	78	2		(通知、新株式第二回御拂込につき)	明治四十年十月十七日	横濱市青木町三五千五百七十 九番地・横濱鐵道株式會社・ 専務取締役社長・朝田又七	(渡辺儀藏殿)	状	
W7	22	101	78	3		(ほか)き、新株式第貳回株金御拂込につき)	明治四十年十一月十六日	横濱市青木町三五千五百七十 九番地・横濱鐵道株式會社、 横濱市青木町・神奈川銀行、 同所・左右田銀行神奈川支 店	宮城縣刈田郡白石町大字白 石字中町四九・渡辺儀藏殿	状	
W7	22	101	79			電報送達紙(シツタチリユクテインヤバイデロ)	(明治)四十年十二月二日	タカ	シライシナカマチ四九・ワ タチベマタシロ	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形態	状態／備考
W7	22	101	80			東京商品取引日報 第二千七百七十五號	明治四十年十月廿八日	発行所・日本橋區蛸壳町一丁目四番地・明文社	(磐城国白石町・渡辺義藏様)	状	帯封共
W7	22	101	81			(覚、上納金拾五円式拾八錢六厘、此者へ御渡し下されたく候につき)	(明治40年)十一月卅日	宮城縣刈田郡齋川村・小室(印) (春治)	(仲町) 渡邊 (儀藏) 様	状	封筒共
W7	22	101	82			キ (板八分板參尺五寸など代金壹円拾貳錢五リ勘定につき)	(明治40年)十一月卅日	村上材木店 (印)	渡辺儀造様	状	
W7	22	101	83			(書状、杉林を下男諷伐仕候ため御詫申上候につき)	(明治40年)旧十月廿五日	(大平村幕の内) 高橋条一郎	(白石町仲町) 渡邊又四郎様	状	封筒共
W7	22	101	84			(書状、御依頼相成候債務者高橋新之丞に係る差押事件につき)	(明治40年)十二月一日	高橋熊吉	(宮城縣刈田郡白石町・寿丸合名會社御中) 渡邊又四郎様	状	封筒共
W7	22	101	85			川崎相場表 (白足袋・キヤラクなど)	明治四十年十月廿五日	東京市日本橋區田所町十三番地・<イノ・タ久> 萬屋・川崎榮助	(磐城白石中町・渡辺儀藏殿)	状	帯封共
W7	22	101	86			(書状、過日機動演習出張の御、御厚志の御礼につき)	(明治40年)十一月十二日	(仙台) 赤兵第廿九聯隊第二大隊本部・石井源四郎	(白石町) 渡辺儀藏様	状	封筒共
W7	22	101	87			(書状、貴家滞在中拙者美印置き忘れのため見付次第御郵送下されたく候につき)	(明治40年)十月廿五日	福島二於面 (赤二九付工兵第三中隊長) 作田工兵大尉 (徳次)	(磐城國白石町中町) 渡部儀藏殿	状	封筒共
W7	22	101	88			(封筒)	(明治) 四十年十月二十一日	宮城縣内務部	刈田郡白石町中町四九・渡辺儀藏殿	封筒	
W7	22	101	89			(封筒)	(明治) 四十年十月二十二日	宮城縣内務部	刈田郡白石町中町四九・渡辺又四郎殿	封筒	
W7	22	101	90			(封筒)	明治40.10.15	東京市京橋區富島町四番地・日本煉炭株式會社	宮城縣刈田郡白石町字中町四九・渡辺儀藏殿	封筒	
W7	22	101	91	1		(書状、臨時株主總會相開キ、別記事項のため御議決相願いたく候につき)	明治四十年十一月二日	京阪電氣鐵道株式會社・専務取締役、渡辺嘉一	宮城縣刈田郡白石町白石字中町四九・渡辺儀藏殿	状	包紙共
W7	22	101	91	2		委任状 (臨時株主總會並ニ其繼續會ニ出席シ、拙者ノ名義ヲ以テ議決權ヲ行ヒたくにつき)	明治四十年十一月	京阪電氣鐵道株式會社・専務取締役、渡辺嘉一	大阪市東区今橋三丁目番番地 (京阪電氣鐵道株式會社)	状	包紙共
W7	22	101	92	1		(書状、第二回定時株主總會相開キ、別記事項のため御議決相願いたく候につき)	明治四十年十月五日	京阪電氣鐵道株式會社	宮城縣刈田郡白石町白石字中町四十九・渡辺儀藏殿	状	包紙共
W7	22	101	92	2		京阪電氣鐵道株式會社用紙	(明治40年)	京阪電氣鐵道株式會社		状	
W7	22	101	92	3		委任状 (株主總會及其繼會ニ出席シ、拙者ノ名義ヲ以テ議決權ヲ行ヒたくにつき)	明治四十年十月		大阪市東区今橋三丁目番番地・京阪電氣鐵道株式會社出張所	状	
W7	22	101	92	4		京阪電氣鐵道株式會社第二回營業報告書	(明治40年)	京阪電氣鐵道株式會社		状	
W7	22	101	92	5		京阪電氣鐵道株式會社明治四十年上半期計算書	(明治40年)	京阪電氣鐵道株式會社		状	
W7	22	101	92	6		(通知、配当金支払手続ノ儀につき)	明治四十年十月	京阪電氣鐵道株式會社		状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形態	状態／備考
W7	22	101	92	7		配当金支払手続	(明治40年)	(京阪電気鉄道株式会社)		状	
W7	22	101	93	1		(書状、父上鼎宅後は御容体如何に候哉につき)	(明治40年)十一月二十四日	東京市本郷区四丁目二九番地・養修館・渡辺豊吉	宮城県磐城国刈田郡白石町・渡辺又四郎	状	包紙共
W7	22	101	93	2		郵便物受領證	明治40年11月24日	刈田郡白石町大字・渡辺儀藏	東区今橋三ノ二・京坂電気	状	
W7	22	101	94			(書状、御注文之品、別紙之通り水陸投ヲ以テ御出箭申上候につき)	(明治40年)七月廿六日	仙台市国分町・佐藤助五郎御方	刈田白石町・渡辺儀藏様	状	
W7	22	101	95			(書状、御手合品を別紙之通り積入申候につき)	(明治40年)九月廿日	尾張國海東郡新居屋村・<マ>ルト>山田恭致	磐城国白石町・渡辺儀兵衛様、御店御中	状	包紙共
W7	22	101	96			(包紙)	(明治40年)	東京日本橋通油町・入山外村細店方	宮城白石町・渡辺儀藏様	状	
W7	22	101	97			(書状、新年之御慶愛申し納めにつき)	(明治・年未詳)一月一日	志田郡松山町・斎藤清左エ門	刈田郡白石町・渡辺儀造様	状	包紙共
W7	22	101	98			(書状、御注文之品につき)	(明治・年未詳)七月十日	仙台市国分町・佐助呉服店御部(電信略号サヌケ)	渡辺儀藏様	状	
W7	22	101	99			(書状、御注文仰せ付けられ御礼につき)	明治三三年十二月八日	東京大傳馬町壹丁目八番地・<ク>ヲ十>長井九郎左衛門		状	包紙共
W7	22	101	100			(包紙、仕切書在中)	(明治33年)十月十四日	東京市日本橋区田所町・大濱商店	名倉屋様方・渡辺儀藏様	状	
W7	22	101	101			(書状、諸品山中方へ渡し、入帳のことにつき)	(明治)卅一年五月十五日	長井九郎左衛門、伊之助	渡辺儀藏様、御家中様	状	封筒共
W7	22	101	102			(書状、品物取引の差引金銭送付願いなどにつき)	(明治)卅二年三月廿七日	上田藤三郎	渡辺儀藏様、惣吉様、御店中様	状	封筒共
W7	22	101	103			(書状、山陽鉄道株の委任状につき)	(明治)卅二年四月廿九日	上田藤三郎	渡辺儀藏様方・同惣吉様	状	封筒共
W7	22	101	104			(書状、御内証ニ相成候事につき)	(明治32年)四月一日	宮城県白石町・鈴木清之輔	渡辺儀藏様、渡辺惣吉様	状	封筒共
W7	22	101	105			(書状、醬油壺斗取引のため代金勘定を願上候につき)	(明治32年)二月十一日	上西満庄	○御勝手様御中	状	封筒共
W7	22	101	106			(書状、山中方への品物取引御入帳願いにつき)	(明治)卅二年五月廿三日	長井九郎左衛門、伊之助	渡辺儀藏様、御店中様	状	封筒共
W7	22	101	107			(書状、差引書送付により御引合願いにつき)	明治三十二年七月三日	東京日本橋区橋町一丁目・<マ>ク>ア>安田源藏	渡辺儀藏様	状	封筒共
W7	22	101	108			(書状、御注文の通り、山中方へ品物出箭仕候につき)	明治卅二年六月廿一日	東京市日本橋区橋町壹丁目九番地・中村幾人、宗七	渡辺儀藏様、御店中サ>	状	封筒共
W7	22	101	109			(書状、山中方へ品物出箭のため御入帳願上候につき)	(明治)卅二年六月廿九日	東京大傳馬町壹丁目八番地・<ク>ヲ十>長井九郎左衛門	渡辺儀藏様、御店中様	状	封筒共
W7	22	101	110			(書状、無人により一週間遅延の由、御通知成し下されたく候につき)	(明治)卅一年六月二十二日	(桑折町・井筒屋)宍戸傳助	(刈田郡白石町)寿丸御店御留守様御中(渡部儀藏様御店中様)	状	封筒共

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	22	101	111			(書状、昨日願上候件のため出張致したく候につき)	(明治31年)六月十二日	安藤徳兵エ	渡辺卯吉様	状	包紙共
W7	22	101	112			(書状、普通ノ停車場トシテハ余リ見込も無く候につき)	(明治31年)九月四日	□□□・伊地知源六	白石仲町・渡辺儀藏殿	状	包紙共
W7	22	101	113			(書状、白トこん拾反入用有り、直段何程ニテ何日間位ニ御出来成し下され候哉につき)	(明治31年)十一月二日	桑折町・井筒屋傳助	渡辺惣吉様	状	包紙共
W7	22	101	114			(書状、昨日は座之御見舞下され御礼につき)	(明治31年)十一月五日	岩代桑折町・佐藤新左衛門	寿丸御主人様	状	包紙共
W7	22	101	115			(書状、愚父儀、途中亀板二回り未タ当著無くにつき)	(明治31年)旧七月廿三日	三国屋方・高橋會之進	渡辺卯吉様	状	包紙共
W7	22	101	116	1		(書状、詩書家巖谷一六先生、不日錦地帯在トモナリ幸ヒ揮毫ニ應ズル模様など有り、何卒床掛ケ額巻葉丈ケ御所望致したく候につき)	(明治31年)旧九月十二日	刈田郡関村・富澤清太郎	宮城縣刈田郡白石仲町・渡辺儀藏様	状	包紙共
W7	22	101	116	2		(書状、余人ノ願ハ更ニ金百円ヲ借り加へ、爾來御拜借ノ利子丈ケハ御私申ベケ旨につき)	(明治)卅一年旧九月十二日	富澤清太郎	渡辺儀藏様、同惣吉様	状	包紙共
W7	22	101	117			(書状、昨夜申上候段御許容兼候につき)	(明治31年・月未詳)廿五日	渡辺惣吉	井丸・貞吉様(渡辺貞吉様)、丸久・清之輔様(鈴木清之輔様)	状	包紙共
W7	22	101	118			(書状、御売出之紙布・反物等反購求につき)	(明治)三十一年七月廿一日	白石本町・山田百助	渡辺儀藏様、御貴店中様	状	包紙共
W7	22	101	119			(書状、別紙受取書遣し候間、御地警察署ヨリ御受取ノ上御入帳成し下されたくにつき)	(明治31年)七月一日	陸前國登米町廣小路・河内活版舎(印)	刈田郡白石町・○店・渡辺儀藏様	状	包紙共
W7	22	101	120			(書状、先分之借り金元利共に都合三百五拾円拜借致したく候につき)	(明治)卅一年旧九月十日	(刈田郡七ヶ宿村字関)村上久作	(刈田郡白石仲町)渡部儀藏様	状	封筒共
W7	22	101	121			(書状、此度御備用金成し下され、早速御勘定に出張致すべきところ、新米に有附、本月廿四日迄に致候願上につき)	明治三十一年旧九月十二日	(七ヶ宿村字関小字横川ヨリ)小原榮三郎	(刈田郡白石仲町)渡邊<マ>ヲ>(部)儀藏様	状	封筒共
W7	22	101	122			(書状、商品取引などにつき)	(明治31年)十月十七日	(警城國刈田郡白石本町・静寄軒・<一>生>乗舖)上西定三郎	(中町)渡邊儀藏様	状	封筒共
W7	22	101	123			(覚、昨日は御祝儀下され御礼、およびあさきしほり八尺八寸取落を御しらべ下されたく願候につき)	(明治31年)旧九月七日	(斎川村字中才川)永沼孫七郎	(刈田郡白石仲町)渡邊儀藏様	状	封筒共
W7	22	101	124			(書状、未だ御無沙汰申上、何程か御立服遊ばされ候へ共、決定次第取急ぎ御願申すべく候につき)	(明治31年)旧七月十五日	(七ヶ宿村字横川)高橋會之進	(白石仲町)渡辺卯吉様	状	封筒共
W7	22	101	125			(書状、御恩借の生代金御贈り下されたく候につき)	(明治)卅一年旧七月十二日	(同<刈田>郡七ヶ宿村津)安藤永之助	(刈田郡白石町)渡邊右吉様	状	封筒共
W7	22	101	126	1		(書状案、六月中御願申上候柳小李一箇、此者へ御渡し下されたく候につき)	(明治33年)		渡辺儀藏様	状	
W7	22	101	126	2		(覚、昨日多七殿の塩釜の断承り候ほか、鳥渡私宅へ御光来成し下されたく候につき)	(明治33年)八月廿二日	<マ>ロ>	○御本家様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	22	101	126	3		記(金百円など利子メ八拾壹円六十六錢七リ勘定につき)	(明治)三十三年九月廿七日	渡辺儀藏	佐藤佐太郎様	状	
W7	22	101	126	4		記(表溝石拂下ケ御立替<ヾルニ>分・小関分二口メ金四円六拾四錢二厘勘定につき)	(明治33年)十一月十八日	<ヾルニ>	○御主人様	状	
W7	22	101	126	5		口上(醬油拾壹代金三拾五錢勘定につき)	(明治33年・月未詳)廿五日	米竹和兵衛	渡邊様	状	
W7	22	101	126	6	1	記(紺扇印壹玉代金六円四十七錢五厘勘定につき)	(明治33年)十月十五日	(印、仙臺市大町二丁目・佐助紡績部)、(印、<リヤ>→仙臺・金銀不用・佐藤)	渡辺儀藏様	状	
W7	22	101	126	6	2	(書状、今回御注文の品、別紙通り大働新傳馬丁白島屋義兵衛殿へ御届け申上候につき)	(明治33年)十月十五日	(印、仙臺大町二丁目・佐助紡績部)	渡辺儀藏様、御店中	状	
W7	22	101	126	7		記(利足・米代金三口メ金貳拾円九拾九錢七厘勘定につき)	(明治33年)五月廿二日	渡部儀藏	山田儀平様	状	
W7	22	101	126	8		(付箋、金六拾九錢)	(明治33年)	(印、○渡儀)		状	
W7	22	101	126	9		(覚、メ金三百八十四円六七錢九厘書上)	(明治33年5月)			状	
W7	22	101	126	10		(覚、○印拾円御拝借下されたく候につき)	(明治33年)一月廿一日	<ヾル久>栄治郎	○惣吉様	状	
W7	22	101	126	11		(覚、有金拾四円七拾五錢などメ金八拾四円四拾五錢勘定につき)	(明治33年)			状	
W7	22	101	126	12		(覚、酒五升樽壹つにて金壹円に相働き御買入下されたく候につき)	(明治33年)二月十二日	<ヾル久>栄治郎	○御兄様	状	
W7	22	101	126	13		(覚、本日御神講のため午后三時御來車成り下されたく候につき)	(明治33年)十二月八日	渡邊儀藏	<ヾル久>様(ほか2名)	状	
W7	22	101	126	14	1	土附立前吉日撰(旧八月廿七日・同卅日)	(明治33年)			状	
W7	22	101	126	14	2	日撰(旧八月廿七日丙申(まか5か)日書上)	(明治33年)			状	
W7	22	101	126	15		(覚、長サ貳尺七寸五分など長・高・巾・上・ふち・下ふち寸法書上)	(明治33年)			状	
W7	22	101	126	16		記(矢八本代金四拾錢など諸色代金メ貳円四拾八錢受取につき)	(明治33年)旧八月廿九日	有志町・若井次郎平	渡辺様	状	帯封共
W7	22	101	126	17		記(糖黍拾七俵 かます一俵受取につき)	(明治33年)十一月十一日	樋口秀雄(印)	渡邊儀藏様	状	
W7	22	101	126	18		キ(シヨユウ四本、此者へ御渡し下されたくにつき)	(明治33年)旧十月四日	富沢屋代理・山田文五郎(印、磐城國・白石町<ヾル久>山田屋)	渡辺儀藏様	状	
W7	22	101	126	19		(覚、慶長一分金壹枚代金四円八十五錢六四円九十錢位迄承知仕候につき)	(明治33年)八月十八日	<ヾル久>栄治郎	○外吉様	状	
W7	22	101	126	20		記(湯桶・かマ手桶代金七拾八錢請取につき)	(明治33年)閏八月廿九日	嶋貫太藏(印)	渡邊儀藏様	状	
W7	22	101	126	21		(覚、此人ヨリ御受領下されたく候につき)	(明治33年)八月廿日	上西新治	寿丸様	状	
W7	22	101	127	1		(書状、方々へのあいさつ願につき)	(明治・年未詳)六月十二日	きい	おつねさま	状	封筒共 W7-22-101-127-1~6封筒にて一括

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	22	101	127	2		(書状、かいこ飼育につき)	(明治・年月日未詳)			状	破損あり 2枚1点
W7	22	101	127	3		(書状、病中の生活につき)	(明治・年月日未詳)			状	
W7	22	101	127	4		(書状、病中の生活などにつき)	(明治・年月未詳) 廿二日	惣吉	おつね様	状	
W7	22	101	127	5		(書状、病中ながら帰宅の件につき)	(明治・年月未詳) 五月七日	惣吉	おつね様	状	
W7	22	101	127	6		(書状、御きたくの件につき)	(明治・年月未詳) 七月十五日	ふさ	御あねさま	状	
W7	22	101	128			(書状、委任状受渡により金四百参拾七円渡しのため御承引下されたく候につき)	(明治) 卅二年五月一日	(堀江町志丁目六番地<ヤ 三>) 西村覚藏	渡辺惣吉様、御店中様	状	封筒共
W7	22	101	129			(承諾書并副状、合併のため株主承引要請につき)	明治四十一年一月卅一日	米澤水力電気株式会社・酒 井寛助	渡部儀藏殿	状	封筒共 2枚1点
W7	22	101	130			(書状、横濱生命保険御地代理店ノ義につき)	明治四十一年志月十八日	仙台市南町五十五番地・横 濱生命保険株式会社仙台支 店長・池田正夫(印)	渡辺儀藏様	状	包紙共
W7	22	101	131			(書状、年賀券平素之御厚意を謝せんがため至幸亭ニ於て一盞呈上仕りたく候につき)	明治四拾壹年志月拾五日	白石信託合資会社・社長・丹 野源八	渡辺儀藏様	状	包紙共
W7	22	101	132	1		(通知、定時総会ニ於テ左記ノ通議決相成候につき)	明治四十一年一月廿三日	大阪商船株式会社	株主御中	状	包紙共
W7	22	101	132	2		(通知、明治四十年下半年利益配当金御渡し申上候などにつき)	明治四十一年一月二十三日	大阪商船株式会社		状	
W7	22	101	133	1		(通知、配当金御支払申し上ぐべく候などにつき)	明治四十一年一月二十五日	東京市京橋区木挽町六丁目 八番地・日本鉄道株式会社 清算事務所	宮城県刈田郡白石町大字白 石字中町四十九・渡辺儀 藏	状	包紙共
W7	22	101	133	2		送金依頼書	(明治41年1月)			状	
W7	22	101	134			(通知、来ル十二日午前十時、頭取宅ニ於て総会ニ関スル件、是非御協議致したく候につき)	明治四十一年一月十日	磐城國白石町・株式会社白 石商業銀行(印)	渡辺儀藏殿、渡辺又四郎殿	状	
W7	22	101	135	1		(通知、株主総会相開キ候につき)	明治四十一年一月四日	仙台市大町三丁目百六十八 番地・株式会社宮城商業銀 行頭取・清野喜平治(印)	渡辺儀藏殿	状	包紙共
W7	22	101	135	2		株式会社宮城商業銀行貸借対照表	明治四十一年一月四日	株式会社宮城商業銀行		状	
W7	22	101	136			(通知、臨時株主総会相開キ候間、御出席成し下されたく候につき)	明治四十一年一月十六日	日本煉炭株式会社・社長・小 野金六	株主各位(宮城県刈田郡白 石町字中町四九・渡辺儀 藏)	状	封筒共
W7	22	101	137			(通知、株主総会開会のため御出席成し下されたく候につき)	明治四十一年一月十日	日本鉄道株式会社・事務清 算人・青山幸宣	(宮城県刈田郡白石町大字 白石字中町四九・渡辺儀 藏)	状	封筒共
W7	22	101	138			(通知、定時総会相開キ候間、御出席成し下されたく候につき)	明治四十一年一月十四日	共同火災海上運送保険株式 会社・取締役社長・田邊貞吉	(宮城県刈田郡白石町中野 <ヤ> 四十九・渡邊儀 藏)	状	封筒共

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	22	101	139			(通知、株主総会相開候間、御出席下されたく候につき、貸借対照表など添付あり)	明治四十一年一月八日	株式会社宮城県農工銀行頭取・熱海孫十郎	(刈田郡白石町白石四九・渡邊儀藏殿)	状	封筒共
W7	22	101	140			(通知、定時株主総会及臨時株主総会開催通知につき、貸借対照表など添付あり)	明治四十一年一月一日	株式会社白石商業銀行取締役頭取・渡邊佐吉	渡邊儀藏殿	状	封筒共 5紙1点
W7	22	101	141			(通知、株主総会開催および損益計算書など報告につき)	明治四十一年一月一日	(警備國白石町)株式会社白石商業銀行	渡邊又四郎殿	状	封筒共 5紙1点
W7	22	101	142	1		仮契約書(印刷物、東京市へ経営移行につき)	明治四拾年拾貳月拾五日	東京市参事會・東京市長・尾崎行雄・東京鐵道株式會社・取締役社長・牟田口元學	(宮城縣刈田郡白石町白石字中町四九・渡邊儀藏殿)	状	封筒共
W7	22	101	142	2		(通知、臨時株主総会開催につき)	明治四十年十二月二十日	東京鐵道株式會社・社長・牟田口元學	(渡邊儀藏殿)	状	
W7	22	101	143			(通知、定時総会開催および營業報告書などにつき)	明治四十一年一月八日	(大坂市北區富島町六拾四番屋敷)大阪商船株式會社・取締役社長・中橋徳五郎	(宮城・葫田郡白石町白石字中町四九・渡邊儀藏殿)	冊	
W7	22	101	144	1		(通知、株主総会開催および議案・貸借対照表など報告につき)	明治四十一年一月九日	(京都千本通三條上ル)京都鐵道株式會社・専務清算人・田中源太郎	(宮城縣刈田郡白石町白石字中町四九・渡邊儀藏殿)	状	封筒共 2紙1点
W7	22	101	144	2		委任状(京都鐵道株主総会につき、未使用)	(明治四十一年一月九日)	(京都鐵道株式會社)		状	
W7	22	101	145			(年賀状、初荷物沢山御注文仰せ付けられ御礼につき)	(明治33年)一月二日	<イリヤノ>仙台市大町四丁目・塚本仲右衛門	渡邊儀藏様	状	包紙共
W7	22	101	146	1		(書状、本年も相変わらず御厚願願上候につき)	(明治)三十三年一月四日	西村商店(印、東京市日本橋区堀江町巷丁目六番地・東京株式取引所仲買人<ヤヱ三>西村寛藏商店)	渡邊惣吉様	状	包紙共
W7	22	101	146	2		東京株式取引日報 第一千八百七十七号付録(諸公債各株式定期売買証摺金表)	明治卅三年一月四日	発行所・東京市日本橋区兜町二番地・株式商況社		状	
W7	22	101	147			(書状、御注文の品送付延引につき)	明治卅二年拾二月卅一日	合資會社藏田商店	渡邊儀造様	状	封筒共
W7	22	101	148			(年賀状)	(明治33年)一月二日	青森港大字米町七拾九番戸・渡邊佐助、渡邊治四郎	(白石)渡邊儀藏様、惣吉様	状	封筒共
W7	22	101	149			(封筒)	(明治)卅二年七月七日	仙臺市國分町・佐助支店	刈田郡白石・渡邊儀藏様	封筒	
W7	22	101	150			(書状、朝四時半に白石を發し、六時四十分小原役場到着などにつき)	(明治32年)六月廿九日	(七ヶ宿村滑津)菊池直治	(刈田郡白石町白石中町)渡邊外吉様	状	封筒共
W7	22	102	1	1		(包紙、午启)	(明治23年)			状	
W7	22	102	1	2		証(荷物運賃三円三拾七錢壹厘受取につき)	(明治23年)十月三日	白石町支店・成川平藏	浪花町・高山様ニテ・渡邊傳五郎様	状	包紙共
W7	22	102	2			口上(紙千枚代金貳円五十錢など諸色代金メ六円五十八錢勘定につき)	(明治23年)十月一日		渡邊様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	22	102	3	1		(書状、御主人様御所持地七北田村元市名坂圃水害地、先日御咄仕候通、取調書別紙ヲ以差上候間、よろしく御伝言成し下されたく候につき)	(明治22年)十二月四日	宮城郡七北田々・佐藤悦三郎	宮城縣刈田郡白石本郷・渡辺儀藏様御内ニテ・佐藤多七様	状	包紙共
W7	22	102	3	2		渡辺儀造所持地水害取調左ニ(明治廿貳年九月十一日洪水・宮城郡七北田村元市名坂高玉川島圃)	(明治22年12月4日)			状	
W7	22	102	3	3		(略図・七北田島)	(明治22年12月4日)			状	
W7	22	102	4			(新聞付録、七福神図)	明治廿五年一月二日	麴町区内幸町壹丁目五番地・都新聞社		状	
W7	22	102	5			(印鑑記)	明治廿五年四月	笠間半二		状	
W7	22	102	6			(包紙、金一円廿弍錢)	(明治25年)		七北田・佐藤常三郎様	状	
W7	22	102	7			証(桑楮苗植付人足八人代金壹円四十四錢受取につき)	(明治25年)四月廿六日	佐藤常三郎(印)	佐藤文七様	状	
W7	22	102	8			(書状、奉中送り上候品、東京上ノ<ヲ>七ノ扱店ニテ値段段誤ヲ記載致候事につき)	(明治24年)七月四日	岩代福島停車場前・渡辺陸送店	白石・渡辺儀藏様	状	
W7	22	102	9			差引書(西川甚五郎へ支払金拾九円三十錢など御預りに相成居候につき)	(明治)廿四年十二月六日	大濱忠三郎支店(印、<ハ>久>東京・田所町・金銀不 用・大濱忠三郎)	渡辺儀藏様、御店中	状	
W7	22	102	10			(書状、新太郎様三日前に御地へ出店之由、今日始テ御同店様ニテ承りにつき)	(明治23年)三月廿五日	吉治	若御主人様	状	
W7	22	102	11			運賃調書(汽車積金四拾四錢壹個につき)	(明治)廿三年	東京・山中茂兵衛(印、東京・伊勢町・山中屋・運送方)	磐城白石・渡辺儀藏様	状	
W7	22	102	12			(広告原案、弊舗事、従来みなさまの愛顧を被り厚情謝するにつき)	(明治22年)	宮城縣磐城国刈田郡白石本郷中町・呉服太物店・渡邊屋儀藏	御旦那員連へ	状	2紙1点、W7-22-102-19広告の原案
W7	22	102	13			(覚、大柳後・田八畝壹歩など田畑面積・地師・地租書上)	(明治22年)			状	
W7	22	102	14	1		送り券(紙苞包運賃四十円)	明治二十一年二月十五日	東京堀留町二丁目・藏田吉兵衛(印、<ヲ>藏>藏田)(印、東京上野車阪町・山中茂兵衛出張店)	磐城白石・渡辺儀藏殿	状	
W7	22	102	14	2		(書状、賃金不相当の事仰せの件、先方へ照会致すにつき)	(明治21年)七月七日	磐代福島停車場前・渡邊陸送店	渡邊儀藏様	状	
W7	22	102	15			(覚、綿ネル模様入・クレトソなど下店持合品報知につき)	(明治21年)拾一月十九日	東京横山丁二丁目・紅葉屋和三治	(宮城縣下白石町・呉服商)渡邊儀三様	状	封筒共
W7	22	102	16			鑑廻廣告(印刷物)	(明治22年)	大日本鑑廻製造始祖<ヲ>久一>宮城縣磐城国刈田郡白石町・鈴木味三郎		状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形態	状態／備考
W7 22	102	17			約定書(貨物運搬特約につき)	明治廿二年六月廿日	渡辺儀藏(印、岩代・白石中町・金銀不用・渡邊屋)、日本運輸會社下谷出張所(印)、白石代理店支配人・内馬場繁三郎(印)	磐城国刈田郡白石本町・渡辺儀藏様	状	
W7 22	102	18	1		(封筒) 記(小津清左衛門出・紙荷物各個、佐野丹次郎出・蘆包各個など御出荷につき)	(明治)廿三年四月九日	東京室町・成川平藏	磐城国白石驛・渡辺儀藏様、御店衆中様	状	
W7 22	102	18	2		記(塚本商店出、外村与左衛門出の蘆包各各個御出荷につき)	明治廿二年十月八日	日本通運會社室町支店(印)	渡邊義藏様	状	W7-22-102-18-2~31枚綴一括
W7 22	102	18	3		記(塚本商店出、外村与左衛門出の蘆包各各個御出荷につき)	明治廿二年十月九日	通運會社室町支店・成川平藏	渡邊義造様	状	
W7 22	102	18	4		記(東京近金出シ蘆包各個受取につき)	(明治22年)十一月十一日	渡辺儀藏(印)	内国通運會社御中	状	
W7 22	102	19			廣告(渡邊儀藏營業につき)	(明治22年)	宮城縣刈田郡白石町・渡邊儀藏		状	
W7 22	102	20			古着明細記(胡黄格子・紺牡丹唐草など十品、渡邊儀三殿へ御積下願ひにつき)	明治廿四年十一月六日	神田区東龍閑町九番地・川口兼吉(印)	和泉橋警察署御中	状	
W7 22	102	21			(書状、退シ思考仕候得共、偏ニ不孝ヲ来スモ酒ノ為につき)	(明治24年)十二月十三日	伊藤庄助	渡辺惣吉様	状	包紙共
W7 22	102	22	1		(書状、近時関西地方より粗造金庫ヲ輸入販売スル者有リ候につき)	(明治25年)	日本橋区馬喰町丁目壹番地・竹内金庫販売店・竹内善次郎	磐城国刈田郡白石本町・渡辺儀助様	状	包紙共
W7 22	102	22	2		金庫販売特別割引切符	(明治25年)			状	
W7 22	102	23			(書状、私老年のため働き兼ね候につき)	(明治)廿五年一月十三日	惣吉		状	
W7 22	102	24			(書状、御入用の証券御持参下され候につき)	(明治25年)	井丸・庄吉	御本家・惣吉様	状	包紙共
W7 22	102	25			記(金七拾三円六拾錢受取につき)	(明治)廿三年正月廿八日	柴田郡船岡村・舟山傳七(印)	刈田郡白石町・三浦伊平様	状	
W7 22	102	26			寛(白糸代金七円など書上)	(明治23年)			状	
W7 22	102	27			立換並運賃請求書(綿運賃合計九錢につき)	明治廿一年二月廿日	<カ>(印)、<カ>(印)岩代福島停車場前・鉄道陸送店・鉄道貨取扱所)	桑折立所御中、白石・渡辺儀藏様行	状	
W7 22	102	28			立換運賃請求書(運賃式拾四錢につき)	明治廿一年二月廿一日	陸運物貨繼立所(印、岩代國桑折驛陸運物貨繼立所)	白石驛・渡辺儀藏殿	状	
W7 22	102	29			西洋織物物価報告 第四十八号附録(改曆之御慶芽出度申納候)	明治廿五年一月二日	大濱忠三郎支店		状	
W7 22	102	30	1	1	(封筒)	(明治9年)四月廿日	從東京・佐藤忠治(印、<カ>十>磐城・白石)	磐城國白石中町・渡邊儀藏様	封筒	
W7 22	102	30	1	2	(付箋、明治九年丑秋・米澤生糸方壹卷)	明治九年			状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	22	102	30	1	3	(書状、四、五日前々外村氏預りのうち見本糸巻、式ヶ所相廻し、北脇と申す方へ預け置候ほか、商売関係につき)	(明治9年)四月十日	忠治、宗三郎	渡辺儀藏様、甚藏様	状	こより共
W7	22	102	30	1	4	(書状、今日取引滞りなく相済申候、金円の義六百円也、元金へ相戻し候上、長谷川へ四百五拾円、佐丹へ式百円など相廻し候につき)	(明治9年)四月十九日夜	佐藤忠治、渡辺宗三郎	渡部儀藏様、甚藏様	状	
W7	22	102	30	1	5	(書状案、御道中も大急ぎのところ世上成行申上、および委細は井丸叔父方申上候などにつき)	(明治9年)			状	
W7	22	102	30	2		送り書之事 高畑大町・嘉藤伊七出し生糸八貫三百匁につき)	(明治9年)九月十七日	山形縣下高畑・生糸改會社 (印、羽前・高島)	宮城縣下・生糸改會社御中	状	
W7	22	102	30	3		覚(三貫目前後壹箇二付三百〇三円割など書上)	(明治9年)			状	破損あり
W7	22	102	30	4		送り書之事(山形県下・五十嵐十三郎出し生糸式箇改め相済につき)	(明治9年)九月十八日	山形縣下高畑・生糸改會社 (印、羽前・高島)	宮城縣下白石・生糸改會社御中	状	
W7	22	102	30	5		(書状、大河原辺取引も相出し、保原辺は見込下向などにつき)	(明治9年)九月十一日夕	(しら石か・同)儀藏	(高畑御出張先・渡邊)甚藏殿、半兵衛殿	状	封筒共
W7	22	102	30	6	1	記(東京・高畑など出張持ち出し金書上)	(明治9年)9月11日)			状	
W7	22	102	30	6	2	よろつおほへ(高畑・赤湯行き道中入用勘定帳)	子(明治9年)ノ明治九月五日	寿丸		冊	
W7	22	102	30	7		(書状、今般御入手に相成候品御買入の件などにつき)	(明治9年)九月十五日朝	(自しら石・同)儀藏	(高畑二而・渡邊)甚藏殿、半平殿	状	封筒共
W7	22	102	30	8	1	(覚、宿二而請取の百円などメ金四百廿五円請取につき)	(明治9年)			状	こより共 W7-22-102-30-8-1~17 こよりにて一括
W7	22	102	30	2		覚(赤湯糸口せん渡し金四円五十八錢六リなどメ金七十円余勘定につき)	(明治9年)			状	
W7	22	102	30	3		記(高畑が湯原迄駄ちん十五錢など諸入用金メ式円十六錢勘定につき)	(明治9年)			状	
W7	22	102	30	4		記(酒・酒肴代などメ九円拾三錢八リ勘定につき)	(明治9年)九月十七日	高畑・丁子屋市太郎(印、<ヤ ミ>ヲ<ヤ>ヲ<ヤ>ヲ羽前・高島・丁 字屋)	白石中町・渡邊儀藏様	状	
W7	22	102	30	5		(覚、結城・三輪屋など算用書上)	(明治9年)			状	3紙1点、反古紙を再利用
W7	22	102	30	6		入日記(増測サマ代金式百六拾三円八十式錢につき)	(明治9年)			状	
W7	22	102	30	7		記(生糸三貫四百四十六匁代金百拾六円余受取につき)	子(明治9年)九月十八日	米沢竹森・十文字屋十三郎 (印、<ヤ>十>羽州・米沢・竹 森・十文字屋)	白石・渡辺儀藏様	状	
W7	22	102	30	8		記(生糸拾三貫四百匁代金五百廿四円余請取につき)	子(明治9年)九月十八日	米沢竹森・十文字屋十三郎 (印、<ヤ>十>羽州・米沢・竹 森・十文字屋)	白石・渡辺儀藏様	状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形態	状態／備考
W7 22	102	30	8	9	入日記(十文字屋様メ九貫四百七拾三匁につき)	(明治9年)			状	
W7 22	102	30	8	10	入日記(十文字屋棟別口メ四貫九百廿九匁につき)	(明治9年)	山十	上	状	
W7 22	102	30	8	11	日記(十文字屋様印メ八貫式百三拾四匁、裏面に「右は白石・渡辺儀藏分」とあり)	(明治9年)			状	
W7 22	102	30	8	12	キ(五切・三百五十四などメ三貫四百六十一、出切差引拾五匁切勘定につき)	(明治9年)			状	後欠
W7 22	102	30	8	13	記(生糸八貫式百三拾四匁代金式百六拾五円三拾壹錢五厘勘定につき)	(明治9年)九月十五日	竹森・五十嵐十三郎(印、<ヤ>テ十>羽州・米沢・竹森・十文字屋)	白石・渡辺儀藏殿	状	
W7 22	102	30	8	14	記(生糸口錢両口メ高四円五拾八錢余受取につき)	子(明治9年)九月十二日	羽田常五郎	渡部儀藏様	状	
W7 22	102	30	8	15	入日記(結城豊吉様・三輪屋利右衛門様メ九貫六百式拾壹匁・廿八匁につき)	子(明治9年)九月十二日			状	
W7 22	102	30	8	16	記(四百六拾七・一切などメ九貫九拾七匁代金式百九拾九円余受取につき)	子(明治9年)九月十二日	結城豊吉(印)	渡部儀藏様、取次人・伏見屋彦兵衛殿	状	
W7 22	102	30	8	17	生糸仕切之證(廿八匁・九貫六百二十匁匁代金三百拾壹円余相済につき)	明次九年子九月十二日	赤湯 郁・三輪屋利右衛門(印、羽州・米澤・赤湯・三輪屋)	白石・渡部儀造様、取次中	状	
W7 22	102	30	9	1	(封筒)	(明治9年)七月	宮城 <small>カ</small>	宮城縣下刈田白石中町・渡辺儀藏様	封筒	破損甚大
W7 22	102	30	9	2	(書状、同月十日御役所へ出張仕候ところ、明日久藏・又左衛門兩人と私共六名御引合につき)	(明治9年)七月十二日午後五時	半兵衛	○御主人様	状	破損あり
W7 22	102	30	9	3	(覚、先達高田屋善吉殿の調書送り上候ところ、今をもって何の報告も無く困り入候につき)	(明治9年)七月十二日	半兵衛	清治郎様	状	
W7 22	102	30	9	4	(覚、かや相場・金子請取など下書)	(明治9年7月)			状	
W7 23	1				記(寅ノ二月十八日に皿鉢式枚代五百文など諸色代錢メ式拾壹貫五百六拾五文受取につき)	丑(明治10年)十二月	丸太	寿満留様	状	こより共 W7-23-1~3にこよりにて一括
W7 23	2				覚(俵四斗入直し三十式俵九升、此ちん巻円余勘定につき)	(明治10年)正月	大畑や水車	○様	状	
W7 23	3				記(三十・紺百九十七匁代金五貫九百拾文勘定につき)	丑(明治10年)十二月	渡部や儀兵衛	国井清治郎様	状	
W7 23	4				記(上々生水三貫五十匁代金式円壹錢九リ請取につき)	(明治10年)九月十二日	菊地屋萬五郎(印、白石・中町・菊地屋)	渡部甚藏様	状	こより共 W7-23-4~11にこよりにて一括
W7 23	5				記(下腹丸代金式拾錢受取につき)	(明治10年)六月四日	<イ>水>水と屋(印)	<カ>ロ>様	状	
W7 23	6				記(煙草代金七拾七錢請取につき)	(明治10年)五月廿日	和泉屋忠七郎	上	状	
W7 23	7				記(竹製曲式尺巻本代など諸色代金メ五錢三リ請取につき)	丑(明治10年)九月十一日	度量衡売捌所・菊地十郎左衛門(印、<ヤ>水>奥州・白石・石津屋)	渡辺儀藏様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	23	8				記(水量忝升式個など水量器代金メ六拾八錢六リ請取につき)	(明治10年)九月六日	度量衡売捌所・菊地十郎左衛門(印)、<ヤヤ水>奥州・白石・石津屋)	渡辺儀藏様	状	
W7	23	9				記(往水油・生水油代金メ三円九十六錢勘定につき)	(明治9年)七月十日	菊屋	寿丸様	状	
W7	23	10				記(上々品代金メ六拾八錢請取につき)	(明治10年)六月廿二日	幸町・はたのや	国井清治郎様	状	
W7	23	11				記(下駄・天秤代など諸色代金メ式拾壹貫式百拾五文勘定につき)	丑(明治10年)七月	丸大	寿丸様	状	
W7	23	12				記(下駄・靴下・端書代など諸色代金式円八拾三錢余勘定につき)	丑(明治10年)九月	栄治郎	○御兄様	状	W7-23-12~34こよりにて一括
W7	23	13				記(角筒・大折釘・錠前代など諸色代金四円九拾八錢余勘定につき)	丑(明治10年)ノ九月	安藤や栄藏	渡邊屋儀藏様	状	
W7	23	14				記(赤針・みそ・武力板代など諸色代金式円八十四錢余請取につき)	(明治10年)九月三十日	高橋や甚兵衛	渡邊儀藏様	状	前欠
W7	23	15				記(肝納丸十五粒代金拾五錢、三割引にて正味十錢五厘勘定につき)	丑(明治10年)九月廿日	代・久作	上様	状	
W7	23	16				記(乍子ノ年品代残金四円三拾八錢八リ三毛勘定につき)	(明治)十年九月廿日	澤口辰三郎	渡部儀藏様、御店中様	状	
W7	23	17				記(中椎草代など<カコロ>新宅御購入料メ五十三錢五リ請取につき)	(明治10年)七月十九日	八百や忠吉	渡部義藏様	状	
W7	23	18				記(六角手提代金六拾三錢受取につき)	(明治10年)旧七月十七日	代・由栄店	渡邊儀藏様	状	
W7	23	19				記(ヒメリンス三丈代金式円拾錢勘定につき)	丑(明治10年)八月	九十	寿満留様	状	
W7	23	20				記(ミカン酒代など諸色代金メ式円六拾式錢九リ壹毛勘定につき)	(明治10年)八月	西竹部竹六	渡部義藏様	状	
W7	23	21				記(手水鉢・のミロ・酒桶代など諸色代金メ六円九拾式錢五リ五毛勘定につき)	(明治10年)七月十四日	桶屋庄之助	渡邊義藏様	状	破損あり
W7	23	22				記(<リヤト>分糸方代金メ五円三十九錢八リ七毛受取につき)	丑(明治10年)五月廿三日	<ヤ上>店	○御店様	状	
W7	23	23				記(流木拾五間代金拾三円拾式錢五リ勘定につき)	(明治10年)旧四月十五日	佐藤仁吉	渡辺儀藏様	状	
W7	23	24				記(水油四貫五十目代金式円余勘定につき)	(明治10年)五月十三日	菊地屋萬五郎	渡部儀藏様	状	
W7	23	25				おほへ(大麦忝石売上金七切式朱請取につき)	(明治10年)三月廿日	水戸屋久五郎(印)、<リヤ水>磐城・白石・本町・水戸屋)	上	状	
W7	23	26				記(わらち忝足・縄・漣縮三反代など諸色代金メ四拾五貫三百四文勘定につき)	丑(明治10年)ノ正月十七日	丸大	寿満留様	状	
W7	23	27				記(陸軍歩兵御宿泊割のため今晚だけ大布式拾五枚御拝借成し下されたく願上候につき)	(明治10年)三月廿七日	山崎圓八(印)	渡辺儀藏様	状	
W7	23	28				記(大麦五斗入拾壹俵受取につき)	(明治10年)	川忠事・真野忠治(印)	渡邊儀藏様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形態	状態／備考
W7	23	29				寛(石代金拾六円八拾七銭五リ勘定につき)	(明治10年)三月三日	丸石(印、<ヤ>石>伊達・梁川・石屋)	<ヤ>七>様	状	
W7	23	30				記(代金廿九銭四リ請取につき)	(明治10年)旧二月十八日	<カネ水>(印、磐城・白石・中町・水戸屋)	○御印様、御衆中様	状	
W7	23	31				記(代金三拾弍銭請取につき)	(明治10年)	甚藏(印、磐城・白石・中町・水戸屋)	御向人様	状	
W7	23	32				記(往水<油>皆掛四貫弍百め代金弍円五拾六銭余請取につき)	(明治10年)一月四日	菊地屋万五郎	渡邊屋儀藏様	状	
W7	23	33				記(酒代など諸色代金メ五円勘定につき)	(明治10年)十月	乾庄之助	渡邊儀藏様	状	
W7	23	34				記(油・石油・手ランプ代など諸色代金メ十弍円九十六銭六リ勘定につき)	丑(明治10年)三月	高はしや甚兵衛	寿丸・御勝手様	状	
W7	24	1				記(壹斗八升四合代金壹円受取につき)	(明治22年)旧五月八日	平井熊三郎(印)	上様	状	
W7	24	1	2			記(四月二日御主人分代金七銭など治療費メ四拾九銭請取につき)	(明治)廿二年五月二日	刈田病院(印、刈田病院会計之印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	24	1	3			記(日本理財雜誌弍部代金拾六銭など雑誌代金メ五拾壹銭受取につき)	(明治22年)四月卅日	山田俊吉(印)	渡部様	状	
W7	24	1	4			キ(十八日弍銭など諸色代金メ拾四銭勘定につき)	(明治22年)	武者乃右衛門(印)	伊勢寅吉様	状	
W7	24	1	5			寛(竹の子五本代金六十銭など諸色代金メ壹円九十六銭五厘受取につき)	(明治22年)四月廿五日	菅野屋庄五郎(印、<ヤ>正>磐城・白石・中町・菅野屋)	渡辺儀藏様	状	
W7	24	1	6			記(売上代金三円五弍銭五厘請取につき)	(明治22年)四月廿三日	菅野屋庄五郎(印、石川屋)	渡辺様	状	
W7	24	1	7			記(平め四枚など諸色代金壹円五拾弍銭受取につき)	(明治22年)旧四月廿二日	石川利吉(印、石川屋)	渡辺様	状	
W7	24	1	8			記(商用塩拾五俵代金三円五十銭五厘受取につき)	(明治22年)四月廿一日	菅野屋庄五郎(印)	渡辺儀藏様	状	
W7	24	1	9			証(おさかな代金八十銭受取につき)	(明治22年)四月八日	たま幸(印、白石・中町・玉幸)	旦那様	状	
W7	24	1	10			記(開化饅頭四個代金一円六十銭受取につき)	(明治22年)旧三月廿九日	日下屋傳右エ門	寿丸様	状	
W7	24	1	11			寛(下り表井小座敷分三十弍枚、此貫壹円十四銭弍リなど勘定につき)	(明治22年)			状	
W7	24	1	12			記(金九十五銭、但し御預リノ内御使用分書上)	(明治)廿二年四月二日	鈴木為五郎(印、白石・中町・<カノ方>鈴木屋)	渡邊惣吉様	状	
W7	24	1	13			記(治療費弍円三拾壹銭受取につき)	(明治)廿二年三月卅一日	刈田病院(印、刈田病院会計之印)	渡辺卯吉殿	状	
W7	24	1	14			記(清酒壹斗五升五合代金壹円六拾弍銭七厘五毛請取候につき)	(明治22年)三月廿七日	梁川・八巻味右衛門(印、岩代・梁川・八巻味右衛門)	白石・渡辺様	状	
W7	24	1	15			記(五八掛・弍百丁・壹貫百六拾弍代金壹円三拾六銭四厘請取につき)	(明治22年)旧二月廿九日	山崎岩吉(印、磐城・刈田・白石・新町・山崎岩吉)	渡部御店様	状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7 24	1	16			記(二四ちり紙三本など諸色代金メ七円八十八錢四厘請求につき)	(明治22年)旧二月廿八日	制野惣四郎(印)	渡部儀藏様	状	
W7 24	1	17			記(御主人分・卯吉殿分・幸之助殿分治療費四円六錢受取につき)	(明治) 廿二年二月廿八日	刈田病院(印、刈田病院会計之印)	渡辺儀藏殿	状	
W7 24	1	18			覚(わかいいたる代など壹円五錢五厘請求につき)	丑(明治22年)二月十三日	中のヤ・小関弥吉(印)	渡辺儀藏様	状	
W7 24	1	19			記(女米式十・四十錢書上)	丑(明治22年)二月六日	藤右衛門	上様	状	
W7 24	1	20			記(感應丸廿五・一角丸三など兼代金八十壹錢八厘勘定につき)	(明治22年)二月五日	代・菊治郎	上様	状	
W7 24	1	21			記(帆船十丁代七錢五厘など諸色売上代価メ壹円七拾三錢式厘受取につき)	(明治) 廿二年二月五日	大畑屋惣右衛門(印、白石・中町)	渡辺儀藏様	状	
W7 24	1	22			記(制水油四貫六百三十目代金式円三十七錢四厘請求につき)	(明治22年)二月一日	菊地屋萬五郎(印、白石・中町)	渡辺儀藏様	状	
W7 24	1	23			記(扇子壹本四錢など諸色代金メ三円七拾七錢四厘受取につき)	(明治) 廿二年二月十日	高橋甚兵衛(印、警成・白石・中町)	上様	状	
W7 24	1	24			記(絹をりもの染直シくろ一反代五拾五錢など諸色代金メ二圓七錢受取につき)	(明治21年)十二月廿九日	梁屋萬一	渡辺様	状	
W7 24	1	25			記(手桶代式錢五厘など諸色代金メ壹円九十四錢受取につき)	(明治) 二十二年旧正月四日	森千代治	渡辺儀造様	状	
W7 24	1	26			キ(鳥なべ二枚代式拾五錢など諸色代金メ壹円三錢請求につき)	(明治22年)一月十三日	玉幸(印、白石・中町・玉幸)	上様	状	
W7 24	1	27			記(売上金四拾一錢三厘請求につき)	(明治22年)十二月三十一日	鶴見屋千右衛門(印)	○様	状	
W7 24	1	28			証(密柑半箱代式十一錢五厘など諸色代金メ三円十一錢拂分につき)	(明治) 廿一年十二月二十日			状	
W7 24	1	29			記(大豆拾石六斗五升代金四拾貳円六拾錢受取につき)	(明治) 廿一年十二月廿二日	太田勇助	渡辺儀藏様	状	
W7 24	1	30			記(十一月一日々同廿三日迄拾回分治療費式円七錢五厘受取につき)	(明治) 廿一年十一月二日	刈田病院(印、刈田病院会計之印)	渡辺卯吉殿	状	
W7 24	1	31			証(立山様日業四個代金拾貳錢受取につき)	(明治) 廿一年十月十七日	立山麓東手橋・清眼堂(印)	渡辺儀藏様	状	
W7 24	1	32			記(開化饗頭四百五十代金壹円八拾錢請求につき)	(明治21年)十月四日	佐藤屋虎五郎(印)	寿丸・御勝手様	状	
W7 24	1	33			記(嶋小倉代拾五錢など諸色代金メ六拾貳錢九厘受取につき)	(明治21年)九月一日	鳴海屋義平(印)	渡儀様	状	
W7 24	1	34			記(煙草壹本十八錢など諸色代金メ式円四拾六錢五厘請求につき)	(明治21年)八月廿六日	大畑屋惣右衛門(印)	渡辺儀藏様	状	
W7 24	1	35			記(止宿料九泊代金式円廿五錢など諸色代金メ式円三拾貳錢五厘勘定につき)	(明治21年)旧八月十三日	佐藤源兵衛(印、<中>中>警成・遠刈田温泉・佐藤)	上様	状	
W7 24	1	36			記(七月四日御主人分七錢など治療費式円貳拾五錢受取につき)	(明治) 廿一年七月十六日	刈田病院(印、刈田病院会計之印)	渡辺卯吉殿	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	24	1	37			記(五八掛式百丁壹貫百六十匁代金壹円三十八錢壹厘請取につき)	子(明治21年)ノ年旧七月十九日	山崎岩吉(印)	渡辺儀藏様	状	
W7	24	1	38			記(五龍圓小九五粒入廿九箇代金八拾七錢受取につき)	(明治)廿一年七月十八日	阿州・富松武助(印、<カンカフ上>アノハ・富松氏代・大久保藤吉)	渡辺儀藏様	状	
W7	24	1	39			記(六月廿七日御主人分七錢など治療費五円八拾九錢受取につき)	(明治)廿一年七月二日	刘田病院(印、刘田病院会計之印)	渡辺卯吉殿	状	
W7	24	1	40			(記、たい塩燻・さしみ代など食事代金メ四十三錢受取につき)	(明治21年)七月一日	たま幸(印、白石・中町・玉幸)	渡辺様	状	
W7	24	1	41			(覚、切手代五錢など諸経費書上)	(明治21年)六月			状	
W7	24	1	42			記(六月駄賃廿式錢勘定につき)	(明治21年)六月卅日	山田俊吉	卯吉様	状	
W7	24	1	43			記(八八正生式百丁代金壹円九五錢請取につき)	(明治21年)十二月九日	鶴見屋千右衛門(印)	○様	状	
W7	24	1	44			キ(太子三拾四錢四厘受取につき)	(明治21年)十一月廿五日	白石せり場(印)	上	状	
W7	24	1	45			しらへ(酒代四十錢など諸色代金メ式拾四円六拾八錢勘定につき)	(明治)廿二年丑ノ五月廿日	大槻鶴治郎		状	
W7	24	1	46			記(備後表三十式枚代金七百円四錢請取につき)	(明治21年)九月廿一日	熊谷善左衛門(印、仙台大町)	渡部儀藏様、左七様	状	
W7	24	1	47			記(九月治療費壹円八拾式錢受取につき)	(明治)廿一年九月卅日	刘田病院(印、刘田病院会計之印)	渡辺民之助殿	状	
W7	24	1	48			記(九月治療費式円拾錢五厘受取につき)	(明治21年)9月30日)	刘田病院(印、刘田病院会計之印)	渡辺卯吉殿	状	
W7	24	1	49			覚(にんちんたね・たる・なたね代など諸色代金メ式円四十式錢六厘勘定につき)	子(明治21年)ノ九月十日	小関弥吉	儀藏様	状	破損あり
W7	24	1	50			記(改良式十四代金式拾錢請取につき)	(明治)式十一年旧七月廿二日	佐藤忠吉	渡部儀藏様	状	
W7	24	1	51			記(備中六個代金九拾三錢請取につき)	(明治)廿一年八月十五日	鈴木孫七(印、<カニ>岩城・白石・本町・鈴木屋)	渡辺儀藏様	状	
W7	24	1	52			記(うなき代など食事代金メ三十四錢受取につき)	(明治21年)八月七日	たま幸(印、白石・中町・玉幸)	上様	状	
W7	24	1	53			記(玉子やき代など食事代金メ三拾錢拜受につき)	(明治21年)七月卅日	玉幸(印、白石・中町・玉幸)	渡辺様	状	
W7	24	1	54			記(金八円拾八錢差引勘定につき)	(明治21年)			状	
W7	24	1	55			記(八月十二日分六錢など治療費式拾四錢受取につき)	(明治)廿一年九月一日	刘田病院	渡辺茂七殿	状	
W7	24	1	56			記(四月十九日分七錢など治療費五拾六錢受取につき)	(明治)廿一年九月一日	刘田病院	渡辺多七殿	状	
W7	24	1	57			記(八月六日分七錢など治療費式拾八錢受取につき)	(明治)廿一年九月一日	刘田病院	渡辺儀藏殿	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	24	1	58			記(七月三十日分六銭など治療費五拾四銭受取につき)	(明治)廿一年九月一日	刈田病院	渡辺ツネ殿	状	
W7	24	1	59			記(八月廿四日分七銭など治療費四拾九銭受取につき)	(明治)廿一年九月一日	刈田病院	渡辺卯吉殿	状	
W7	24	1	60			記(七月廿九日分五銭など治療費五拾銭受取につき)	(明治)廿一年九月一日	刈田病院	渡辺儀藏殿	状	
W7	24	1	61			記(治療費三円五拾三銭受取につき)	(明治)廿一年九月一日	刈田病院	渡辺民之助殿	状	
W7	24	1	62			記(酒代金壹円拾貳銭受取につき)	(明治21年)八月廿一日	生酒屋甚吉	中町・渡邊儀藏様	状	
W7	24	1	63			記(木綿あさき染直し五丈二尺・大めしまあさき一反代金三拾銭勘定につき)	(明治21年)七月十四日	染屋萬一	渡辺様	状	
W7	24	1	64			おりまへ(白幡より岩沼まで人力車代など道中入用金メ貳円四十銭五厘勘定につき)	(明治21年)			状	
W7	24	1	65			記(諸色代金メ貳円三十八銭五リなど勘定につき)	(明治21年)			状	
W7	24	1	66			しらへメ(上物糸代金貳十五銭など勘定につき)	(明治21年)			状	
W7	24	1	67			(覚、デはこ・御わん・御せん代など諸色代金メ三拾壹銭勘定につき)	子(明治21年)ノ六月七日	森山七藏	○御勝手様	状	前欠
W7	24	1	68			記(絹染・絹糸代など諸色代金メ拾壹円四拾四銭勘定につき)	子(明治21年)ノ七月	丸太	寿丸・御勝手様	状	
W7	24	1	69			記(金壹円廿銭之積りに御座候処、病キのため不出来につき)	(明治21年)八月十一日	白石町短町・針生養藏	渡邊様	状	裏面に「貳拾壹年ヨリ貳拾貳年迄書出シ并指別書共」(W7-24-1包紙の役割)とあり
W7	24	2	1			記(さらし・浅切・薄浅キ代など諸色代金メ拾円六拾八銭九厘渡済につき)	申(明治17年)十二月	丸太	寿丸・御勝手様	状	W7-24-2-1~7枚綴一括
W7	24	2	2			覚(岩崎甚吉様・おき屋敷金治様など駄送につき)	申(明治17年)十二月六日			状	
W7	24	2	3			記(しらみ帯・金庫代など諸色代金メ貳円七十銭九厘受取につき)	(明治17年)十二月十六日	<シ>久>	○様	状	W7-24-2-3~6枚綴一括
W7	24	2	4			物資受取証(古銀取合五拾両入志封、通貨二直シテ金六拾四円入につき)	明治十七年十一月十日	松島出張・内国通運会社(印)	渡辺儀藏様	状	
W7	24	2	5			記(渡辺儀藏殿分新源丸代金六円六拾七銭受取につき)	(明治)十七年十二月廿九日	住吉や保太郎(印、東京・金銭受取<シ>十>)	安藤や栄藏様	状	
W7	24	2	6			記(両と円の両替につき)	(明治17年)十一月二十八日	吉田佐助(印、馬喰町二丁目・両替商・吉田佐助)	安藤屋栄造様	状	
W7	24	2	7			記(本助丸正ミ代金六銭三厘書上)	申(明治17年)十二月七日	代・文藏	渡辺儀藏様	状	裏面に「拾七年申ノ書出シ并別書共」(W7-24-2包紙の役割)とあり
W7	24	3	1			記(毛ぬき沓つ代金八銭など受取につき)	(明治)十八年二月	高橋屋甚兵衛(印)	渡辺儀藏様	状	
W7	24	3	2			記(船神出拾五代金五円請取につき)	(明治)十八年西六月四日	石井節(印)	八巻味右衛門様	状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7 24	3	3			真緒正(井石代金七圓請取につき)	(明治)十八・旧十月七日	三澤村・八巻義右衛門(印、大宮)	渡辺徳様	状	
W7 24	3	4			キ(金貳円三拾五銭など書上)	西(明治18年)八月廿二日			状	
W7 24	3	5			記(背紋付丸四ツ木瓜表上給らん三拾五銭など受取につき)	西(明治18年)ノ七月	水戸屋久兵衛	渡辺屋儀藏様	状	
W7 24	3	6			記(手箱代金貳錢五厘など勘定につき)	申(明治17年)旧七月廿四日	森千代治	渡辺様	状	
W7 24	3	7			記(水油志升代金四十貳銭など勘定につき)	西(明治18年)ノ三月四日	菊地屋義五郎	渡辺儀藏様	状	
W7 24	3	8			記(清徳十量代金三拾五錢請取につき)	西(明治18年)二月十四日	関谷治兵衛代・廣吉	渡辺儀藏様	状	
W7 24	3	9			記(角丸代金四銭など勘定につき)	西(明治18年)正月十日	忠治	渡辺様	状	
W7 24	4	1			証(鈴木由太郎殿へ醬油五個運送につき)	明治廿一年六月十一日	警城・白石・鉄道停車場前・上西陸送店(印)	渡邊儀藏様	状	W7-24-4-1~4版綴一括
W7 24	4	2			記(平きぬ・生糸代など諸色代金メ拾五円四拾六錢六厘六毛勘定につき)	明治廿一年旧二月十日 (新子三月廿四日)	森野千代	渡部様	状	
W7 24	4	3			記(ヒサ殿・亦四郎殿・為之助殿一月・二月分治療費受取につき)	(明治)廿一年二月廿六日	刈田病院(印)	渡辺卯吉殿	状	
W7 24	4	4			記(島崎・知白粉代など諸色代金メ貳円六十四錢九厘五毛勘定につき)	(明治)廿一年二月廿三日	丸二店(印)	寿丸様	状	裏面に「式拾壹年子ノ書出し并州書共(W7-24-4包紙の役割)とあり
W7 24	5	1			記(御主人分三口金貳円貳拾錢受取につき)	(明治)廿二年二月	刈田病院(印)	渡辺儀藏殿	状	こより共
W7 24	5	2			(書状、年賀状および代金七円七十五錢井丸店迄御届け成され候につき)	(明治22年)一月七日	渡辺儀助	渡辺儀藏様、参り人々御中	状	
W7 24	5	3			記(井戸人足・石垣人足賃など諸人入金メ六円廿九錢勘定につき)	(明治22年)旧十月七日	席松	上様	状	
W7 24	5	4			記(うなき・あゆ・さすみ代金三拾九錢請取につき)	(明治22年)九月七日	阿子嶋屋		状	
W7 24	5	5			記(水油代金貳円拾錢勘定につき)	(明治22年)九月二日	菊地屋義五郎	渡邊儀藏様	状	
W7 24	5	6			記(合金七拾五錢受取につき)	(明治22年)八月廿一日	刈田病院(印)	渡辺卯吉殿	状	
W7 24	5	7			記(肝納丸・せんき乗代金五拾三錢受取につき)	(明治22年)	代・金次郎	上様	状	
W7 24	5	8			白石仙台間乗車賃受取書(代金百四錢)	明治十七年八月十五日	英運社・只野常治取扱所	渡邊儀造様	状	
W7 24	5	9			キ(は入替十四枚代金六錢三リ勘定につき)	(明治17年)八月三日	高橋佐太郎	上	状	
W7 24	5	10			手札(才田塩四拾五俵書上)	(明治17年)	亘リ郡早川町・菊地大之進(印、<カネ>→亘理・早川町)	中町・渡部義藏様	状	
W7 24	5	11			手札(地才田塩四十俵書上)	(明治17年)	亘リ郡早川町・菊地大之進(印、<カネ>→亘理・早川町)	白石中町・渡部義藏様	状	破損あり
W7 24	5	12			手札(地才田塩貳拾俵書上)	(明治17年)	菊地大之進(印、<カネ>→亘理・早川町)	渡部義藏様	状	破損あり

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題(内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7 24	5	13			手札(地才田塩拾六俵書上)	(明治17年)	菊地大之進(印、<カネー>亘理・早川町)	中町・渡部義藏様	状	破損あり
W7 24	5	14			手札(地才田塩百六俵書上)	(明治17年)	菊地大之進(印、<カネー>亘理・早川町)	中町・渡部義藏様	状	破損あり
W7 24	5	15			手札(地才田塩三拾四俵書上)	(明治17年)	菊地大之進(印、<カネー>亘理・早川町)	白石中町・渡部義藏様	状	破損あり
W7 24	5	16			手札(地才田塩六十俵書上)	(明治17年)八月廿六日	菊地大之進(印、<カネー>亘理・早川町)	中町・渡部義藏様	状	破損あり
W7 24	5	17			手札(塩三十三俵書上)	(明治17年)	田中長四郎	白石中町・渡部儀藏様行	状	破損あり
W7 24	5	18			手札(塩拾四俵書上)	(明治17年)		白石中町・渡部儀藏様行	状	破損あり
W7 24	5	19			手札(地才田塩四拾五俵書上)	(明治17年)	菊地大之進(印、<カネー>亘理・早川町)	中町・渡部義藏様行	状	破損あり
W7 24	5	20			手札(地才田塩三拾九俵書上)	(明治17年)	亘り郡早川町・菊地大之進(印、<カネー>亘理・早川町)	白石中町・渡部義藏様	状	破損あり
W7 24	5	21			手札(式斗入塩四拾七俵書上)	(明治17年)	田中長四郎	白石中町・渡部儀藏様行	状	破損あり
W7 24	5	22			(寛、塩貳拾貳俵メ代金五円五十二人など勘定につき)	(明治17年)			状	
W7 24	5	23			記(代金四錢四り勘定につき)	(明治20年)七月卅日	安藤や栄蔵(印、<カネ久>磐城・白石中町)	渡邊御店様	状	
W7 24	5	24			証(水薬貳拾五日分など薬料金メ五円貳拾九錢勘定につき)	(明治20年)七月	杏林堂	渡辺良治様	状	
W7 24	5	25			記(染もの代金メ式圓廿錢請取につき)	(明治20年)七月廿三日	行方や(印、<カネメ>仙臺・本荒町・行方・高染物)	渡辺御本店様	状	
W7 24	5	26			記(西洋釘代など諸色代金メ八錢告り勘定につき)	(明治20年)六月十四日	安藤屋栄蔵	上様	状	
W7 24	5	27			記(四寸・式拾枚など諸色代金メ五錢七り勘定につき)	(明治20年)六月十三日	安藤栄造	渡邊儀造様	状	
W7 24	5	28			記(絹染・さらし代など諸色代金メ拾壹円九拾五錢七り受取につき)	亥(明治20年)六月四日	丸太	寿丸・御勝手様	状	破損あり
W7 24	5	29			記(切返・下駄尾・洋銀きせる代など諸色代銀メ十七枚余請取につき)	(明治20年)五月四日	高橋屋甚兵衛(印、<カネ二>磐城・白石・中町・高甚)	渡邊儀藏様	状	
W7 24	5	30			記(六〇掛帳燭式百丁代金壹円四拾六錢三厘受取につき)	卯(明治24年)六月二日	小沼武藏	渡辺儀藏様	状	
W7 24	5	31			証(拾五匁式間切八丁代金メ六十六錢四厘送付につき)	(明治)十九年旧五月廿九日	大槻精之介	渡辺儀藏様	状	
W7 24	5	32			記(御止宿料など諸入用金メ式拾三錢受取につき)	(明治19年)五月廿三日	かつらや(印、刈田白石小原湯元・桂屋)	上様	状	
W7 24	5	33			証(駄賃壹円受取につき)	(明治19年)五月七日	保科源治(印、保源)	伊東与左衛門様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	24	5	34			記(御止宿料など諸入用金メ三拾五銭受取につき)	(明治19年)五月十九日	かつらや	上様	状	
W7	24	5	35			記(星起蚕本分星行半掃金九円勘定につき)	(明治)十八年五月十八日	三浦運治(印、<small>石>伊達・梁川・石屋)	渡辺儀造様	状	
W7	24	5	36			記(巻蛇ノ目式本、上等・中等志本など諸色代金六拾三銭勘定につき)	(明治18年)五月十六日	金子栄之進	渡邊様	状	
W7	24	5	37			記(志番形弓張・弓張かわ金具など諸色代金メ志円六拾三銭五リノ渡済につき)	(明治18年)旧四月初日	大崎栄之助	御本家○御店様	状	
W7	24	5	38			キ(ます志本四百式拾文代金四拾銭、此仁へ御渡し下されたく候につき)	(明治18年)五月十五日	大平	中町・○御勝手様	状	
W7	24	5	39			記(姫星起蚕本分星枚はき種代金五円、此者へ御渡し成し下されたく候につき)	(明治18年)五月十五日	三浦運治(印)	渡辺儀三様	状	
W7	24	5	40			記(上八本・同三本代金六拾六銭書上)	(明治18年)五月十二日	金子栄之進(印。磐城国刈田郡白石本郷田町・金子栄之進)	渡部様	状	
W7	24	5	41			記(地絹御紋付染上り志反代金式円廿銭勘定につき)	(明治18年)五月五日	行方屋(印、<small>石>仙台・本荒町・行方・高染物)	渡邊御本家様	状	
W7	24	5	42			(覚、本庄十七枚・小袖七枚など諸色代金式円三拾銭六厘請取につき)	(明治18年)旧四月十二日	畑や徳治	渡部儀藏様	状	破損あり
W7	24	5	43			(覚、にわとり五わ・なべ式つなど諸色代金メ五円四銭四厘勘定につき)	(明治18年)旧正月廿九日			状	破損あり
W7	24	5	44			記(白石石台造品物販賣入拾志銭受取につき)	(明治18年)四月十五日	阿子島四郎(印)		状	
W7	24	5	45			記(米代金式拾銭受取につき)	(明治18年)旧四月十九日	中町・市郎右衛門(印)	上	状	
W7	24	5	46			記(爐引三本代金八拾銭勘定につき)	(明治18年)閏四月十六日	村上要吉	わたなべ様	状	
W7	24	5	47			記(五六代銀志貫百式拾外受取につき)	(明治18年)旧四月廿一日	山崎岩吉(印)	渡辺儀藏様	状	
W7	24	5	48			キ(わさび五本代金式拾式銭五厘など請取につき)	(明治18年)四月九日	西村安吉(印)	高良様	状	
W7	24	5	49			記(あんこ代四拾八銭など諸色代金拾式円拾七銭受取につき)	(明治)十九年四月九日	寺窪秀三郎(印、<small>林木>仙台・虎屋横丁・寺窪秀三郎・かまほご屋)	渡辺様	状	
W7	24	5	50			記(ます式本代八拾五銭など諸色代金式円十六銭請取につき)	(明治19年)旧四月八日	石井清之助	上	状	
W7	24	5	51			記(四百六十五・志半式分代金廿銭勘定につき)	(明治19年)四月五日	安藤や栄造	○様	状	
W7	24	5	52			記(熊鷹円代八銭など諸色代金志円五拾銭受取につき)	(明治19年)三月廿八日	代・吉造	上様	状	
W7	24	5	53			記(宝丹五ツ代三十銭など諸色代金八十銭勘定につき)	(明治19年)三月廿六日	代・久義	渡辺儀藏様	状	
W7	24	5	54			記(長ぶら袋代式拾七銭など諸色代金七拾志銭請取につき)	(明治)廿年旧三月廿一日	大崎栄之助	御本家・渡辺御店様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	24	5	55			記(古沢代拾五銭など諸色代金三拾銭六厘勘定につき)	(明治19年)三月十三日	岡市郎	渡辺儀藏様	状	
W7	24	5	56			記(大麦代金八円四十三銭六厘勘定につき)	戊(明治19年)三月十二日	生酒屋半兵衛	○御勝手様	状	
W7	24	5	57			記(銘柄老本代金拾五銭請取につき)	(明治19年)旧三月七日	やま屋	上様	状	
W7	24	5	58			(書状、ケヤキ板之儀ハ高橋氏へ壹円八十銭相頼置候につき)	(明治19年)一月十六日	圓内村・安藤豊吉(印)	白石本町・御苗・松吉様	状	
W7	24	5	59			記(あわび五ツ代金五十一銭勘定につき)	(明治19年)十一月十五日	長町・村松巳之助	渡辺屋様	状	
W7	24	5	60			(書状、仕入方ニ差支のため壹円又拜借願上候につき)	(明治19年)二月十三日	御免町・鐘師	渡辺様御会計様	状	
W7	24	5	61			記(御料理代金壹円勘定につき)	(明治19年)一月卅日	おかさき	上様	状	
W7	24	5	62			記(樽桶・ひやく・手桶など諸色代金三圓貳十六銭五リ勘定につき)	(明治19年)			状	破損あり
W7	24	5	63			記(手桶・手水鉢・ひやくなど諸色代金四圓七拾八銭五リ勘定につき)	(明治19年)旧正月四日	森千代治	渡邊義造様	状	破損あり
W7	24	5	64			記(ヲハクロナど諸色代金壹円受取につき)	(明治19年)旧正月二日	菊地屋(印、磐城国刈田郡白石本郷・鎌田■五郎)	渡部儀藏様	状	破損あり
W7	24	5	65			(書状、先日参上之御馳走の御札、および渡の波塩九拾俵代金三拾貳円四拾銭にて御送付につき)	(明治18年)十二月三十一日	大友金三郎、栄吉	渡邊儀藏様、御尊店様	状	破損あり
W7	24	5	66			記(煙草五本売上代金六十五銭請取につき)	(明治18年)十二月十三日	丹野栄亀(印)	上様	状	
W7	24	5	67			記(金三円二十七銭五リ請取につき)	(明治18年)旧十二月一日	又右衛門	渡邊様	状	破損あり
W7	24	5	68			記(惣助殿分など諸入用金九円勘定につき)	(明治18年)十二月三十一日	■屋	又右衛門様	状	破損あり
W7	24	5	69			記(松八分板・桜六寸巾代金八拾貳銭請取につき)	(明治18年)十二月卅日	安藤清助(印、田町)	渡邊儀藏様	状	破損あり
W7	24	5	70			記(てうつかい<蝶番>直・手入共代金三拾七銭五リ勘定につき)	(明治18年)十二月廿八日	御免町・表具屋・針生彦三郎	上	状	破損あり
W7	24	5	71			仮証(才田塩小俵拾五俵、御査収之上、賃金拾銭下されたく候につき)	(明治)廿年■(十一月)六日	槻木驪・草場五右衛門(印)	白石中町・渡部儀藏殿	状	破損あり
W7	24	5	72			記(みかん・わさびなど諸色代金メ三拾三銭勘定につき)	(明治20年)十月廿七日	佐藤忠吉	渡部儀藏様	状	破損あり
W7	24	5	73			記(あしび・平めなど諸色代金メ三円九十六銭五リ勘定につき)	(明治20年)旧十月廿七日	日下■作	大野様	状	破損あり
W7	24	5	74			記(ふり袖・わた入・羽織代金勘定につき)	(明治20年)旧十月十七日	佐久間	中町・渡邊様	状	破損甚大
W7	24	5	75			覚(さくじ・もちなど諸色代金メ壹円九十四銭勘定につき)	(明治20年)	生酒屋半兵衛		状	破損甚大
W7	24	5	76			(覚、書状・勘定案につき)	(明治20年)			状	破損あり
W7	24	5	77			証(みそなど諸色代金メ八圓七拾九銭九リ勘定につき)	巳(明治14年)ノ壹月	渡辺儀藏	上西半兵衛様	状	破損甚大

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	24	5	78			(断簡)	(明治20年)		○御内様	状	前欠
W7	24	6	1			記(赤御鋪代金三銭貳厘など諸色代金メ拾貳錢二厘勘定につき)	(明治20年)	庄右衛門	上	状	
W7	24	6	2			記(糸くりちんたでの分代金三拾錢など諸入用金メ壹円三拾錢勘定につき)	(明治20年)			状	
W7	24	6	3			(断簡、式筒壹円拾錢)	(明治20年)			状	
W7	24	6	4			記(切代金四錢など勘定につき)	(明治20年)			状	
W7	24	6	5			記(大判カラヌ極大六枚代金壹円貳錢など諸色代金メ三円壹錢勘定につき)	(明治20年)			状	
W7	24	6	6			記(こんぶ代金貳拾七錢勘定につき)	(明治20年)	井丸	御本家様	状	
W7	24	6	7			(覚、本部茶代五十錢など諸色代金メ四円六十五錢勘定につき)	(明治20年)			状	
W7	24	6	8			記(手入愈四本代金貳拾貳錢勘定につき)	(明治20年)	愈屋	上	状	
W7	24	6	9			記(六寸・式十本代金五拾錢など諸色代金メ七拾五錢受取につき)	(明治20年)	八巻孫治	渡造様	状	
W7	24	6	10			(書状、大豆式石代金七円三十六錢御貸渡し成し下されたく候につき)	(明治20年)			状	
W7	24	6	11			(覚、店置三十三枚代金壹円など諸色代金メ壹円八十錢勘定につき)	(明治20年)			状	
W7	24	6	12			記(傘三十本代金四円五錢など諸色代金メ五円六十錢受取につき)	(明治20年)	<ナル久>(印、<ナル久>磐城・刈田郡・白石中町・安藤屋)	○様	状	
W7	24	6	13			(覚、茶代三拾錢など諸色代金メ壹円三十錢五厘勘定につき)	(明治20年)			状	
W7	24	6	14			記(酒代廿四錢など諸色代金メ三拾三錢四厘受取につき)	(明治20年)旧十二月	関谷喜六	渡辺儀造様	状	
W7	24	6	15			記(蓮根六十本代金三拾貳錢など諸色代金メ壹円九拾六錢壹厘受取につき)	(明治20年)十二月	佐藤忠吉	渡部儀藏様	状	
W7	24	6	16			記(五式生掛三百丁・壹貫六拾匁代金壹八拾七錢九厘勘定につき)	(明治20年)旧十二月廿七日	山崎岩吉(印、<岩吉>磐城・刈田・白石新町・山崎岩吉)	渡辺御尊店様	状	
W7	24	6	17			記(六寸角代金貳錢五厘など諸色代金メ拾九錢一厘請取につき)	(明治20年)旧十二月廿六日	せとや助七(印、<や助>磐城・刈田郡・白石本町・瀬戸屋)	御上様	状	
W7	24	6	18			記(晒三本代金三十錢先払いにつき)	(明治20年)十二月廿三日	鱗屋源吉	渡辺儀藏様	状	
W7	24	6	19			記(商品代金勘定につき)	(明治20年)旧十二月十九日	菊地屋義助(印、<や木>磐城・白石・中町・菊地屋)	渡辺義造様	状	
W7	24	6	20			記(染布壹反代金四拾九錢など諸色代金メ貳円貳拾壹錢受取につき)	(明治20年)旧十二月十六日	大畑屋惣右衛門(印、<一口>奥州・白石・中町・大畑屋)	渡辺義藏様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	24	6	21			記(錠前手入・錢箱手入・炭かき代金貳拾錢勘定につき)	(明治20年)旧十二月廿六日	岡市郎	渡邊儀藏様	状	
W7	24	6	22			諸物貨運賃仕訳書用紙(清酒壹樽運賃拾貳錢五厘につき)	明治二十年十二月廿二日	槻木駅諸荷物受領・繼立営業所(印)	渡邊儀藏様	状	
W7	24	6	23			(覚、清酒壹斗入壹筒、槻木迄賃金六錢先払いにつき)	明治廿年十二月廿一日	宮城県下仙台区・東北陸送会社荷残所・大黒圓吉(印)	白石中町・渡邊儀藏殿行	状	
W7	24	6	24			記(国時壹本代金貳拾錢請取につき)	(明治20年)旧十二月	大畑屋惣右衛門	渡部儀藏様	状	
W7	24	6	25			(覚、昆布壹把・上数ノ子・駄賃合金壹円六錢五厘勘定につき)	(明治20年)十二月廿一日	井丸	〇御本家様	状	
W7	24	6	26			(覚、才田壘六拾俵、菊地大之進殿送り上候間、御受取下されたく候につき)	(明治20年)十二月廿日	(印、陸前名取三崎岸・渡邊喜吉)	白石中町・渡部義藏様行キ	状	
W7	24	6	27			(覚、木材代金貳円四拾三錢受取につき)	(明治20年)旧十二月十八日	田町・安藤清助	わたなへや内・大工・阿部松吉殿	状	
W7	24	6	28			記(売上代金三拾三円八拾四錢受取につき)	(明治20年)十二月十八日	大友栄吉(印)	渡邊儀藏様	状	
W7	24	6	29			記(返り挽五枚代金壹円貳拾錢請取につき)	(明治20年)旧十二月十七日	成沢庄三郎(印)	松吉様	状	
W7	24	6	30			記(五四掛百丁・六〇掛式百丁代金壹円九十二錢指上のため御改御入帳願上候につき)	(明治20年)旧十二月十五日	山崎岩吉(印、磐城・刈田・白石新町<ヤ吉>山崎岩吉)	渡部御主人様、御店中様	状	
W7	24	6	31			記(ぼつきなど諸色代金メ四拾九錢五リ請取につき)	(明治20年)十二月十二日	佐藤貞次郎(印、磐城・白石・佐藤屋)	渡辺様	状	
W7	24	6	32			き(桑折迄瀧浦買入賃金三拾錢受取につき)	(明治20年)十二月九日	白石繼立所(印、白石陸運貨物受員繼立取扱所)	〇御店様	状	破損あり
W7	24	6	33			記(壹貫五百九拾俵代金貳円貳拾錢勘定につき)	(明治20年)十二月十一日	山崎岩吉(印、磐城・刈田・白石新町<ヤ吉>山崎岩吉)	渡邊御主人様、御支配方御仲	状	
W7	24	6	34			記(きぬめ・わく糸など諸色代金三圓八拾四錢貳厘のうち壹圓請取につき)	(明治20年)旧十二月四日	則野麻吾	渡部様	状	
W7	24	6	35			記(銘酒正宗五升代金九十錢受取につき)	(明治20年)十二月四日	岡崎直八代・加藤与一郎(印、米澤<米大>瀬下白石支店)	渡部様	状	破損あり
W7	24	6	36			記(はた織ちんなど諸入用金メ拾貳円拾貳錢七リ勘定につき)	(明治20年)			状	後欠カ
W7	24	6	37			記(秋味代金壹円廿八錢八リ余請取につき)	(明治20年)十二月一日	<ヤ砂>	〇様	状	破損あり
W7	24	6	38			覚(大あわび・数ノ子など諸色代金メ拾円四十五錢五リ受取につき)	(明治20年)旧十一月	日下栄作(印)	寿丸・御勝手様	状	破損あり
W7	24	6	39			記(とまり・けた四足など諸入用金メ三円十錢七リ勘定につき)	(明治20年)			状	こより共
W7	24	6	40			証(玉子・みかんなど諸色代金メ三円四十三錢六厘受取につき)	(明治20年)旧十一月廿一日	西村安吉(印、仙台・河原町)	渡邊様、御衆中	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	24	6	41			寛(下り)白取結・髪付など諸色代金メ六拾六錢請取につき)	(明治)廿年十一月廿一日	江久角兵衛(印、<カ大>仙臺・大町・江久)	上	状	
W7	24	6	42			記(大石治・木松明など諸色代金メ貳円請取につき)	(明治20年)十一月廿一日	仙臺區大町五丁目・保原千代吉(印、<ヤ五>仙臺)	上	状	
W7	24	6	43			記(鮎・大鯛など諸色代金メ三拾九円貳拾五錢四リ請取につき)	(明治20年)十一月二十二日	斎藤清兵衛(印、<カ三>陸前・仙臺・春町)	渡邊義藏様	状	
W7	24	6	44			記(御酒代金壹円拾錢請取につき)	(明治20年)十一月廿日	茶香亭(印、白石)	上	状	
W7	24	6	45			キ(酒肴・酒代金壹圓五拾六錢請取につき)	(明治20年)十月廿五日	春山專治(印)	渡邊儀造様	状	
W7	24	6	46			寛(れんこん拾五本代金三拾五錢など諸色代金メ七拾五錢三厘勘定につき)	(明治20年)十二月十四日	短々町・大沼平治	渡辺御店様	状	
W7	24	6	47			記(塩十五俵代金三円八拾九錢五厘受取につき)	(明治20年)十一月十日	武者亀助	渡辺様	状	
W7	24	6	48			記(みの傘上等三拾本代など諸色代金メ四円五錢受取につき)	(明治20年)十一月廿一日	勝田商店(印、<カヤ大>小傳馬町・式丁目・勝田)	安藤屋栄藏様	状	
W7	24	6	49			記(肴町ヨリ白石迄之送り貨壹円九拾貳錢など諸入用金メ貳円五拾三錢四厘受取につき)	明治廿年十一月廿二日	仙台区新河原町・若生万吉(印、<カヤわ>陸前・仙台・新河原町・若生萬吉・物貨取扱店)	白石・渡辺義藏様	状	
W7	24	6	50			記(十月廿四日・八分など諸色代金メ三円八拾貳錢差引勘定につき)	(明治20年)十一月十二日	御免町・鐘師屋・針生庄三郎	上様	状	
W7	24	6	51			記(アルコホル壹本代金廿四錢勘定につき)	(明治20年)十一月八日	関谷壽六	渡辺屋様	状	
W7	24	6	52			記(イナ子五本売上代金廿七錢五リ受取につき)	(明治20年)十一月七日	仙台柳町・山本金四郎(印)	佐藤権六様	状	
W7	24	6	53			記(洪紙三枚代金三十三錢受取につき)	卯(明治24年)十一月廿一日	菅野屋庄五郎(印、<ヤ正>磐城・白石・本町・菅野屋)	渡部屋御中	状	
W7	24	6	54			記(赤たらへ・花ひん代など諸色代金メ三圓六拾七錢受取につき)	(明治20年)十一月二日	関治	○様	状	
W7	24	6	55			相川亭諸道具澤端関谷より請取品調(京筆笥・水瓶などにつき)	明治十九年十月十九日			状	
W7	24	6	56			記(材木取合・みぞ石代など諸色代金四円八十七錢勘定につき)	(明治19年)	小関	渡部様御中	状	
W7	24	6	57			記(大なわひ三十代金六拾錢受取につき)	(明治19年)十一月二日	魚店・岡崎和市(印、白石)	渡辺様	状	
W7	24	6	58			記(洋金伯州枚代金廿壹錢・極上本金伯十七枚代金廿七錢二リ書上)	酉(明治18年)十月廿八日	安藤や栄藏	○様	状	
W7	24	6	59			記(酒・粕代金三拾九円貳拾七錢受取につき)	明治十九年十月十八日	岡崙通八(印)	中町・渡部儀藏様	状	
W7	24	6	60			記(八・六・五五掛・貳百丁代金壹円貳十七錢九リ、二七・十六列・十丁代金貳十七錢など諸色代金メ壹円五十四錢九リ受取につき)	(明治20年)旧十月十八日	山崎岩吉(印)	渡辺儀藏様	状	W7-24-6-66と関連あり

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7 24	6	61			記(水油壱円六十銭七リ受取につき)	(明治19年)十月十七日	菊地屋養五郎(印、磐城・白石・中町・菊地屋)	渡部儀藏様	状	
W7 24	6	62			記(開化まんぢう四百個代金壱円六拾銭受取につき)	(明治20年)旧十月十五日	日下屋傳右衛門(印、<math>\text{シユイ}> >日傳)	上	状	
W7 24	6	63			記(糸こんにやく・椎茸代など諸色代金壱円三拾三銭受取につき)	亥(明治20年)旧十月十三日	八百や平兵衛(印、白石・大平)	寿丸・本店様	状	
W7 24	6	64			記(正味・並代金六円拾五銭六リ、駄ちん六拾銭勘定につき)	(明治20年)十月十日	鱗屋商店	渡部儀藏様、御店様中	状	
W7 24	6	65			口上(御依頼之絹地三反御請取成し下さるべく候、此貨三拾五銭御渡し願上候につき)	(明治20年)旧十月九日	堤・内	渡邊御勝手様	状	
W7 24	6	66			記(五五掛・式百丁代金壱円式十七銭九リ御政御人帳願上候につき)	(明治20年)旧十月八日	山崎岩吉(印、白石・新町・山崎岩吉)	渡部御本家様	状	W7-24-6-60と関連あり
W7 24	6	67			記(洋丸釘三百七十五め代金三拾銭受取につき)	(明治20年)十月三日	里見屋熊太郎(印、奥州・白石)	上	状	
W7 24	6	68			記(上々生糸四貫式百五十め代金壱円六十銭五リ受取につき)	(明治20年)十月三日	菊地屋養五郎(印、磐城・白石・中町)	渡部儀造様	状	
W7 24	6	69			証(御蒲焼十式代金四拾五銭請取につき)	(明治20年)十月二日	相川己之助(印、<math>\text{シユイ}>相>白石・鍛冶屋町・相川・大蒲焼)	上	状	
W7 24	6	70			記(かす糸よち七間半代金五円七拾七銭五リ勘定につき)	(明治20年)旧十月一日	本町・隅木源吉	中町・渡部儀藏様	状	
W7 24	6	71			キ(五七・三百丁壱貫七百拾匁代金式円廿式銭御渡し下されたく候につき)	(明治20年)旧九月廿五日	山崎岩吉	○御本店様、御支配御中	状	
W7 24	6	72			キ(梨ハツ代金拾銭など諸色代金メ式円六拾四銭八分受取につき)	(明治20年)旧九月廿五日	大平	○<math>\text{シユイ}>井○>両旦那様	状	
W7 24	6	73			記(俵十七・風袋壱貫式百匁・ちん七拾壱銭三厘勘定につき)	(明治20年)旧九月十二日	佐久間勇	渡辺儀藏様	状	
W7 24	6	74			記(醤油七樽分駄貫七拾式銭相渡候につき)	(明治20年)九月十日	佐兵衛(印)	忠治郎殿	状	
W7 24	6	75			記(水油代など諸色代金メ三円六銭八厘拜借成し下されたく候につき)	(明治20年)旧九月八日		渡辺儀藏様	状	
W7 24	6	76			記(七七・五九掛・式百丁代金壱円五拾三銭六厘受取につき)	(明治20年)旧九月一日	小沼藤兵衛	渡辺儀藏様	状	
W7 24	6	77			記(袖福商仕立貨五拾五銭請取につき)	(明治20年)八月廿二日	石橋豊吉(印)	○御店様	状	
W7 24	6	78			記(め草代金式十四銭勘定につき)	(明治20年)八月十六日		上	状	
W7 24	6	79			記(あわび代など諸色代金メ六十せん勘定につき)	(明治20年)八月一日	たま幸	旦那様	状	
W7 24	6	80			記(金六円立替などにつき)	(明治20年)			状	後欠
W7 24	6	81			記(風袋壱枚代金拾四銭など請取につき)	(明治20年)旧七月廿日		渡辺儀藏様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	24	6	82			記(小麦貳石代金五円四十五錢請取につき)	(明治20年)四月廿五日	山崎屋(印)	寿丸様	状	
W7	24	6	83			記(小袖福商仕立貨三拾錢請取につき)	(明治20年)七月十二日	石橋豊吉(印)	渡辺御店様	状	
W7	24	6	84			記(五龍圓小丸五粒入代金廿七錢受取につき)	(明治)十八年七月八日	阿州・富松武助(印、<カンク 上>アハ、富松氏代・大久保 藤吉)	渡辺儀藏様	状	
W7	24	6	85			キ(葛粉代金拾壹錢五厘請取につき)	(明治20年)七月	佐藤忠吉(印)	渡辺卯吉様	状	
W7	24	6	86			キ(小納戸ふりそて壹枚など諸色代金メ拾貳円 勘定につき)	亥(明治20年)七月六日	(印、堤)		状	
W7	24	6	87			記(代金壹円五錢のうち壹円請取につき)	(明治20年)六月廿五日	大味(印)	渡儀様	状	
W7	24	6	88			記(上国府宮個代金貳拾三錢受取につき)	(明治20年)六月廿七日	式丁目・叶屋藤吉(印、佐藤)	上様	状	
W7	24	6	89			記(水油壹升代金廿六錢など請取につき)	(明治20年)六月五日	菊地屋養五郎(印、<ヤマ木> 磐城・白石・中町・菊地屋)	渡辺儀藏様	状	
W7	24	6	90			記(たい代など諸色代金メ六十七錢五厘受取に つき)	(明治20年)六月二日	たま幸(印)	旦那様	状	
W7	24	6	91			(書状、つむぎなど注文につき)	(明治20年)五月二十一日	<ツ石>	○御印様	状	
W7	24	6	92			記(船本分一枚代金七円御渡し下されたく候に つき)	(明治20年)五月十八日	三浦運治(印、<ツ石>岩代・ 伊達・梁川・三浦)	渡辺儀藏様	状	
W7	24	6	93			記(吸物代金壹円貳十七錢五厘受取につき)	(明治20年)五月十五日	たま幸	旦那様	状	
W7	24	6	94			覚(上南四間五尺代金五拾錢など諸色代金メ三 円七拾四錢請取につき)	(明治20年)旧五月三日	岡市郎(印)	渡辺儀藏様	状	
W7	24	6	95			記(なまつ御蒲焼代金五拾錢など諸色代金メ八 拾錢請取につき)	(明治20年)五月三日	相川己之助(印、<ヤマ相>白 石・鍛冶屋町・相川・大浦屋)	渡辺御店様	状	
W7	24	6	96			記(上々水油四貫貳百五十目代金壹円五十三錢 八厘受取につき)	(明治20年)五月一日	菊地屋養五郎(印、<ヤマ木> 磐城・白石・中町・菊地屋)	渡辺儀藏様	状	
W7	24	6	97			記(五三・三百丁壹貫五百九拾九代金貳円六錢四 厘請取につき)	(明治20年)	山崎岩吉	渡儀様	状	
W7	24	6	98			記(醤油八斗分、白石より桑折駆迄實金三拾貳錢 六厘受取につき)	(明治20年)正月五日	白石驛人馬継立所(印、白石 驛人牛馬車継立取扱所)	渡辺儀藏様	状	
W7	24	6	99			覚(大豆代金拾四円五十五錢御渡し成し下され たく候につき)	(明治21年)四月九日	生酒屋半兵衛(印)	○御店様	状	
W7	24	6	100			覚(大豆壹石代金四円九十錢御渡し成し下され たく候につき)	(明治21年)四月十八日	生酒屋半兵衛	○御店様	状	
W7	24	6	101			証(茶代金壹円頂戴につき)	明治廿一年四月十六日	四竈太郎兵衛	上様	状	
W7	24	6	102			覚(小麦貳石代金八円九十錢御渡し成し下され 候様御願申上候につき)	(明治21年)四月十六日	半兵衛(印)	○御店様中	状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7 24	6	103			記(ヤノ)店より大豆五斗八俵など諸色代金メ拾八円六拾貳錢五厘勘定につき)	(明治21年)三月廿六日	豊治	寿丸様	状	
W7 24	6	104			記(大豆三石代金拾五円十五錢請取につき)	(明治21年)三月廿九日	<ヤヱ正>(印)	上西半兵衛様	状	
W7 24	6	105			覚(大豆代金貳円など御渡し成し下されたく候につき)	(明治21年)三月廿九日	生酒屋半兵衛	○御店様	状	破損あり
W7 24	6	106			記(襖三枚など諸色代金メ七拾五錢受取につき)	(明治21年)三月三十一日	御免町・表具屋・針生彦三郎	渡辺様、御会計様	状	破損あり
W7 24	6	107			記(開化饅頭四百五十代金壹円八拾錢受取につき)	(明治21年)四月十五日	佐藤屋寅五郎(印)	○様	状	破損あり
W7 24	6	108			記(麻仕切紙代など諸色代金メ壹円壹錢六厘御貸渡下されたく候につき)	(明治21年)三月廿二日	かべ〔 〕	渡辺屋様	状	破損あり
W7 24	6	109			記(手間賃貳拾八人三分代金七円七錢五厘受取につき)	(明治21年)三月十九日	御免町・表具屋・針生彦太郎	渡辺様	状	
W7 24	6	110			記(升助丸五十箱代金五拾錢勘定につき)	(明治21年)三月十八日	代・文太郎	渡辺儀藏様	状	
W7 24	6	111			記(みかん代金四拾五錢など諸色代金メ八円六拾七錢六厘勘定につき)	明治廿年旧九月廿日	利兵衛	渡辺様	状	
W7 24	6	112			記(下米七升代金貳拾四錢五厘など請取につき)	(明治21年)三月八日	渡辺信左衛門	渡辺儀藏様	状	破損あり
W7 24	6	113			記(小ぬか三斗代など諸色代金メ貳円四拾錢五厘受取につき)	(明治)廿一年三月十日	渡丸太	寿丸様	状	破損あり
W7 24	6	114			(書状、御依頼の絹地ふり方之上御請取下さるべく候につき)	(明治21年)旧三月一日	つゝみ	渡辺御勝手様	状	
W7 24	6	115			キ(絹地ねり方出来につき)	(明治21年)旧二月廿七日	つゝみ内	渡部御勝手様	状	破損甚大
W7 24	6	116			記(数ノ子巻貫目書上)	(明治21年)二月廿五日	新宅	御本家様	状	破損甚大
W7 24	6	117			記(一角丸代など諸色代金メ六十志錢受取につき)	(明治21年)二月廿五日	菊次良	上様	状	破損甚大
W7 24	6	118			記(酒代金五拾六錢請取につき)	(明治21年)二月廿五日	生酒屋甚吉(印、<外生>磐城・刈田・白石・柳町)	渡部儀藏様	状	破損甚大
W7 24	6	119			記(手糊・手水鉢代など諸色代金メ九円四十九錢六厘勘定、うち三円五十錢借用につき)	(明治)二十年旧十二月二十一日	森千代治(印)	渡邊儀造様	状	破損あり
W7 24	6	120			キ(はい着四ツ切巻ッ代金壹円貳拾四錢請取につき)	(明治21年)二月十七日	丸角	寿丸様	状	破損甚大
W7 24	6	121			キ(福嶋・桑折迄醬油運賃メ七拾五錢受取につき)	(明治21年)十一月十七日	白石繼立廻(印、白石陸運貨物受員繼立取扱所)	○御店様	状	
W7 24	6	122			記(往水油皆掛四貫五百目代金貳円拾四錢貳リ請取につき)	(明治21年)二月十四日	菊地屋萬五郎(印、<ヤヱ木>磐城・白石・中町・菊地屋)	渡辺儀藏様、御店様	状	破損あり
W7 24	6	123			記(経子百匁玉十個代金壹円貳拾五錢受取につき)	(明治21年)二月十日	丹野薬店	上	状	
W7 24	6	124			(覚、かゝみふた代など諸色代金メ貳円四十八錢請取につき)	亥(明治20年)ノ二月九日	佐藤多七	寿丸様	状	破損あり

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	24	6	125			記(車ヱツ・せん式本代など諸色代金メ式十九銭五リ勘定につき)	(明治20年)旧二月七日	岡市郎	渡辺儀藏様	状	破損あり
W7	24	6	126			記(十二月廿五日ほか四回分診療料七拾九銭受取につき)	(明治20年)	刈田病院	於もと殿	状	破損あり
W7	24	6	127			記(一月六日ほか八回分診療料壹円八拾弍銭受取につき)	(明治)廿年二月五日	刈田病院(印、刈田病院會計之印)	於もと殿	状	破損甚大
W7	24	6	128			記(古着代金廿三円弍銭受取につき)	(明治20年)二月五日	安藤や栄藏	渡邊屋儀藏様	状	
W7	24	6	129			記(水油代など諸色代金メ四十銭勘定につき)	(明治20年)二月	菊地屋養五郎	渡部儀藏様	状	破損あり
W7	24	6	130			し切(五〇掛・四百丁代金弍円六拾六銭六リにつき)	(明治20年)一月廿九日	山崎岩吉	〇御本店様、御支配方御中	状	破損あり
W7	24	6	131			請取証(塩七拾八俵代金受取につき)	(明治20年)一月卅一日	菊地久之進(印)	渡部様	状	破損甚大
W7	24	6	132			記(足駄代など諸色代金請取につき)	(明治20年)一月廿三日	大畑屋惣右衛門	渡邊儀藏様	状	破損甚大
W7	24	6	133			記(八三・六〇出掛・弍百丁代など諸色代金メ壹円五十五銭受取につき)	(明治20年)旧正月廿一日	山崎■■■■<岩吉カ>	渡辺儀藏様	状	破損甚大
W7	24	6	134			記(寶丹丸弍拾代など薬代金メ三十七銭のうち弍拾弍銭弍リ請取につき)	(明治20年)旧一月四日	[]<山崎カ>岩吉	御上様	状	破損甚大
W7	24	6	135			覚(四斗八三俵などメ五石九斗御渡し申上候につき)	(明治20年)十月四日	生酒屋[]	〇御店様	状	破損甚大
W7	24	6	136			記(水油売上金請取につき)	(明治20年)正月二日	菊萬(印、<ヤ木>磐城・白石・中町・菊地屋)	上	状	破損甚大
W7	24	6	137			記(おりちん九拾銭など諸入用金メ壹円五拾弍銭勘定につき)	(明治20年)			状	破損甚大
W7	24	6	138			記(八七わり六〇・弍百丁壹貫弍百匁代金壹円三十七銭九リ受取につき)	(明治20年)旧十一月九日	山崎岩吉(印)	渡辺儀藏様	状	
W7	24	7	1			舌代(弍丁・四五角・壹丁四寸角御請取下されたく候につき)	(明治19年)旧十二月二日	小原村・小室彦吉(印)	白石町・渡辺儀藏様	状	
W7	24	7	2			記(手水鉢・ひやく代など諸色代金メ三円弍銭請取につき)	(明治19年)旧十二月	森千代(治)	渡邊義造様	状	
W7	24	7	3			記(水抽三貫目代金壹円六十六銭六リ受取につき)	(明治19年)十二月十五日	菊地屋萬五郎(印、<ヤ木>磐城・白石・中町・菊地屋)	渡部儀藏様	状	
W7	24	7	4			記(形三分板拾間代金三円請取につき)	(明治)十九年旧十二月七日	宮澤・大槻精之介	渡辺儀藏様	状	
W7	24	7	5			記(丸挽子板代金壹円五拾銭請取につき)	(明治19年)旧十二月六日	成沢庄三郎(印)	松吉様	状	
W7	24	7	6			記(中判硝子廿弍枚代金弍円四十銭勘定につき)	(明治19年)十一月三日	高橋屋甚兵衛	源吉様	状	
W7	24	7	7			記(栗上台取合十式本代など諸色代金四円勘定につき)	(明治19年)	最平	〇サマ	状	破損あり
W7	24	7	8			證(形三分板代など諸色代金拾弍円弍拾六銭七リ請取につき)	(明治)十九年旧十月十五日	ミヤ・大槻精之助(印、大槻)	白石仲町・渡辺儀藏様	状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7 24	7	9			記(醤油二〇入四樽、桑折返賃金三十二銭六リ受取につき)	(明治20年)九月廿日	しら石継立所(印、白石陸運貨物受負継立取扱所)	〇御店様	状	
W7 24	7	10			記(水油・燻燻代金壹円七拾五銭請取につき)	(明治20年)九月十六日	菊地屋萬五郎(印、<ヤマ木>警城・白石・菊地屋)	渡邊儀藏様	状	破損あり
W7 24	7	11			記(油掛壹枚・ぬりドララソ壹ツ代金三十式銭受取につき)	(明治20年)九月十三日	菅野や庄藏	〇御店中様	状	
W7 24	7	12			記(張返シ夏袴代など諸色代金メ四十七銭勘定につき)	(明治20年)九月十一日	仕立屋専造	本家・渡部御店様	状	
W7 24	7	13			記(會六百日代金十銭八リ受取につき)	(明治20年)九月九日	興産会(印、<カワ>受取)	〇様	状	
W7 24	7	14			記(白染布壹反代など諸色代金メ壹円四拾八銭九リ請取につき)	(明治20年)九月七日	大畑屋惣右衛門(印、奥州・白石・仲町・大畑屋)	渡邊儀藏様	状	
W7 24	7	15			記(渡波塩五十五俵代金拾四円四十四銭三リ請取につき)	亥(明治20年)ノ九月六日	田中長四郎	渡辺様	状	
W7 24	7	16			記(鉄打釘・かぎ代など諸色代金壹円四十九銭七リ請取につき)	(明治20年)九月六日	高橋甚兵衛(印、<カニ>警城・白石・中町)	渡邊儀造様	状	
W7 24	7	17			記(絹茶・唐紺・茶紺代など諸色代金六円拾四銭四リ勘定につき)	戊(明治19年)正月三十日	丸太	寿丸御勝手様	状	破損あり
W7 24	7	18			貨物受取証(栗丸材十一本、賃金三十六銭六リにつき)	明治十九年九月廿七日	白石驛々傳組合人牛馬車継立取扱所(印、白石驛人牛馬車継立取扱所)	〇御店御中	状	こより井 W7-24-7-20と関連あり
W7 24	7	19			貨物受取証(たまり正味四本、賃金四拾三銭五リにつき)	(明治19年)八月十九日	驛々傳組合人牛馬車継立取扱所(印、白石驛人牛馬車継立取扱所)	渡部義藏殿	状	
W7 24	7	20			キ(栗丸六十一本継立につき)	(明治19年9月)	(白石驛継立所)		状	W7-24-7-18と関連あり
W7 24	7	21			貨物受取証(渋紙包十個、添金式十銭につき)	明治十九年七月十三日	白石驛々傳組合人牛馬車継立取扱所(印、白石驛人牛馬車継立取扱所)	常林寺殿	状	
W7 24	7	22			貨物受取証(醤油式斗入三樽、賃金三拾四銭につき)	明治十九年四月廿二日	白石驛々傳組合人牛馬車継立取扱所(印、白石驛人牛馬車継立取扱所)	白石驛・渡邊儀藏殿	状	
W7 24	7	23			貨物受取証(生醤油式斗入三本、賃金式十九銭六リにつき)	明治十九年一月一日	白石驛々傳組合人牛馬車継立取扱所(印、白石驛人牛馬車継立取扱所)	渡辺儀藏殿	状	
W7 24	7	24			記(玉双子代など諸色代金メ五拾銭五リ請取につき)	(明治)十九年八月卅一日	渡邊佐吉(印、<井>警城・白石・渡部屋)	御本家様	状	
W7 24	7	25			記(立損分壹円七拾銭九リ勘定につき)	(明治19年)			状	
W7 24	7	26			売記(塩式百六拾壹俵代金四拾五円六拾七銭五リ受取につき)	(明治19年)八月十七日	亘リ郡早川町・菊地大之進(印)	白石・渡部義藏様	状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7 24	7	27			記(御蒲焼代金五拾錢請取につき)	(明治19年)八月十六日	相川巳之助(印、<ヤ>相>白石・鍛冶町<ヤ>>相川・大浦焼)	御本家・渡部様	状	
W7 24	7	28			覚(七寸五分草り下駄三足など草り下駄代金四十四錢五リ請取につき)	(明治19年)七月三十日	南町・はたのや(印、<ヤ>正>)	上	状	
W7 24	7	29			記(きぬくう・木綿あさき代など諸色代金メ壹円五拾四錢のうち壹円請取につき)	(明治19年)旧七月廿九日	梁屋万市	儀藏様	状	
W7 24	7	30			記(毛附皮附掛志足・式足代金式拾七錢受取につき)	(明治19年)旧十一月	関谷喜六	渡邊儀造様	状	
W7 24	7	31			記(八三かへ・五五・百丁代金六十六錢式厘など諸色代金メ式円十六錢式厘受取につき)	(明治19年)旧七月廿一日	山崎岩吉(印)	渡辺儀藏様	状	
W7 24	7	32			記(米五俵代金式拾錢請取につき)	(明治20年)	千葉文四郎	御本家・渡辺様	状	
W7 24	7	33			記(米四斗八匁代金式十錢相渡申候につき)	亥(明治20年)七月十四日	吉野忠吉	本家・渡辺様	状	
W7 24	7	34			記(風袋志枚代金拾四錢など諸色代金メ九拾錢請取につき)	(明治20年)旧七月十四日	関谷喜六	渡辺儀藏様	状	
W7 24	7	35			覚(錠手入代金式錢など受取につき)	(明治20年)七月十三日	宮城大吉	儀藏様	状	
W7 24	7	36			記(高帳袋代金八拾錢受取につき)	(明治20年)旧七月一日	大崎栄之助(印)	○御店様、御手代様御中	状	
W7 24	7	37			記(紺染代八錢など諸色代金メ六円三拾錢勘定につき)	戊(明治19年)七月	丸六	寿丸御勝手様	状	
W7 24	7	38			記(六分みぞかね式貫三百三十四匁代金九拾三錢三厘三毛など諸色代金メ九拾四錢五厘勘定につき)	(明治19年)六月十二日	安藤や栄藏(印)	渡辺儀藏様	状	
W7 24	7	39			記(玉子やき代など諸色代金メ十五錢受取につき)	(明治19年)五月廿九日	たま幸(印)	上	状	
W7 24	7	40			キ(上大豆志石代金四円拾錢など勘定につき)	(明治19年)			状	
W7 24	7	41			記(手間賃三人分壹円五錢など諸色代金メ八円六十五錢受取につき)	(明治19年)旧五月十日	鈴森右衛門	渡辺儀藏様	状	
W7 24	7	42			記(立山様目薬代金三拾錢受取につき)	(明治)十九年五月八日	清眼堂・尾辺(印)	渡辺儀藏様	状	
W7 24	7	43			記(石代金壹円八十七錢五厘勘定につき)	(明治19年)五月五日	石屋運治(印)	渡辺屋様	状	
W7 24	7	44			記(上西櫃三間式尺代金四拾錢など諸人用金メ五円式拾四錢勘定につき)	(明治19年)旧四月廿八日	岡市郎	渡辺儀藏様	状	
W7 24	7	45			記(わさひ代八十錢など諸色代金メ一円十錢勘定につき)	(明治19年)			状	
W7 24	7	46			記(車代金壹円式十錢など諸人用金メ拾九円五十七錢勘定につき)	(明治19年)			状	
W7 24	7	47			買口調(赤魚・すき代など八圓五拾錢五リなど諸色代金メ拾貳圓五厘請取につき)	(明治19年)四月廿二日	寺窪家(印、仙台)	上	状	こより共、破損あり 2減点
W7 24	7	48			記(ふきと・水薬代など諸色代金壹円式拾四錢受取につき)	(明治19年)三月廿一日	川原町市場・菅井源八(印、<ヤ>→仙臺・菅井)	南白石・忠治郎様	状	こより共、破損あり

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7 24	7	49			(覚、蒲鉾代など諸色代金メ四円七拾五錢請取につき)	(明治19年)三月廿日	寺窪屋(印、仙台・虎屋横丁・寺窪秀三郎)	上	状	
W7 24	7	50			証(赤魚・ます代など魚代金メ五圓六拾八錢請取につき)	(明治19年)正月廿一日	寺窪屋(印、仙台・虎屋横丁・寺窪秀三郎)	上	状	破損あり
W7 24	7	51			証(わさび・竹子代など諸色代金メ壹円八十四錢五厘受取につき)	卯(明治24年)四月廿一日	西村安吉(印、<ヤニ>仙臺・西村屋)	渡邊様	状	破損あり
W7 24	7	52			証(くさり代金貳拾五錢受取につき)	(明治19年)旧四月十五日	大崎栄之助	御本家・○御店様	状	破損あり
W7 24	7	53			(覚、大麦代金八円三十七錢五厘勘定につき)	戊(明治19年)四月十七日	上西半兵衛		状	破損あり
W7 24	7	54			証(代金三円余請取につき)	(明治19年)旧四月十五日	三戸屋条助	○様	状	破損あり
W7 24	7	55			証(金壹円拝借願上候につき)	(明治19年)三月十三日	御免町・針生彦兵衛	渡邊様、御會計様	状	破損あり
W7 24	7	56			証(朱十七枚・へり付ちん代金メ九円七拾六錢六厘勘定につき)	(明治)拾九年戊三月	畑中徳治	寿丸様	状	後欠カ、破損あり
W7 24	7	57			証(五寸メ八丁代など諸色代金六円七拾三錢三厘勘定につき)	(明治19年)三月十日	宮驛・大槻精之介(印、大槻)	中町・渡辺儀藏様	状	破損あり
W7 24	7	58			一証(納丸二十八代など諸色代金五拾六錢壹厘勘定につき)	(明治19年)第二月廿五日	代・甚造	渡邊様	状	破損あり
W7 24	7	59			覚(手箱・あめ代など諸色代金壹圓七拾四錢勘定につき)	(明治)十九年二月	塩種・小野弥吉	儀藏様	状	
W7 24	7	60			証(赤魚・みかん代など諸色代金壹圓六十錢勘定につき)	(明治19年)二月十日	佐藤夕七	渡邊儀造様	状	
W7 24	7	61			証(め菜三十代金六十錢勘定につき)	戊(明治19年)二月一日	菅澤	上	状	
W7 24	7	62			証(代金三錢勘定につき)	(明治)十九年二月	菅澤庄五郎	渡儀様、安栄様	状	
W7 24	7	63			覚(銭買取売上金貳円三拾錢請取につき)	(明治19年)一月卅日	大村与吉(印、仙台・国分町)	○様	状	
W7 24	7	64			証(小平め式枚代金貳拾貳錢請取につき)	(明治)十九年正月四日	短町・<水>(印)	中町・渡辺屋多七様	状	
W7 24	7	65			証(徳壹升代金壹円八拾錢受取につき)	亥(明治20年)十月三日	大味	寿丸・渡儀様	状	
W7 24	7	66			証(御蒲焼代金壹圓五拾錢勘定につき)	(明治19年)正月廿四日	相川巳之助(印、白石・鍛冶屋町・相川)	上様	状	
W7 24	7	67			証(佳水<油>皆掛代金壹圓六十七錢五厘相働き、金御貸渡し成し下されたく候につき)	旧戊(明治19年)ノ正月二日	碧地屋萬五郎(印、<ヤ木>磐城・白石・中町・菊地屋)	渡邊儀藏様	状	
W7 24	7	68			證(形代金貳圓六拾六錢など諸色代金メ貳円七拾四錢壹厘勘定につき)	(明治)十九年一月七日	宮驛・大槻精之介(印、大槻)	中町・渡辺儀藏様	状	
W7 24	7	69			証(カモ壹わ代など諸色代金メ七円九十八錢三厘勘定につき)	(明治19年)			状	破損あり
W7 25					証(<ヤ>代金三円四十錢請取につき)	(明治・年月日未詳)			冊	
W7 26	1				(包紙、五十集方書付)	(明治8年)五月十六日改メ			状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形態	状態／備考
W7 26	2	1			(覚、一月分調・二月廿三日調、千式百八十六切指引などにつき)	(明治8年2月)			状	
W7 26	2	2			(覚、一月分金四拾八円余立替など書上)	(明治8年1月)			状	
W7 26	3				(覚、<ヤニ>平助殿金三両壹分四百七十門目為替仕候につき)	(明治8年) 一月九日			状	
W7 26	4				覚(塩引鯉御渡し成し下されたく候につき)	(明治8年)	平内(印)	源三郎様	状	
W7 26	5				記(小古鞍三つ御渡し下されたく候につき)	(明治8年) 四月十五日	三春屋世話中	渡辺儀藏様	状	
W7 26	6				覚(金三両御渡し下されたく候につき)	(明治8年・月未詳) 廿八日	平内	○御主人様	状	
W7 26	7				(覚、塩引代金五両壹切など差引につき)	(明治8年)			状	
W7 26	8				覚(金七円御渡し成し下されたく候につき)	(明治8年) 四月二十七日	<カネ二>	<ジガミー>様	状	
W7 26	9				覚(<ヤカ久>殿秋味壹代金拾切御渡し下され候につき)	(明治8年) 五月三日	平内	<ワカ>源三郎様	状	
W7 26	10				記(塩壹俵手形引替御渡しにつき)	(明治8年) 五月十一日	渡辺儀藏(印)	一条兵作様	状	
W7 26	11				覚(本町忠兵衛拵金より四両御貸し願上候につき)	(明治8年) 四月九日	平内(印)	○儀藏様	状	
W7 26	12				口上(金五両差上候につき)	(明治8年) 五月四日	平内		状	
W7 26	13				(覚、リメ金七円など書上)	(明治8年)			状	
W7 26	14				(書状、<ヤカ>金百七十一切御かし渡し願上候につき)	(明治8年) 二月二日	本町・清三郎	長町・平内様	状	
W7 26	15				(覚、金十一円六十四錢など書上)	(明治8年)			状	
W7 26	16				(覚、金壹円七十六錢など書上)	(明治8年)			状	
W7 26	17				覚(金拾貳両御貸渡い願上候につき)	(明治8年・月未詳) 廿三日	平内(印、<ワカ>中>警城・白石中町・犬漁せり場・世話人中)	○御旦那様	状	
W7 26	18				(覚、金千五百四切など書上)	(明治8年)			状	
W7 26	19				(断簡)	(明治8年)			状	
W7 26	20				(覚、金貳拾壹円貳錢貳厘など書上)	(明治8年)			状	
W7 26	21				覚(駄ちん金五両、一両日中に差上申候につき)	(明治8年) 一月廿四日	最上屋平内(印、<ワカ>中>警城・白石中町・犬漁せり場・世話人中)	森合村問屋・善藏殿、重助殿	状	
W7 26	22				(覚、今日之結杜御組中へ相達候につき)	(明治8年・月未詳) 廿五日	左吉	儀藏様	状	
W7 26	23				(覚、金十七両入帳につき)	(明治8年・月未詳) 廿三日	平内		状	
W7 26	24				覚(金三五両入帳につき)	(明治8年) 十二月廿九日	平内	○御勝手	状	
W7 26	25				(覚、<井>四百七十五枚など書上)	(明治8年)			状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	26	1				口上(赤極かね薄テなど御見せ下されたく候につき)	(明治8年)三月十七日	○店	<ヤヤ水>御店様	状	
W7	26	2				(寛)金平メ代金壹円八十一銭など書上)	(明治8年)			状	
W7	26	27				寛(秋味のうち壹俵、<ヤヤ久>へ御渡し下されたく候につき)	(明治8年)三月十五日	平内	源三郎様	状	
W7	26	28				寛<ヤヤ二>駄賃金拾切、一両日中二右手形引替御渡しにつき)	(明治8年)二月十九日	最上屋平内(印)	森合村問屋・善藏殿、重助殿	状	
W7	26	29				(寛)手形八百四十一枚・五十書上)	(明治8年)			状	
W7	26	30				(断簡、金拾五枚、外二不足貳枚)	(明治8年)			状	
W7	26	31				記(馬九駄分・内伯り貳駄、八宮より白石迄代金壹両四拾八錢七厘御渡し下されたく候につき)	亥(明治8年)ノ二月十六日	宮駟会社(印)	<ヤヤ二>様	状	
W7	26	32				(寛)二月廿三日調代金四円十錢七厘など勘定につき)	(明治8年)			状	
W7	27	1	1			(帯封、常林寺本堂再築方書類之内壹巻)	明治廿年亥三月より			帯封	破損あり
W7	27	1	2			支拂(野澤富平働き工數廿七人・金五円九十四錢など書上)	(明治23年)			状	
W7	27	1	3			集金(菊地平治・金壹円など書上)	(明治23年)			状	
W7	27	1	4	1		(書状、* <木へんに柔>材之儀は未タ駄送仕ラズ是夕恐縮之至リニ候につき)	(明治23年)旧八月十二日	中村久治	渡辺宇吉様	状	
W7	27	1	4	2		(寛)蔵平村鈴木加吉分人足賃金貳円勘定につき)	(明治23年)			状	
W7	27	1	4	3		常林寺本堂き(板五枚長サ貳拾尺五寸など書上)	(明治23年)			状	破損あり
W7	27	1	4	4		集金記(本町菊地作之助金壹円など拾九名代金メ貳拾二円余集金につき)	(明治23年)			状	
W7	27	1	4	5		キ(吉田美七分壹円など代金メ貳円六十五錢勘定につき)	(明治)廿三年四月十一日			状	
W7	27	1	4	6		記(再築方より錢別代金五十錢などメ貳円七十錢勘定につき)	トラ(明治23年)四月十日			状	
W7	27	1	4	7		記(外縁請負百人、壹人廿錢など勘定につき)	(明治23年)三月七日			状	
W7	27	1	4	8		き(佐藤千代吉代金八円などメ二円廿九錢勘定につき)	トラ(明治23年)三月七日			状	
W7	27	1	4	9		記(定雇野澤富平ほか拾五人賃金など勘定につき)	(明治23年)			状	
W7	27	1	4	10		(寛)有志彦之介、拾人七分五厘メ金貳円三十六錢五厘仕切につき)	(明治23年)			状	破損あり
W7	27	1	4	11		(寛)廿一人半・野澤富平など書上)	(明治23年)			状	
W7	27	1	4	12		(寛)御寺の有志、菊地民弥様金五円など書上)	寅(明治23年)ノ壹月十二日			状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形態	状態／備考
W7	27	1	4	13		(覚、四釜太郎兵衛縁金三円など書上)	(明治23年)			状	
W7	27	1	4	14	1	記(五人半分代金九十九銭など書上)	(明治23年)			状	
W7	27	1	4	14	2	記(かた待ち小野寺与六など金貳円集金預り分書上)	(明治23年)			状	
W7	27	1	4	15		記(大工富平十一人分代金貳円廿銭など書上)	(明治23年)			状	
W7	27	1	4	16		記(太田熊吉代金貳円など書上)	(明治23年)			状	
W7	27	1	4	17		(覚、嶋津理右衛門代金参円など六月以下の分取立につき)	(明治23年)	萩本知念	渡辺儀藏様	状	
W7	27	1	4	18		(書状、金五円間に合わせ願いにつき)	(明治23年)九月一日	<丸角>	○御本家様	状	
W7	27	1	4	19		(覚、メ九拾三人半書上)	(明治23年)			状	
W7	27	1	4	20		(覚、短ヶ町太田繁吉代金壹円など書上)	(明治23年)			状	破損あり
W7	27	1	4	21		大工へ拂渡し分記(本堂工事費六拾六円勘定などにつき)	(明治21年)			状	破損あり
W7	27	1	4	22		(覚、私手元支払い仕らず、御手元縁々御払い渡し下されたく候につき)	(明治23年)旧七月八日	安藤栄治郎	渡辺儀藏様	状	
W7	27	1	4	23		記(常林寺屋根工事左官三人手間賃七拾五銭などメ貳円拾銭請取につき)	(明治23年)	保科廣臣(印)	常林寺御世話懸り・渡辺儀造様	状	破損あり
W7	27	1	4	24		記(新町中村屋利右衛門殿金貳圓など納金書上)	丑(明治22年)ノ八月九日			状	
W7	27	1	4	25		(覚、結城亀藏五円など納金四口メ九円勘定につき)	(明治22年)八月八日			状	
W7	27	1	4	26		預り金記(メ貳拾三円三十四銭八リ)五毛差引十八円貳十一銭八リ)五毛につき)	(明治21年)旧七月			状	
W7	27	1	4	27		常林寺本堂有志金受取分(メ金六円三拾五銭勘定覚)	明治廿一年旧七月十六日	蔵本村・さぶ郎組		状	
W7	27	1	4	28		短ヶ町分(五六・阿部平右衛門など納金五円七拾壹銭勘定覚)	子(明治21年)ノ九月廿四日			状	
W7	27	1	4	29		記(常林寺有志金拾円差上申候につき)	(明治21年)十一月卅日	安藤栄治郎	渡辺儀藏様	状	
W7	27	1	4	30		(割符、管<ヤ>原長太郎・同常吉貳人)	(明治21年)六月卅日			状	こより共
W7	27	1	4	31		(割符、菅原長太郎・同常吉貳人)	(明治21年)六月廿九日			状	
W7	27	1	4	32		(割符、管<ヤ>原長太郎・同常吉五分ツ、メ壹人)	(明治21年)七月一日			状	
W7	27	1	4	33		(割符、佐藤卯三郎金貳円)	(明治21年)十一月十日			状	破損あり
W7	27	1	4	34		(割符、佐久間彦之助など三人)	(明治21年)			状	破損あり
W7	27	1	4	35		(割符、森合村佐久間周助など三人)	(明治22年)旧三月十一日			状	破損あり
W7	27	1	4	36		(割符、第廿六号渡邊儀藏)	(明治22年)三月十九日			状	破損あり

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7 27	1	4	37		(割符、宮澤惣吉・御野惣吉午後ヨリ運送木材取調同人ニテメ喜人)	明治二十二年二月十日			状	破損あり
W7 27	1	4	38		(割符、鈴木庄吉など木材運搬メ三人)	(明治)二十二年正月廿九日			状	破損あり
W7 27	1	4	39		(割符、鈴木庄吉など木材運搬メ四人)	(明治)二十二年旧正月卅日			状	破損あり
W7 27	1	4	40		(割符、宮澤惣吉などメ四人)	(明治22年)旧二月七日			状	破損あり
W7 27	1	4	41		(割符、嶋貴友右衛門などメ四人)	(明治22年)旧二月八日			状	破損あり
W7 27	1	4	42		(割符、宮澤惣吉喜人)	(明治22年)旧二月五日			状	破損あり
W7 27	1	4	43		(割符、藤間市三郎などメ二人半)	(明治21年)十二月廿三日	(印、常林寺)		状	破損あり
W7 27	1	4	44		(割符、永沼安治など三人)	(明治22年)六月廿日			状	破損あり
W7 27	1	4	45		(割符、永沼安治など三人)	(明治22年)六月廿一日			状	破損あり
W7 27	1	4	46		(割符、大工手伝方松田長七などメ四人)	(明治22年)六月十五日			状	破損あり
W7 27	1	4	47		(割符、手伝菅井清喜・七分)	(明治22年)六月十四日			状	破損あり
W7 27	1	4	48		(割符、手伝長沼安治・菅井清喜武人)	(明治22年)六月十三日			状	破損あり
W7 27	1	4	49		(割符、手伝松田長七などメ四人)	(明治22年)六月十一日	(印、常林寺)	渡邊儀藏殿	状	破損あり
W7 27	1	4	50		(割符、瓦百五十枚運済)	(明治22年)			状	
W7 27	1	4	51		(割符、大槻清之輔分請取)	(明治22年)六月十一日			状	
W7 27	1	4	52		記(金三円・山崎久吉など書上)	(明治22年)			状	
W7 27	1	4	53		(覚、金七円五拾錢・渡辺佐吉様など書上)	(明治22年)			状	
W7 27	1	4	54		(割符、針生彦治喜人などにつき)	(明治22年)四月廿五日			状	
W7 27	1	4	55		き(金壹円・太田熊吉など書上)	(明治22年)			状	
W7 27	1	4	56		き(金壹円・川村善四郎など書上)	(明治22年)			状	
W7 27	1	4	57		記(高橋志右衛門有志金入金式十錢請取などにつき)	(明治22年)正月八日			状	
W7 27	1	4	58		常林寺瓦人足人名(渡辺深三朗様・半人など書上)	(明治22年)七月廿四日			状	
W7 27	1	4	59		(書状、御寺様本堂屋根おき方人足不出につき)	丑(明治22年)ノ七月三十日 一日	安藤栄治郎、渡辺儀藏	岡崎佐藏様(ほか11名)	状	
W7 27	1	4	60		常林寺有志方調(金壹円五拾錢・鈴木元三郎殿など書上)	(明治)二十一年旧拾二月廿九日	鈴木庄吉(印、ズズキ)	古山伝十郎様	状	
W7 27	1	4	61		(覚、短々町平間藤吉代金壹円などメ三円五十錢勘定につき)	(明治22年)九月一日			状	
W7 27	1	4	62		(断簡、金六円有志分請取)	丑(明治22年)ノ三月廿九日			状	
W7 27	1	4	63		(覚、本町貳円十一錢七厘など請取につき)	子(明治21年)十一月廿四日			状	
W7 27	1	4	64		有志不納人名記(渡辺伊左衛門など八名につき)	(明治22年)四月十四日	常林寺住職・萩本智念	渡辺儀藏殿	状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形態	状態／備考
W7 27	1	4	65		(覚、金貳円五十銭預りにつき)	丑(明治22年)一月十七日			状	
W7 27	1	4	66		記(八月十三日佐野源平金五円勘定につき)	丑(明治22年)九月三十日			状	
W7 27	1	4	67		(覚、金七円有志内預につき)	(明治21年)拾壹月廿三日			状	
W7 27	1	4	68		(覚、金拾円渡辺儀蔵ヨリ入ルにつき)	丑(明治22年)ノ六月九日			状	
W7 27	1	4	69		預り集財記(新町分金十一円二十銭などメ貳十八円二十銭につき)	丑(明治22年)ノ五月十九日			状	
W7 27	1	4	70		(覚、新町分山崎久吉金貳円などメ拾壹円七拾銭ほか請取につき)	丑(明治22年)ノ五月廿壹日			状	
W7 27	1	4	71		再築有志覚(金壹円安藤かねなど書上、裏面に「御佛前一・片平与左衛門」とあり)	丑(明治22年)ノ五月四日	有志・清六		状	
W7 27	1	4	72		調(一円村上要吉など書上)	丑(明治22年)四月廿六日	清六		状	
W7 27	1	4	73		(覚、金三円日下栄作など書上)	(明治22年)			状	
W7 27	1	4	74		記(金五十三銭田町本藏など書上)	(明治22年)			状	
W7 27	1	4	75		(覚、金四円寿丸ヨリ入ルなどにつき)	丑(明治22年)四月十七日			状	
W7 27	1	4	76		(覚、金三円渡辺儀蔵ヨリなどにつき)	丑(明治22年)ノ四月拾五日			状	
W7 27	1	4	77		記(金五拾円堀川五藏へ渡し分など書上)	(明治22年)			状	
W7 27	1	4	78		き(金壹円菅野利平など書上)	(明治22年)四月五日			状	
W7 27	1	4	79		(覚、人足拾壹人分壹円九拾八銭など書上)	丑(明治22年)ノ三月三十一日			状	
W7 27	1	4	80		記(金五円富岡清太郎殿より有志金として預りにつき)	(明治22年)三月廿二日	萩本知念(印)	渡辺儀蔵様	状	
W7 27	1	4	81		記(現金七円五十銭請取につき)	(明治22年)三月廿三日	萩本知念(印)	渡辺儀蔵様	状	
W7 27	1	4	82		拂渡し(金拾貳円廿銭大工へ渡しなどメ拾五円九拾七銭につき)	丑(明治22年)ノ三月十一日			状	
W7 27	1	4	83		き(大工房吉へ作料拾円支払などにつき)	(明治)廿二年三月廿二日			状	
W7 27	1	4	84		(覚、大工方へ、白念様へ渡しなどにつき)	丑(明治22年)ノ三月壹日			状	
W7 27	1	4	85		記(大工房吉へ渡又金二十円などにつき)	(明治22年)三月壹日			状	
W7 27	1	4	86		き(小唄画人十銭など支払につき)	丑(明治22年)ノ二月廿三日			状	
W7 27	1	4	87		(覚、宮城右吉十銭など勘定につき)	(明治)廿二年二月廿二日			状	
W7 27	1	4	88		(覚、大工房吉へ金十貳円貳十銭支払につき)	丑(明治22年)ノ三月十一日			状	
W7 27	1	4	89		(覚、大工彫物師へ金十三円七十五銭相渡えにつき)	(明治22年)三月四日			状	
W7 27	1	4	90		記(廿一年旧十二月廿八日常林寺有志金拾壹円六十銭につき)	丑(明治22年)ノ壹月廿九日			状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7 27	1	4	91		(覚、大工三名分月給など支拂金メ拾壹円六拾錢勘定につき)	(明治22年1月)			状	
W7 27	1	4	92		(覚、佐藤千代吉分など大工料勘定につき)	丑(明治22年)五月八日			状	
W7 27	1	4	93		(覚、小挽人足賃拾壹円〇七錢五リなど書上)	子(明治21年)ノ拾貳月三十日			状	
W7 27	1	4	94		(覚、金次郎など三名メ金二十一円勘定につき)	(明治21年)十二月			状	
W7 27	1	4	95		(覚、給料料メヶ月分貳拾七円などメ三拾七円余渡し方勘定につき)	子(明治21年)ノ拾貳月廿八日			状	
W7 27	1	4	96		記(房吉へ金四円貳十三錢渡し分など惣計十三円七十三錢勘定につき)	(明治21年)			状	
W7 27	1	4	97		キ(平間藤吉壹円などメ三円七十五錢五リ勘定につき)	(明治21年)			状	
W7 27	1	4	98		キ(山崎岩吉壹円などメ拾三円七十七錢八リ勘定につき)	(明治21年)十二月廿三日			状	
W7 27	1	4	99		(覚、大工富平など三名メ金拾六円六拾錢、および隅木・破金板大工賃勘定につき)	(明治21年)			状	
W7 27	1	4	100		キ(宮城大吉十錢などメ三円十錢勘定につき)	(明治21年)十一月廿六日			状	
W7 27	1	4	101		(覚、隅本源十郎拾壹錢壹リなどメ金貳円拾壹錢壹リ勘定につき)	子(明治21年)ノ拾壹月廿四日			状	
W7 27	1	4	102		(覚、舩谷勇吉貳拾錢などメ金五円六拾七錢八リ勘定につき)	(明治) 貳拾壹年子拾壹月拾九日			状	破損あり
W7 27	1	4	103		(割符、有川順介金八円)	(明治21年)十一月十七日	(印、常林寺)		状	
W7 27	1	4	104		(覚、小挽賃金メ八円七十五錢のため只今八円拜借いたしたく申出候につき)	(明治21年)十一月十七日	萩本知念(印)	渡辺儀藏様	状	
W7 27	1	4	105		(覚、大工若者共三人分渡し金拾三円など書上)	子(明治21年)ノ拾壹月十日			状	
W7 27	1	4	106		(覚、普請方大工宿料拾八円九拾錢など諸経費書上)	(明治21年)拾壹月三日			状	
W7 27	1	4	107		き(三沢安右衛門渡し壹円など惣計拾四円五十錢勘定につき)	子(明治21年)十一月二日	常林寺		状	
W7 27	1	4	108		御届書(伊具郡川張村持渡メ金四円四十錢勘定につき)	子(明治21年)十月廿四日			状	
W7 27	1	4	109		子ノ十月廿一日長町有志金(三口合計拾円三拾八錢九リ勘定覚)	子(明治21年)ノ十月廿一日			状	
W7 27	1	4	110		常林寺有志金(三沢安右衛門ほか6名メ八円廿錢勘定覚)	(明治) 廿一年十月四日			状	
W7 27	1	4	111		キ(山崎文三郎三円など常林寺有志金メ拾三円八十錢勘定につき)	(明治21年)九月廿七日			状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	27	1	4	112		私立替之分左三(田町小挽貫・大工房吉へ渡し金などメ十円六十三錢七厘余勘定覚)	(明治21年)旧十一月	伊藤庄介、常林寺(印)		状	破損あり
W7	27	2	1			本堂再築有志納金控	明治二十年 初三月	渡辺佐吉、常林寺(印)		冊	常林寺住職・森本知念、惣代人・渡辺義藏、佐吉
W7	27	2	2			本堂再築有志納金控	明治貳拾年 三月	渡辺佐吉、常林寺(印)		冊	
W7	28	1				覚(杉原并三十枚啓簡など大急ぎ御送り願いにつき)	(明治2年)六月七日	<ヤ>	○様	状	
W7	28	2				(書状、桑折への手紙通達につき)	(明治2年・月未詳)廿七日	忠兵衛	儀藏様	状	
W7	28	3				(書状、<七寸>和助様へ書面をさし上相談仕候などにつき)	(明治2年)九月廿一日	つたや半治郎(印、<一久お>奥州・福岡・上町南側)	村井忠兵衛様、渡辺儀藏様(白石中町・渡部儀藏様)	状	
W7	28	4				覚(上々本生紙啓状売上代銀につき)	巳(明治2年)八月	渡辺屋儀藏	御用達様	状	
W7	28	5				(書状案、荒浜出張などにつき)	(明治2年)			状	
W7	28	6				覚(羅紗下地代金三両貳分など御渡しにつき)	(明治2年)七月晦日	渡辺儀藏代・達太郎	川村源吉殿(ほか2名)	状	
W7	28	7				(書状案、入用金として趣意金五拾両指上候などにつき)	(明治2年)			状	
W7	28	8				(書状、御払米につき)	(明治2年)九月廿一日	佐藤新右衛門	渡辺儀藏様	状	
W7	28	9				(書状、平内様日延につき)	(明治2年・月未詳)廿七日	忠兵衛	儀藏様	状	
W7	28	10				(書状案、御挨拶下されたく候につき)	(明治2年)			状	破損あり
W7	28	11				(封筒)	(明治2年)		津多屋平治郎様	状	破損あり
W7	28	12				(書状、運送方手透きにつき)	(明治2年)九月廿一日	儀藏	平治郎様	状	破損あり
W7	28	13				(書状、御引合之米受取につき)	(明治2年)十月十四日	佐藤新右衛門	村井忠兵衛様(ほか2名)	状	破損あり
W7	28	14				(書状、金百両水澤渡しなどにつき)	(明治2年)九月十六日	平二郎	村井忠兵衛様、御当家御主人様	状	
W7	28	15				御直書謹写(其方儀誠美之勤につき)	(文久3年)			状	
W7	28	16				(書状、下寄式筒など注文之品極々大々急用につき)	(文久3年)六月十日	小西久兵衛	○御主人様、豊吉様	状	
W7	28	17				注文覚(並ちり紙啓敷など不足無く送り下されたくにつき)	(文久3年)六月十一日	小久(印、仙台・小西・入星)	渡儀様	状	
W7	28	18	1			(覚、北通り七番丁大田市の丞様行につき)	(文久3年)			状	破損あり
W7	28	18	2			(和歌書上、月と日の幡は西より下れとも)	(文久3年)			状	
W7	28	18	3			覚(金式切受拂につき)	亥(文久3年)四月一日	泉庄次郎、四ッ倉鱗太郎	渡辺屋殿	状	
W7	28	18	4			覚(川本殿金五両啓分為替につき)	(文久3年)六月十二日	<ヤ>上>店	○御店様	状	
W7	28	18	5			覚(■ボソ式十人前など請取につき)	(文久3年)四月六日	御小人・大龍軍之進(印)	渡邊屋義藏殿	状	破損あり
W7	28	18	6			(書状、廣瀬御代官片平太郎右衛門様は従来知人三御座候処、同人此度御用のため相登り居り候につき)	(文久3年)六月三日	斎藤新藏人(印)	渡部義藏様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	28	19				(書状、桑折行書状につき)	(文久3年・月未詳)十七日	忠兵衛	渡辺様	状	
W7	28	20				(書状、水沢着これ無き趣二申し居り候につき)	(文久3年)	忠兵衛	渡辺様	状	
W7	28	21				寛(紙布上下地・紙布縮など直段御書入下された く候につき)	(文久3年)九月廿一日	奈良屋作兵衛	渡邊屋義藏様	状	
W7	28	22				(書状、別紙加封申上の通り此節品物何程か御書 入欠急ぎにて御下し成し下されたく候につき)	(文久3年)九月廿一日	奈良屋作兵衛	渡邊屋義藏様	状	
W7	28	23				(書状案、御役所御書義、上総屋着申渡候取引御 買上相成候様仰せ付けられ候などにつき)	(文久3年)			状	後欠
W7	28	24				(書状、大急水沢迄運送仰せ付けられ当着仕候、 および十七日・十八日雨天のため荷揚場所大悪 で積立相成兼候などにつき)	(文久3年)九月廿日	儀兵衛	善兵衛様、忠兵衛様	状	
W7	28	25				(書状、水沢着米相成候処、売米の次第心配仕候 および村井氏角田へ出張のため出向のところ右 米御札相立と御申越しなどにつき)	(文久3年)十月十九日	佐藤新右衛門	渡邊儀藏様	状	
W7	28	26	1			贈状之事(苞包菅筒・添金菅両三分菅朱につき)	(文久3年)四月十一日	大傳馬町菅丁目・佐野屋丹 兵衛(印、<4/1>ヤヤ木>大傳馬 壹・金銀不用・佐野屋)	越河・中目屋武左衛門殿迄、 白石・渡邊屋儀藏殿行	状	
W7	28	26	2			送状之事(太物りう久包菅筒・金菅両三分相添に つき)	(文久3年)四月十一日	伊勢屋利平(印、<4/1>平>堀 江壹・金銀不用)	奥州越河・村上武左衛門殿 迄、白石・渡邊屋儀藏殿行	状	
W7	28	27				寛(六日晚八ツ時より留吉殿など日時・名前書上)	(文久3年)			状	
W7	28	28				(寛、喜ばん金巾貳百七斤など商品・金額書上)	(文久3年)	草五郎	忠兵衛様	状	
W7	28	29				(書状、善兵衛殿の会計のため御呼出しにて紙面 拝見、米は六百俵相渡し、金子は義藏方へ 上納仕候につき)	(文久3年)十月四日	善兵衛	渡辺義藏様	状	
W7	28	30				(書状、十両御払いの人あり、直段相庭伺い、上げ 候につき)	(文久3年)十月八日	善兵衛	渡辺義藏様	状	破損あり
W7	28	31				(書状、米六百俵都合よろしく請渡し相成申候、 昨日新右衛門様直々御出張相成、金子六百両御 持参、六百俵受取に相成候などにつき)	(文久3年)十月四日	(沼之上の)最上屋平内	(白石)渡部屋儀藏様	状	破損あり
W7	28	32				(書付案、会津方御先陣など戊辰戦争戦況につき)	(慶応4年3月15日)			状	破損あり
W7	28	33	1			記(大麦四俵三斗五升搗ちん七貫五拾文勘定に つき)	(明治8年)七月二日	車・忠治郎	渡邊儀藏様	状	こより共
W7	28	33	2			記(はたおりちん・糸くりちんメ金三歩ト代三貫 百三十文・金吾円など勘定につき)	(明治8年)旧七月一日	森の千代	渡義様	状	
W7	28	33	3			寛(釘かすかへ・硯箱貳つなど諸色代金メ式朱ト 百三拾七匁六分・百文勘定につき)	亥(明治8年)ノ八月	安藤や栄藏	渡邊屋儀藏様	状	
W7	28	33	4			記(草履・羅紗・石ばんなど諸色代金五兩三分三 朱・百三十六文勘定につき)	い(明治8年)ノ九月	高はしや甚兵衛	渡辺儀藏様	状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7 28	33	5			(寛、延立織貫・生糸くり貫メ九切三朱・五百六十四文勘定につき)	(明治8年)			状	
W7 28	33	6			記(手桶・洗足鉢など諸色代金メ拾六切三朱余、直し金拾円余勘定につき)	(明治8年)八月十四日	桶屋庄之助	渡邊義藏様	状	
W7 28	33	7			寛(あわせヱツ・もめん糸くりちんなど諸色代金メ式朱余勘定につき)	(明治8年)			状	
W7 28	33	8			寛(きぬ・糸代金壹歩三朱ト代四百七十八文勘定につき)	(明治8年)			状	
W7 28	33	9			寛(下駄・むしろなど諸色代金メ壹朱ト代壹貫九百三拾文勘定につき)	亥(明治8年)ノ七月	若松や染治	渡部儀藏様	状	
W7 28	33	10			記(水袖三升代金壹歩朱請取につき)	(明治8年)八月十四日	菊地屋萬五郎	渡邊儀藏様	状	
W7 28	33	11			寛(楮皮代金壹朱・百文勘定につき)	(明治8年)八月十四日	大畑屋惣右衛門	渡部義藏様	状	
W7 28	33	12			寛(丸ニかせ輪銅・丸ニ花菱など諸色代金メ三歩壹朱受取につき)	(明治8年)旧七月十五日	上・中助三	渡邊様	状	
W7 28	33	13			おほへ(袴ヱツ・夏袴など諸色代金メ式歩壹朱・壹貫文請取につき)	(明治8年)八月十四日	仕立屋専造	上様	状	
W7 28	33	14			記(簀巻枚・煙草など諸色代金メ壹分ト式貫五百八拾文受取につき)	(明治8年)旧七月十四日	日下屋傳右衛門	上	状	こより共
W7 28	34	1			寛(大徳壹俵代金壹両式朱請取につき)	(慶応2年)二月十六日	越後屋とら吉(印、<ヤヤ吉>奥州・梁川・越後屋)	上	状	
W7 28	34	2			寛(金式切請取につき)	(慶応2年)十一月十九日	亘り町・伊袋(印)	上	状	
W7 28	34	3			寛(たまり拾盃御送り下されたく候につき)	(慶応2年)九月十五日	郡山村・秀之助(印)	渡辺や甚藏様	状	
W7 28	34	4			おほへ(金壹両式歩請取につき)	(慶応2年)八月廿五日	大内喜左衛門	上	状	
W7 28	34	5			寛(長治膏百具御遣し下されたく候につき)	(慶応2年)十月廿日	<ユル久>平兵衛(印、<ユル久>奥州・白石・紙壳・阿古島屋)	渡義様	状	
W7 28	34	6			寛(たまり二十盃御遣し下されたく候につき)	(慶応2年)十二月廿四日	郡山村・秀之助	渡辺屋義藏様	状	
W7 28	34	7			寛(大徳壹俵代金壹両式朱請取につき)	とら(慶応2年)三月五日	越後屋とら吉(印、<ヤヤ吉>奥州・梁川・越後屋)	上	状	
W7 28	34	8			寛(白緋代金式拾切御渡し下されたく候につき)	(慶応2年)三月十二日	斎藤源左衛門(印)	渡辺屋御店御中	状	
W7 28	34	9			寛(売上錢三貫百文請取につき)	(慶応2年)十一月十九日	<ヤヤ生>	藤兵衛様	状	
W7 28	34	10			寛(九寸はば板敷五十式枚など諸色代金五切勘定につき)	(慶応2年)十一月廿五日	駒吉	渡辺甚藏様	状	
W7 28	34	11			(書状、大慶様御用極上紙十枚渡され候などにつき)	(慶応2年)九月廿八日	川村春澤	渡辺義藏様	状	
W7 28	34	12			(寛、御拂下されたく候につき)	(慶応2年)十二月廿日	小室清七	中町・儀藏様	状	破損あり

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	28	34	13			(断簡・覚) 覚(郡山村秀之助より預る大豆九升御期定御渡し願ひにつき)	(慶応2年) 十二月廿四日	古広屋吉右衛門(印)	渡辺屋義藏様	状	
W7	28	34	14			覚(たまり二十盃御かし願ひにつき)	(慶応2年)十二月廿八日	上小原村大熊ノ・高橋忠兵衛(印)	渡辺屋義藏様	状	
W7	28	34	15			覚(渡儀殿を送り荷送包式簡受取につき)	(慶応2年)七月十四日	大石屋太吉(印、<ヤ>大>仙・国分町十九軒)	上	状	
W7	28	34	16			口上(<ヤ>さ>ちり紙・<十>方ちり紙ともに五百五十帖請取につき)	丑(慶応元年)十二月廿七日	笹森や利兵衛(印、角田・中町・笹森屋)	渡部屋儀藏様、同東兵衛様	状	
W7	28	34	17			覚(将油<ヤ>式拾盃、此者に御かし渡し下されたく候につき)	(慶応2年)二月十二日	六日村・小室清六	白石中町・渡邊儀藏様	状	
W7	28	34	18			覚(勇亀一本切百式拾帖送り願ひにつき)	寅(慶応2年)ノ三月十二日	奥孝(印、<ヤ>各>奥州・仙台・国分町)	渡儀様	状	
W7	28	34	19			覚(しやうゆ拾盃入用のため御遣し下されたく、御期定追而御承知下さるべく候につき)	丑(慶応元年)ノ七月廿三日	高橋幸之丞(印)	渡部義藏様	状	2紙1点
W7	28	34	20			覚(拾盃、此ものへ御かし渡し下されたく願上候につき)	(慶応元年)正月廿一日	養藏	甚藏様	状	
W7	28	34	21			おほへ(押縁・尻抜拵押へ代など諸色代金メ壹切吾米ト二指支勘定につき)	(慶応元年)三月廿四日	池田栄助	渡邊儀藏様	状	
W7	28	34	22			覚(口糸御渡し下されたく願上候につき)	丑(慶応元年)ノ八月廿六日	鶴見屋千右衛門	佐渡屋店衆様	状	
W7	28	34	23			覚(醤油看板御塗料五切勘定につき)	(慶応元年)八月廿九日	鈴木藤左衛門	渡部甚藏様	状	
W7	28	34	24			覚(諸色代銀メ式貫四百十七匁御入帳成されたく候につき)	(慶応元年)十一月十九日	鈴木	渡部様	状	
W7	28	34	25			覚(大帳巻帳代金壹分式朱請取につき)	とら(慶応2年)三月七日	越後屋兵吉(印、<ヤ>吉>奥州・梁川・越後屋)	上	状	
W7	28	34	26			覚(大豆三拾俵メ受取御入帳成し下されたく願上候につき)	(慶応元年)十二月廿四日	大庭屋	○印・渡部屋様	状	
W7	28	34	27			覚(紙包巻つ取計候につき)	(慶応2年)四月八日	奈ら屋八兵衛(印、<ヤ>二>京都・奈良屋八兵衛)	上	状	
W7	28	34	28			覚(大豆四拾俵御受取御入帳成し下されたく願上候につき)	(慶応2年)四月朔日	大庭屋	丸印・渡邊屋様	状	
W7	28	34	29			覚(商品・品代金書上)	(慶応2年)六月十七日	五十集・佐藏	上	状	
W7	28	34	30			覚(小麦俵数書上、および御入帳成し下されたく願上候につき)	(慶応2年)五月十日	大庭屋	丸印様	状	
W7	28	34	31			覚(杉板代・大工口料など普請代金メ壹分式朱ト式百七十文勘定につき)	丑(慶応元年)七月十七日	武縁寺	上	状	
W7	28	34	32			(断簡・曆紙・御役所・加藤直助様など)	(慶応元年)			状	
W7	28	34	33							状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	28	34	34			(覚、金七拾七兩など仕切につき)	(元治2年)正月四日	渡辺屋義藏、豊吉(印、○・奥州・白石・中町・渡部屋)	中屋平兵衛・御店中様	状	
W7	28	34	35			覚(箱キツ受取につき)	(元治2年)三月五日	(印、<math>2>>京都・奈良屋八兵衛)	上	状	
W7	28	34	36			(覚、水油正味貳貫百六拾目取引につき)	子(元治元年)五月朔日			状	
W7	28	34	37			覚(油代銀十四匁など入手下されたく候につき)	申(万延元年)五月八日	新三郎(印)	最上屋平次郎様	状	
W7	28	34	38			覚(寅ノ年之分苗代年費三歩三朱受取につき)	元治二乙丑ノ二月三日	本町・直吉(印)	中町・渡辺儀藏様	状	
W7	28	34	39			覚(梁川ニ而支払分の金百兩受取につき)	巳(明治2年)二月四日	山崎屋清二郎(印)	渡辺屋義藏様	状	
W7	28	34	40			覚(品物代銀貳貫四百七十三匁受取につき)	(明治2年)二月十四日	奥幸	渡義様	状	
W7	28	34	41			(覚、遠藤新六郎様分金拾三切勘定につき)	巳(明治2年)ノ十二月	さの屋吉右衛門	渡辺屋義藏様	状	
W7	28	34	42			覚(石灰三俵代金三分二朱・貳匁受取につき)	ミ(明治2年)ノ五月十二日	越後屋兵吉(印、<math>2>>奥州・梁川・越後屋)	渡辺屋儀藏様	状	
W7	28	34	43			覚(品物代金貳切売申候につき)	丑(慶応元年)五月十三日	齋川村・八巻屋久三郎(印)	白石中町・渡辺屋儀藏様	状	
W7	28	34	44			覚(筋子八本代銭壹貫六百文など勘定につき)	丑(慶応元年)ノ十二月	佐々木吉左衛門	渡辺儀藏様、同藤兵衛様	状	
W7	28	35	1			記(三十九会目掛金五拾五錢受取につき)	卯(明治12年)一月十五日	妙見寺・世話人	渡邊儀藏様	状	
W7	28	35	2			記(五会目掛金三拾三錢受取につき)	(明治11年)十一月一日	今井又吉(印、奥州・白石・長町)	渡邊儀藏様	状	
W7	28	35	3			記(大巾・中は、メ四反御請取下されたく候、および金三門のちん拂御願上につき)	(明治)十二年二月廿二日	中町・小島	御本家・渡部旦那様	状	
W7	28	35	4			記(千代吉殿にたまり御送りくたされたく候、内金五兩御請取成されたく候につき)	寅(明治11年)ノ十一月八日	関屋権之助(印)	白石中町・渡部屋儀藏様	状	
W7	28	35	5			(覚、金廿五兩御かし下さるべく候につき)	(明治11年)			状	
W7	28	35	6			記(醤油十盃、此者へ御かし渡し下されたく候につき)	(明治11年)十二月四日	つゝみ	渡部様	状	
W7	28	35	7			(覚、金廿五兩御貸下さるべく候につき)	(明治11年)			状	
W7	28	35	8			口簿(当月二日に皮緒六拾把・山緒貳弍御預り、今日喜七郎へ駄送致させ候につき)	(明治11年)旧十二月八日	川はり・佐久間亀三郎	白石町・渡邊屋ニ而・イとの	状	
W7	28	35	9			記(たまり拾盃、此者へ御貸渡下されたく候につき)	(明治11年)旧十一月十四日	吉野柴吉(印)	渡辺儀藏様	状	
W7	28	35	10			(覚、今日米向温麵八箇指上、何卒式拾円御かし成し下されたく願上候につき)	(明治11年)旧ノ十二月廿九日	短町・大沼平次	○御店・しち場方・儀右衛門様	状	
W7	28	35	11			(書状、留治郎田畑地売買の願書御廻し下されたく候、および金貳円御拝借願上につき)	卯(明治12年)ノ一月廿八日	宮郷・斎藤周治郎(印)	中町・渡部儀藏様	状	
W7	28	35	12			記(生縮六丸、此者へ御渡し下されたく候につき)	(明治12年)一月九日	高橋弥五右衛門(印)	○渡部様	状	
W7	28	35	13			口上(此者へ醤油三盃御かし下されたく願上候につき)	(明治12年)	中町・大畑屋・上西喜平(印)	渡邊○様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形態	状態／備考
W7	28	35	14			(覚、あわせ物ヱツ、此者ニ御渡し下されたく候につき)	(明治)十二年一月十一日	高倉村・佐久間金藏(印、咲間金藏)	白石中町・渡辺儀藏様	状	
W7	28	35	15			証(メ百三十沓丕、今般直上に相成、沓升七錢式リ小買相払い申候などにつき)	(明治11年)十二月廿一日	渡辺儀藏(印)	関町・富澤権之助様	状	
W7	28	35	16			記(醬油拾沓丕違わされたく候につき)	(明治11年)旧十一月十九日	車ノ・吉ノ栄吉	渡辺儀藏様	状	
W7	28	35	17			記(紙百十五枚代金廿錢請取につき)	(明治12年)一月十三日	○紙店(印)○警城白石・渡辺儀藏(紙店)	善之助様	状	
W7	28	35	18			記(金三十円御貸し下されたく候につき)	(明治12年)			状	
W7	28	35	19			記(おりいろ上沓反御貸し下されたく候につき)	明治十二年旧正月一日	才かわ村・小野定治	白石中町・渡辺儀藏様	状	
W7	28	35	20			記(塩沓俵御かし渡成し下されたく候につき)	(明治11年)旧十月十九日	堤	渡辺様	状	
W7	28	35	21			記(たまり拾丕、御貸渡下されたく候につき)	(明治11年)旧十月十七日	中町ノ吉野栄之輔(印、吉野善知)	渡辺儀藏様	状	
W7	28	35	22			記(生楮五百目掛受取下さるべく候につき)	寅(明治11年)ノ二月十六日	蔵本村・太田清右衛門	小原村・高橋政治様	状	
W7	28	35	23			記(たまり拾丕、此者に御貸渡し下されたく願上候につき)	(明治11年)旧十月五日	吉野栄吉(印)	渡邊義藏様	状	
W7	28	35	24			(覚、渡邊分四錢六厘など合金九拾八錢四厘勘定、中澤十六ほか2名の名前などにつき)	(明治11年)		井丸・御叔父様	状	
W7	28	35	25			(書状、水戸豊蔵貸付期限日過候義、御殿責御廻し下されたく願上候につき)	(明治11年)二月廿三日	寿丸・儀藏	佐竹甚三郎様	状	
W7	28	35	26			証(大概栄吉ほか5名の金銭取調指上申候間、御取計成し下されたく願上候につき)	丑(明治10年)ノ十二月廿一日	渡辺儀藏		状	
W7	28	35	27			(書状、大巾沓立・紺ちゝみ三反・格子ちゝみ式交代金十円拜借願上候につき)	(明治10年)十月廿八日	小島	御本家・渡部翁様	状	
W7	28	35	28			記(三十八金目織代金七拾五錢受取につき)	(明治10年)十二月十五日	妙見寺・世話人(印)	渡部卯吉殿	状	
W7	28	35	29			(書状、佐竹平十郎義、私名前をもって御店物のうち御恩借願い居り候につき)	(明治11年)旧正月六日	蔵本村・源より・有田清右衛門(印)	白石中町にて・渡邊儀藏様、御店支配人中様	状	
W7	29	1				番がへ金メ扣へ・糸号ちん共二長<マ>	(明治7年)			冊	
W7	29	2				まゆかへ扣	戊(明治7年)五月			冊	付箋「まゆかい」長あり
W7	30	1				紙荷分散方控帳	慶応三年丁卯三月廿三日	渡部屋儀藏、日下屋仁右エ門		冊	
W7	30	2				地中揚方紙荷分散帳	慶應三年三月廿三日	紙問屋・三浦屋徳兵衛、後藤屋吉兵衛		冊	
W7	31	1	1			覚(二等・日付・数量書上帳)	(明治25年)七月廿八日			冊	
W7	31	1	2			(覚、三等・日付・数量書上)	(明治25年)十月七日			状	
W7	31	1	3			(覚、二等・日付・数量書上)	(明治25年)十一月十七日			状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形態	状態／備考
W7 31	2				覚(杉代金八円拾五銭など金銭勘定帳)	(明治25年)	小室倉藏(印)		冊	
W7 31	3				覚(杉五分代金七円拾弍銭五厘など諸色代金メ 拾八円七拾七銭五厘勘定につき)	(明治)廿五年一月廿六(日)	中屋倉藏		状	
W7 31	4				為換状(木羽弍拾弍枚代金壹円拾銭御渡しにつき)	明治廿九年旧十一月十八日 (印)	刈田郡七ヶ宿 関・巽 金治 (印)	渡辺太七殿	状	
W7 31	5				覚(大豆五斗入弍俵など請取成し下されたく候 につき)	(明治29年)旧三月十九日	半兵衛	○御店様	状	
W7 31	6				口伸(御馳走に相成候など御礼につき)	(明治29年・月未詳)廿日	<丸角>ニテ・貞三 <イリヤ小>塚本仲右衛門	卯吉様 渡辺儀三様	状	
W7 31	7				記(金拾八円三拾弍銭勘定につき)	(明治29年)第一月	小山(印、東京下谷區車坂町 五十三番地・小山)	白石紙店・渡辺様	状	
W7 31	8				記(紙施贖三枚代金弍円拾銭うち弍円受取につき)	(明治29年)十一月二日	大平村長・小関勇平(印)、大 平村収入役・高橋敬一郎	渡辺儀藏	状	
W7 31	9				(領收証、明治廿八年度地租田租第六期金参円拾 六銭弍リにつき)	明治廿九年四月廿五日	菊萬(印、<ヤ木>磐城・白 石・中町・菊地屋)	渡辺様	状	
W7 31	10				記(水抽壹斗代金参円六十銭請取につき)	(明治29年)十月二日	白石配紙・十二部長五郎 (印、十二部)	渡辺義藏殿	状	
W7 31	11				証(廿八年度配紙代金五拾六銭三厘など受取に つき)	明治廿九年二月廿三日	白石停車場前・<丸十>運送 店(印、<丸十>磐城国白石 停車場前・九十運送店)	佐藤多七殿	状	
W7 31	12				荷物受取証(炭百俵駄賃四円二拾銭請取につき)	明治廿九年一月十九日	関谷喜文(印)	渡辺様	状	
W7 31	13				覚(黄紙二貫八百匁代金四拾弍銭請取につき)	(明治)三十年一月七日	菊萬(印、<ヤ木>磐城・白 石・中町・菊地屋)	上様	状	
W7 31	14				記(代金壹円七拾六銭受取につき)	(明治29年)九月十七日	大鷹澤村長・〔 〕(印)	渡辺儀藏	状	破損あり
W7 31	15				(通知)人夫壹人四分出役につき)	明治廿九年六月十三日	玉幸(印、白石)	上様	状	
W7 31	16				記(御酒五本・ミかん代など諸色代金九拾四銭勘 定につき)	(明治29年)十一月廿五日	玉幸(印、白石)	上様	状	
W7 31	17				記(御酒拾六本・やき肴代など諸色代金参円五拾 七銭勘定につき)	(明治29年)十一月廿五日	玉幸(印、白石・中町)	上様	状	
W7 31	18				記(上ヶ茶碗拾五代金拾壹銭弍リ五毛請取につき)	(明治29年)十二月三十一日	信濃屋清吉(印、<丸十>刈 田・白石・中町・信濃屋)	渡邊屋様	状	
W7 31	19				記(御神酒觴十本・御茶碗壹つ代など諸色代金メ 四拾七銭五リ請取につき)	(明治29年)十二月三十一日	信濃屋清吉(印、<丸十>刈 田・白石・中町・信濃屋)	渡邊屋様	状	
W7 31	20				記(づつき十枚代金七銭請取につき)	(明治29年)十二月卅一日	八百屋喜助(印、<ヤキ>)	上	状	
W7 31	21				記(大巾壹丈弍反代金七拾八銭請取につき)	(明治29年)十月十六日	山崎屋清右衛門(印)	渡部様	状	
W7 31	22				記(琉球包紙綿入壹個東京行請取につき)	(明治29年)三月廿九日	上西陸送店(印)	渡部儀藏様	状	
W7 31	23				覚(大豆送り候間御改請取御願上候につき)	(明治29年)旧三月五日	半兵衛	○御店様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	31	24				(書状、出張先の伊達辺より近況報告につき)	(明治29年)四月廿九日	片平・機	寿丸・小旦那様、御脇	状	
W7	31	25				覚(メ拾貳百拾六枚勘定につき)	(明治29年)旧十月七日	小原村・倉藏	白石中町・多七様	状	破損あり
W7	31	26				記(田反別巻畝歩地価金貳円廿四銭など書上)	(明治29年)			状	
W7	31	27				口上(醤油壱斗五升入四本受取につき)	(明治)廿八年三月十日	梁川・中町・菅原兵吉(印)	渡辺儀藏様、御店様中	状	
W7	31	28				(書状、金壹円拜借成し下されたく候につき)	(明治29年)五月廿一日	停車場脇ノ・興左衛門	中町の・惣吉様	状	
W7	31	29				記(古山貞治郎様醤油八樽御渡し下されたく候につき)	(明治29年)旧十二月六日	富澤店(印・警成國刈田郡関驛・富澤商店)	渡辺様	状	
W7	31	30				記(御酒・魚ノ代金五拾六錢勘定につき)	(明治29年)五月十三日	盛洋庵(印・白石町字長町)	上様	状	
W7	31	31				キ(醤油拾壺御貸渡成し下されたく候につき)	(明治29年)旧八月廿一日	小原村・小室清十郎	白石中町・渡辺儀藏様	状	
W7	31	32				口上(タヅリ拾杯御持参下されたく候につき)	(明治29年)	石御店	寿丸サマ	状	
W7	31	33				(書状、昨夜御願申上候品々出金相成候につき)	(明治29年)七月廿五日	<丸角>子ノ吉	○御店様、御尊兄様	状	
W7	31	34				記(醤油樽八本御渡し下されたく候につき)	(明治29年)十二月一日	新町・小嶋清助(印、<ヤス>刈田・白石・新町・小嶋屋)	渡辺儀藏様	状	
W7	31	35				(覚、日本赤十字社第一期分納入金告知書配布につき)	明治廿九年 月拾四日	斎藤白石町長(印、斎藤)	社員・渡辺惣吉殿	状	
W7	31	36				(覚、日本赤十字社第一期分納入金告知書配布につき)	明治廿九年 月拾四日	斎藤白石町長(印、斎藤)	社員・渡辺儀藏殿	状	
W7	31	37				記(代金五円など請取につき)	明治廿九年八月十九日	警城・白石仲町・高橋甚兵衛(印)	上様	状	
W7	31	38				記(代金五銭八厘請取につき)	(明治29年)二月十九日	佐藤忠吉(印)	渡辺様	状	こより共 W7-31-38-1~4こよりに て一括
W7	31	38	2			記(代金拾八錢請取につき)	(明治29年)旧正月十九日	米竹(印、<ツル山>白石・中町・山崎屋)	上様	状	
W7	31	38	3			記(代金拾貳錢請取につき)	(明治29年)十二月十三日	日下栄川(印)	仲町御中様	状	
W7	31	38	4			しるし(豆腐代金三拾六錢受取につき)	(明治29年)二月十三日	こめ屋(印)	○様	状	
W7	31	39				(書状、親父亦重郎重産につき)	(明治)廿九年七月六日	津田亦太郎	渡辺儀藏様、御廩中様	状	
W7	31	40				覚(生り沓本代など諸色代金メ壹円拾三銭五リ請取につき)	(明治29年)旧七月六日	庄保	渡部様	状	
W7	31	41				(書状、今明日のうちに罷出相願うべき心得につき)	(明治29年)五月四日			状	後欠カ、破損あり
W7	31	42				(書状、御相談致したく、此書面着次第御出張成し下されたく候につき)	(明治29年)二月十一日	佐藤幸治、同善治	川村儀三郎様、佐藤彦三郎様	状	後欠
W7	31	43				(書状案、願置き候田地の義、佐久間作平の方より御取り戻しの上、小生へ御立附下されたく候につき)	(明治29年)旧二月廿三日	佐久間寅松	白石中町ニテ、渡部惣吉様	状	破損あり

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	32	1				証(雪ひらさつ・炭式俵代など諸色代金壹円ト六錢三厘・式口合メ三円拾九錢弍リ勘定につき)	ウ(明治12年)ノ一月	渡部徳左衛門	渡部儀藏様	状	こより共
W7	32	2				記(塩六俵代金拾七円四十二錢請取につき)	(明治11年)八月三十一日	名取屋庄五郎	渡部儀藏様	状	
W7	32	3				記(塩百俵代金六十八円七十五錢受取につき)	(明治11年)八月廿七日	加川直助(印、<カ>加>仙臺・角田・加川屋)	金藏様	状	
W7	32	4				記(赤魚壹本・平免壹枚代など諸色代金合メ五円七拾貳錢七リ五毛請取につき)	(明治11年)八月			状	破損あり
W7	32	5				送り状(塩拾五俵代金五十円だけ今日御送り成され候につき)	(明治11年)八月廿五日	渡部留之助(印、<ヤ>ト>亘理・五日町・渡留)	白石中町・渡部儀藏様	状	
W7	32	6				(書状、塩十八俵相送り申候、代金十貳円十四錢御送り下され入帳仕候などにつき)	(明治11年)八月廿四日	渡邊屋留之助(印、<ヤ>ト>亘理・五日町・渡留)	渡部儀藏様、御店中様	状	
W7	32	7				記(くわゐ四十・あふみ百枚代など諸色代金メ貳円六拾九錢六リ請取につき)	(明治11年)旧七月十四日	八百や忠吉	渡部義藏様	状	
W7	32	8				記(生水皆掛壹貫三拾匁代金貳円三十四錢五リ差上につき)	(明治11年)八月七日	みまつ屋	渡部儀藏様	状	
W7	32	9				覚(東京夕雜生迄運賃・琉球壹枚代など諸色代金メ七十錢四厘五毛勘定につき)	(明治)十一年八月	菅野屋圓二郎	寿丸・御店中様	状	
W7	32	10				記(わらひ上代など諸色代金メ十五錢三リ勘定につき)	(明治11年)八月廿四日	安藤や栄藏	○様	状	
W7	32	11				記(水油三貫百八十目代金貳圓三拾三錢八リ請取につき)	(明治11年)八月廿四日	菊地屋萬五郎	渡邊儀藏様	状	
W7	32	12				記(まつぶくり代金六錢請取につき)	(明治11年)八月十五日	<ヤ>正>(印、<ヤ>正>磐城・白石本町・菅野庄五郎・荒物類御)	○御印様	状	
W7	32	13				記(拾壹貳拾代など諸色代金メ貳圓五拾錢勘定につき)	(明治11年)七月十八日	森合・高橋平治	渡邊儀藏様	状	
W7	32	14				記(つむき直し紋付壹反代など諸色代金メ七拾七錢五リ請取につき)	(明治)十一年七月	梁屋萬兵衛(印)	渡部儀藏様	状	
W7	32	15				送り状(塩五俵代金五円七十五錢御渡し下されたく候につき)	(明治11年)八月一日	渡部留之助(印、<ヤ>ト>亘理・五日町・渡留)	渡部儀藏様	状	
W7	32	16				記(塩三拾俵代金廿貳円請取につき)	(明治11年)			状	
W7	32	17				証(塩六俵代金五圓請取につき)	寅(明治11年)七月廿九日	斎藤利輔(印、<カ>吉>丸森・本町・斎藤屋)	上様	状	
W7	32	18				記(塩十俵代金、此者へ御渡し下さるべく候につき)	(明治11年)七月廿一日	渡部留之助(印、<ヤ>ト>亘理・五日町・渡留)	山崎源四郎様	状	
W7	32	19				送り状(塩五俵)	(明治11年)五月廿三日	渡部留之助(印、<ヤ>ト>亘理・五日町・渡留)	渡邊儀藏様	状	
W7	32	20				記(相馬塩貳式俵代金拾貳円十錢勘定につき)	(明治11年)五月廿五日	渡留	寿丸・御店様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	32	21				(書状、地塩相送り申候処、只今何角困入申し、外完致すなどにつき)	(明治11年)五月廿五日	亘りふ・渡部留之助	白石中町二而・渡邊儀藏様	状	
W7	32	22				証(塩麴五駄代金三拾圓受取につき)	(明治)十一年五月三日	菊池庄之助(印)	渡邊儀藏様	状	
W7	32	23				記(醤油粕三百六拾貫目代金七円弍拾せん請取につき)	(明治11年)五月二日	大沼屋庄七(印、<ヤ正>)	白石・渡部儀藏様	状	
W7	32	24				記(水油皆掛三貫百五十目代金弍圓七拾三錢九リ勘定につき)	(明治11年)四月廿四日	菊萬(印、磐城・白石・中町・菊地屋)	渡部儀藏様	状	
W7	32	25				証(祭方割合金七圓四十毫錢八リ請取につき)	(明治11年)四月廿二日	鎌田養五郎(印、<ヤ水>磐城・白石・中町・菊地屋)	渡邊儀藏様	状	
W7	32	26				記(三拾會目掛金七拾五錢受取につき)	(明治11年)四月十五日	妙見寺・世話人(印)	渡邊外吉殿	状	
W7	32	27				記(大豆拾壹石四斗代金四拾三圓拾七錢余請取につき)	(明治11年)二月十三日	岩瀬新助(印、奥州・白石)	渡部様	状	
W7	32	28				記(売上代金メ四十四錢二リ請取につき)	(明治11年)五月十七日	はたこや(印)	上様	状	
W7	32	29				記(ます壹本代など諸色代金メ壹圓四十九錢八リ請取につき)	(明治11年)二月廿五日	本町・水戸や豊藏(印、水豊)	中町・渡邊儀藏様	状	
W7	32	30				記(玉子十代金六錢勘定につき)	(明治11年)九月四日	鈴木屋儀四郎	寿丸御中様	状	
W7	32	31				(寛、式尺七寸羽釜壹ツ代金拾六円請取につき)	(明治11年)旧三月五日	中町・銅屋・本多左馬介	中町・渡邊様	状	
W7	32	32				記(廿八會目掛金七拾五錢受取につき)	(明治11年)二月十五日	妙見寺・世話人(印)	渡邊外吉殿	状	
W7	32	33				記(代金十九錢五リ勘定につき)	(明治11年)三月三日	豊藏(印、水豊)	渡辺〇御印様	状	
W7	32	34				証(染替し壹反代など諸色代金メ弍圓拾弍錢八リ勘定につき)	外(明治12年)一月	渡部伊左衛門	渡邊儀藏様	状	
W7	32	35				記(大豆五石七斗代金廿壹円十五錢勘定につき)	(明治11年)十二月八日	大田屋勇助(印、<ヤ十>白石・短町)	渡辺義藏様	状	
W7	32	36				記送状(亘利渡部留之助、相馬塩四俵、此賃金三拾五錢につき)	(明治11年)四月四日	金山原川舟會社・竹谷利右衛門(印、<ヤ林>→仙臺・角田・竹屋)	白石中町・渡部儀藏殿行	状	
W7	32	37				覚(書物弍冊代など諸色代金七円七錢七リ勘定につき)	(明治11年)六月	<井丸>	〇御本家様	状	
W7	32	38				記(水油代金弍圓四十五錢勘定につき)	(明治11年)十月廿七日	菊萬(印、白石中町)	〇様	状	
W7	32	39				記(生水皆掛三貫四百三十匁代金弍圓四十五錢勘定につき)	(明治11年)十月廿五日	菊萬	〇様	状	
W7	32	40				記(清治郎様妻持一枚代など諸色代金メ五十弍錢七リ五毛勘定につき)	(明治11年)旧八月六日	本町・水戸屋豊藏(印、水豊)	中町・渡邊儀藏様	状	
W7	32	41				記(五分板拾弍間御受取、上たまり拾はい、みそ壹、此者へ御わたし下さるべく候につき)	(明治11年)九月七日	大原山・源之介(印)	中町・わたへ様	状	
W7	33	1				(覚、先日借用之綿拾貫七百文受取成さるべく候につき)	(明治11年)十一月三十日	庄姿	甚藏様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	33	2				証(御用之金拾圓請求につき)	とら(明治11年)九月廿五日	渡辺儀藏(印)	佐竹喜幸治様、菊地幸太郎様	状	
W7	33	3				指入金子請求証券(証券指入金拾円御渡シ下されたくにつき)	(明治)十一年十二月一日	斎藤関治郎	渡辺儀藏様	状	
W7	33	4				証(差包請求につき)	(明治11年)十一月廿二日	渡辺儀藏(印)	宮驛會社御中	状	
W7	33	5				記(生醬油三本代金壹円四拾錢請求につき)	寅(明治11年)十一月六日	渡辺屋儀藏(印)	上	状	
W7	33	6				口上(御拝借仕居候金の儀、此度少々御座候などにつき)	(明治)十一年十月三十一日	山方・佐平	寿丸御主人様	状	
W7	33	7				(書状、拝借金之内四拾圓送り上候につき)	(明治11年)二月廿六日	松本	渡辺様	状	
W7	33	8				(書状、金貳円御貸し下されたく候につき)	(明治11年)旧十一月七日	斎藤関治郎	中町・渡辺儀藏様	状	
W7	33	9				(書状、昨夜御願上候○印拾円だけ御拝借願上候につき)	(明治11年)十二月十一日	あこしまや栄治郎(印)	○御兄様	状	
W7	33	10				記(金三円御貸し下されたく候につき)	(明治12年)一月十七日	斎藤関治郎(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	34	1				(付札、丑ノ年東京宇都宮書状并指引書共寅二月十二日改)	寅(明治11年)二月十二日			状	
W7	34	2				(断簡)	(明治11年)		○様	状	
W7	34	3				(書状、都廿店之儀につき)	(明治11年)			状	
W7	34	4				(書状、極上々中包など品物直段につき)	(明治11年)二月九日	小西弥七	渡辺屋儀藏様、甚藏様、御店中様	状	
W7	34	5				(書状、<井〇>様へ為替手形相渡申候内、金七百円御店様分之由につき)	(明治11年)二月七日	佐野屋丹兵衛(ほか2名)	渡辺屋儀藏様、御店中様	状	
W7	34	6				(書状、金七中・六円五十錢など直段につき)	(明治11年)一月十九日	長山三・長谷川次郎兵衛(ほか2名)(印)	渡辺儀藏様、御店衆中様	状	
W7	34	7				(書状、地田ふき太糸三十九匁などよろしく御承引成し下されたく候につき)	(明治11年)一月九日	さの屋丹二郎、徳助	渡辺屋儀藏様、甚藏様、御店衆中様	状	
W7	34	8				(はがき、本日大傳馬町<長ヤ三>御店より金百七拾五圓受取入候につき)	(明治11年)一月八日	東京本町三丁目・小西弥七(印、<か久>本町・三丁目)	磐城国白石中町・渡辺儀藏様、御店中様	状	
W7	34	9				(書状、金五十円入帳仕候につき)	(明治11年)一月八日	長山三・長谷川次郎兵衛(印、長山三・大傳馬一・金錢不用・長谷川)	渡辺儀藏様、惣吉様	状	
W7	34	10				(書状、新年之御慶日出度申調候につき)	(明治11年)一月二日	佐野屋丹兵衛(ほか3名)	渡辺屋儀藏様、御尊店衆中様	状	
W7	34	11				(はがき、本月三日出荷申上候が、無事着御案内にて安意仕候などにつき)	(明治10年)12月21日)	野州・宇都宮・佐野屋久右衛門、元七	磐城白石・渡部屋儀藏様、惣吉様	状	
W7	34	12				(覚、本年差引書別紙の通り加封仕候につき)	(明治10年)十二月廿一日	丁子や甚兵衛	渡辺儀藏様	状	
W7	34	13				(はがき、過日出荷申上候品運賃廿四錢につき)	(明治10年)十二月廿一日	東京唐物屋・丁子や甚兵衛	磐城白石・渡辺儀藏様行	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	34	14				(書状、古新式反六分など到来、および一分紙三十一円など報知につき)	(明治10年)十二月廿六日	長山三・次郎兵衛、半七(印、長山三・大傳馬一・金錢不用・長谷川)	渡辺屋儀藏様、甚藏様(○様)	状	
W7	34	15				(書状、例の通り差引書相認め貴覽に入候につき)	(明治10年)十二月廿六日	佐野丹兵衛(ほか2名)	渡辺屋儀藏様、甚藏様、御店中様(○サマ)	状	
W7	34	16				(書状、兼而取合壹個半田庄五郎持行送りの品御不用の趣承り、右品御預り置御出精御売捌キの程懇願につき)	(明治10年)十二月廿五日	佐野屋久右衛門、元七	渡辺屋儀藏様、惣吉様	状	
W7	34	17				(書状、貴殿御品切のため別紙の通り夫々上風取計ひ積入申候につき)	(明治10年)十二月廿六日	丁子や甚兵衛、健二郎	渡辺儀藏様、惣吉様(○さま)	状	
W7	34	18				(書状、御用向之分別紙調書にて御引合成立下されたく願上候、および相替わらず古手・仕立物出精罷在御品物なども御申越下されたく候につき)	(明治10年)十二月廿二日	佐野屋丹兵衛、直七	渡邊屋儀藏様、御尊店中様	状	
W7	34	19				(はがき、兼而御積入品代金四、五日中に通運会社へ金円御差立之由御札につき)	(明治10年)十二月廿一日	東京本町三・小西弥七(印)	磐城国白石・渡辺儀藏様、御同君様	状	
W7	34	20				(はがき、過日御注文の品々出荷につき)	(明治10年)十月廿八日	丁甚・健二郎	磐城白石・渡邊儀藏様、惣吉様	状	
W7	34	21				(はがき、兼而御注文の品近々着舟次第御出荷申上候につき)	(明治10年)十月十八日	長谷川次郎吉、さる八(印)	磐城国白石・渡部屋儀藏様	状	
W7	34	22				(書状、館林しま、此者へ御渡し成し下されたく候につき)	(明治10年)七月十五日	<カ>店・栄作	渡部儀藏様、御尊店衆中	状	
W7	34	23				(書状、先頃中、太島取合壹個御調達申上候、安着御一覽成し下され候につき)	(明治10年)十二月十五日	佐野屋久右衛門、元七	渡辺屋佐吉様、甚藏様(○サマ)	状	
W7	34	24				(はがき、兼而御注文、荷物不足の義、道中・下店とも間違ひもこれ無く候などにつき)	(明治10年)十二月九日	長山三・次郎兵衛、林七(印、長山三・大傳馬一・金錢不用・長谷川)	磐城白石・渡邊義藏様、甚藏殿	状	
W7	34	25				(はがき、極上・並白など商品御案内につき)	(明治10年)十二月八日	東京本町三・小西弥七(印、<カ>本町・三丁目)	磐城国白石・渡邊儀藏様、甚藏様	状	
W7	34	26				(書状、過日御送り申上候品物・仕切表共紛失のため早速取調仕切再写し加封差上候につき)	(明治10年)十二月五日	丁子屋甚兵衛、健二郎	渡邊儀藏様、御店衆中様	状	
W7	34	27				(はがき、佐野屋久右衛門殿出○送口古物壹個、当社半田庄五郎持にて御運送申上候につき)	(明治10年)十二月四日	内國通運會社・宇都宮分社(印)	磐城白石・渡辺屋儀藏様	状	
W7	34	28				(書状、此程は如何様に御座候哉、少々計御見籠旁取合差上、および去月申上候通り諸大物落直の様子などにつき)	(明治10年)十二月四日	佐野屋久右衛門、元七	渡辺屋儀藏様、御尊店衆中様(○サマ)	状	
W7	34	29				(書状、サラメなど諸商品御案内につき)	(明治10年)十一月四日	大文字や庄六、儀助	渡邊儀藏様、御店中様(○様)	状	
W7	34	30				(書状、此元過ル十六日・十八日出ヲ以安藤様へ御送り、および新二丹ハ百式十など成行申上候につき)	(明治10年)十一月廿六日	長山三・次郎兵衛、林七(印、長山三・大傳馬一・金錢不用・長谷川)	渡辺儀造様、甚藏様(○様)	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	34	31				(書状、先頃中<カロ>様行書状加封仕、および諸太物国方にも品不足などにつき)	(明治10年)十一月廿三日	佐野屋久右衛門、元七	渡辺屋儀藏様、御尊店衆中様(○サマ)	状	
W7	34	32				(はがき、今般書付拜領、百七拾弍弍五分差引方修正につき)	(明治10年)十一月廿日	東京大傳馬、佐野屋丹兵衛	磐城白石驛・渡邊屋儀藏様	状	
W7	34	33				(書状、先便送り申上候品のうち頭巾の義、下店心持遣いにつき)	(明治10年)十一月十八日	丁子屋甚兵衛、健二郎	渡辺儀藏様、甚藏様	状	
W7	34	34				(書状、過ル十六日出ヲ以安藤栄次郎様へ御用済、および先月中御出荷申上候丹治惣六持荷物無事着御入記下され候などにつき)	(明治10年)十一月十八日	長山三・次郎兵衛、林七(印、長山三・大傳馬一・金錢不用・長谷川)	渡辺儀藏様、甚藏様	状	
W7	34	35				(書状、新五砂未タ多分入荷も御座無く、唐物るいさし而高下無く候などにつき)	(明治10年)十一月十七日	小西弥七	渡邊屋儀藏様、甚藏様、御店中様(○様)	状	
W7	34	36				(書状、御便りにて仰せ付けられ下され御札、別紙仕切書の通り御引合御入帳下さるべく候につき)	(明治10年)十一月十七日	佐野や丹兵衛(ほか2名)	渡邊儀藏様(ほか2名)(○様)	状	
W7	34	37				(書状、先達而御出之分御請申上候、其外安藤栄治郎様行金百円相渡したく候につき)	(明治10年)十一月十六日	長山三・次郎兵衛、林七(印、長山三・大傳馬一・金錢不用・長谷川)	渡辺義藏様、甚藏様	状	
W7	34	38				(書状、貴地御景氣之処如何され御座候哉、および何ぞ冬もの類格別御引立仰せ付けらるべく候につき)	(明治10年)十一月十五日	さの屋丹兵衛、徳助	渡邊屋儀藏様、甚造様、御店衆中様	状	
W7	34	39				(書状、兼而仰せの品物御伺申上候、および積荷式御積付書同封につき)	(明治10年)十一月十三日	佐野屋丹兵衛(ほか2名)	渡邊屋儀藏様、甚藏様、御尊店中様	状	
W7	34	40				(書状、先便御伺旁地築物相庭書差上候につき)	(明治)十年十一月十三日	佐野屋久右衛門、元七	渡辺屋儀藏様、甚藏様、御尊店衆中様	状	
W7	34	41				(書状、貴地安藤屋栄治郎様御出府にて今日尊店様殘金御渡し下され候につき)	(明治10年)十一月十日	伊勢屋利平、直七(印、<ヤ正>)	渡辺儀藏様、甚藏様(○様)	状	
W7	34	42				(書状、尊地成行如何様二御座候哉、古新中打三十三夕・龍ヶ崎蒲団島など地築物相庭申上候につき)	(明治)十年十一月九日	佐野屋久右衛門、元七	渡辺屋儀藏様、御尊店衆中様	状	
W7	34	43				(書状、此度御親類安藤栄二郎様行金百圓入手仕、直様御渡し下さるべく候につき)	(明治10年)十一月九日	長山三・次郎兵衛、林七(印、長山三・大傳馬一・金錢不用・長谷川)	渡辺儀造様、甚藏様	状	
W7	34	44				(はがき、新和五砂少々入荷仕候、当今サラム無く大舟二而見当直様承引下さるべく候につき)	(明治10年)十一月五日	東京本町三丁目・小西弥七(印、<カ久>本町・三丁目)	磐城白石中町・渡邊屋儀藏様、甚藏様	状	
W7	34	45				(はがき、先般<井>>御奥様御依頼の品代金百五十円などにつき)	(明治10年)十一月五日	東京大傳馬、佐野屋丹兵衛	磐城白石驛・渡邊屋儀藏様	状	
W7	34	46				(書状、御店様へ御届方、且又<井丸>行書状迄通御座候につき)	(明治10年)十一月二日	忠七	甚藏様	状	
W7	34	47				(書状、注文残り分別紙之通り追而御入帳成し下さるべく候、引続キ御注文之処伏而願上につき)	(明治10年)十一月二日	佐野屋丹兵衛(ほか2名)	渡邊屋儀藏様、甚藏様、御尊店中様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形態	状態／備考
W7	34	48				(書状、兼而御注文之品出荷御案内御達し成し下され候などにつき)	(明治10年)十月二五日	東京大傳馬・佐野屋丹兵衛、直七	磐城白石・渡邊儀藏様、惣吉様	状	
W7	34	49				(書状、御注文御仕切書之通り御調達申上などにつき)	(明治10年)十月廿二日	角・吉田丹兵衛(ほか2名)(角<リヤ木>)	渡邊儀藏様、甚三様、御尊店中様(○様)	状	
W7	34	50				(書状、御注文御送り金九拾壹円七拾七錢五厘入帳仕候<カナ><リヤ木>右御向家へ相違無く御届ケ申上候につき)	(明治10年)十月廿三日	玉屋長藏(印、<ヤ六>野州・宇都宮寺町・玉屋長藏)	渡辺屋儀藏様、甚藏様	状	
W7	34	51				(書状、過日十四日福嶋才料出荷仕候につき)	(明治10年)十月廿三日	いせや利平(印、<ヤ平>堀江巻・金銀不用・伊勢屋)、直七	渡邊儀藏様、甚藏様	状	
W7	34	52				(書状、御注文過ル廿日無事着仕候ほか御品違などにつき)	(明治10年)十月廿三日	長谷川次郎兵衛(印、<ヤ三>金銀不用・長谷川)代・友七	渡邊屋儀藏様、御店衆中様	状	
W7	34	53				(書状、此度御品切物あり、定而近日貴着相成、および品切の物書上につき)	(明治10年)十月廿一日	丁子や甚兵衛、健二郎	渡邊儀藏様(ほか2名)	状	
W7	34	54				(ほかぎ、金百八十円正二相渡り入帳仕候間、御品切物御注文仰せ付けられたく懇願につき)	(明治10年)十月十七日	野州宇都宮・佐野屋久兵衛、元七	磐城白石・渡辺屋儀藏様、甚藏様	状	
W7	34	55				(ほかぎ、永楽丸御案内につき)	(明治10年)十月十八日	東京小園巻・大石平道	磐城白石・渡辺儀藏様、御店衆中様	状	
W7	34	56				(書状、当地玉屋長藏殿方分代金六拾六円余受取・記帳仕候につき)	(明治10年)十月十七日	佐野屋丹一郎、徳助(印、<リヤ木>野州・宇都宮・寺町・佐野屋丹一郎)	渡辺屋儀藏様、甚藏様、御店衆中様	状	
W7	34	57				(書状、御注文分御不残別紙仕切書之通り御送りにつき)	(明治10年)十月十六日	佐野屋丹兵衛(ほか2名)	渡辺屋儀藏様、甚藏様、御尊店中様	状	
W7	34	58				(書状、御注文残り分、井丸御店様へ御送上候につき)	(明治10年)十月十五日	長谷川次郎兵衛、林七(印)	渡辺儀藏様、甚藏様	状	
W7	34	59				(書状、井丸御店様より金百円請取につき)	(明治10年)十月十二日	長谷川次郎兵衛、林七(印)	渡辺儀造様、甚藏様	状	
W7	34	60				(書状、金八十円請取入帳につき)	(明治10年)十月十日	佐野屋久右衛門、定七	渡辺屋儀藏様、甚藏様	状	
W7	34	61				(書状、<井〇>御主人様御登御道中御機嫌克、当地御安着相成、早速御見舞成し下され候につき)	(明治10年)十月十一日	伊勢屋利平、直七(印)	渡辺儀藏様、甚藏様	状	
W7	34	62				(書状、御荷物帆前舟二而ハ延着不都合のため蒸気船積み仰せ聞かされ御尤之御儀二存じ奉り候につき)	(明治10年10月)			状	
W7	34	63				(書状、荷物出荷之義帆前舟二而不都合などにつき)	(明治10年)十月十日	長山三・次郎兵衛、林七(印、長山三・大傳馬一・金銭不用・長谷川)	渡辺儀藏様、甚藏様	状	
W7	34	64				(書状、長谷川治郎兵衛殿為替代金百五十円受取につき)	(明治10年)十月十日	小西弥七	○御主人様、甚藏様、御店中様	状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形態	状態／備考
W7 34	65				郵便はかき(御伺旁申上のはか御礼につき)	(明治10年)十月十日	東京本町三丁目・小西弥七 (印)	磐城白石中町・○渡辺屋儀 蔵様、甚蔵様、御店中様	状	
W7 34	66				(書状、新細初荷之儀目出度入津につき)	(明治10年)十月七日	長山三・次郎兵衛、林七(印)	渡辺儀蔵様、甚蔵様	状	
W7 34	67				(書状、過日井丸御店様分金六百日為替 相送り候につき)	(明治10年)十月七日	長山三・次郎兵衛、林七	渡辺儀蔵様、甚蔵様	状	
W7 34	68				(書状、春中御願上候太物代金受取り違ひにつき)	(明治10年)九月廿三日	長山三・次郎兵衛、林七	渡辺儀蔵様、甚蔵様	状	
W7 34	69				(書状、御考之上御品切物など御用向仰せ付け られたく候につき)	(明治10年)九月廿一日	佐野屋久右衛門、定七	渡辺儀蔵様、甚蔵様	状	
W7 34	70				(書状、尾丹七百八十など御注文仰せ付けられ下 されたく候につき)	(明治10年)九月九日	長山三・次郎平、林七(印、長 山三・大傳馬一・金銭不用・ 長谷川)	渡辺儀蔵様、甚蔵様	状	
W7 34	71				(書状、御品書上、御品切御注文下されたく候に つき)	(明治10年)八月廿六日	長山三・次郎兵衛、林七(印、 長山三・大傳馬一・金銭不 用・長谷川)	渡邊儀蔵様、甚蔵様(○様)	状	
W7 34	72				(書状、過日御注文仰せ付けられ候品々不残取り 揃え出荷仕候につき)	(明治10年)八月廿日	伊勢屋利平、直七	渡邊儀蔵様、甚蔵様	状	
W7 34	73				(書状、何卒高直致したく懸安仕候、および先今 相場直段書上につき)	(明治10年)	吉野五三郎	渡部儀蔵様	状	
W7 34	74				(書状、調書再応調申上、御引合駄賃何卒御勘弁 成し下されたく候につき)	(明治10年)八月十七日	佐野屋久右衛門、元七	渡辺屋儀蔵様、甚蔵様(○サ マ)	状	
W7 34	75				(書状、伊勢屋利兵衛太物入小箱、八月十六日出帆 積入無事着御改請取下されたく御案内につき)	(明治10年)八月十七日	(印、東京・菱垣廻船<カヤ> 玉置)	盤城白石・渡辺儀蔵様	状	
W7 34	76				(書状、生糸・針など品物書上につき)	(明治10年)八月十一日	長山三・次郎兵衛、林七(印、 長山三・大傳馬一・金銭不 用・長谷川)	渡辺儀蔵様、甚蔵様	状	
W7 34	77				(書状、堀江町伊勢利様分金五十八円八拾錢受取 入帳仕候につき)	(明治10年)八月三日	東京本町三・小西弥七(印、 <カネ久>本町・三丁目)	磐城白石中町・渡辺儀蔵様、 甚蔵様、御店中様	状	
W7 34	78				(書状、いせ屋利兵衛殿分残り金四拾円九十錢壹 厘相届キ入帳仕候などにつき)	(明治10年)八月三日	大文字屋庄六、(畑)新兵衛	渡邊屋儀蔵様、甚蔵様	状	
W7 34	79				(書状、未夕出船無く御注文之品積方出来申さず につき)	(明治10年)八月一日	大文字や庄六、儀助	渡邊儀蔵様、御店中様(○ 様)	状	
W7 34	80				(はがき、荷物出仕くれ候様伊せ利殿方申候など につき)	丑(明治10年)ノ八月六日	東京真通小嶋・吉澤平六	盤城国白石中町・渡部屋儀 造様	状	
W7 34	81				(はがき、御注文之品々仰せの如く、いせ利殿方 へ御届ケ申上候につき)	(明治10年)八月三日	杉村甚兵衛、健二郎	磐城白石・渡邊儀蔵様	状	
W7 34	82				(書状、十四日出ヲ以御伺旁成行御達申上候、其 後くり綿など気配追々引メリ候につき)	(明治10年)七月廿六日	長山三・次郎兵衛、林七(印、 長山三・大傳馬一・金銭不 用・長谷川)	渡辺儀蔵様、甚蔵様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形態	状態／備考
W7	34	83				(書状、諸大物追々気配強ク御座候、三州白飛上りなど御掛引御売捌キ、および實地迎生糸如何様ニ御座候哉につき)	(明治10年)七月廿四日	佐野屋久右衛門、元七	渡邊屋儀藏様、甚藏様、御尊店衆中様(○サマ)	状	
W7	34	84				(書状、今日配揃<ヤヤ平>御店へ御届申上候、代金三拾五円御店より御渡し下され候につき)	(明治10年)七月廿四日	丁子屋甚兵衛、健二郎	渡辺儀藏様、甚藏様	状	
W7	34	85				(書状、御座物なども追々御取引ニ相成、昨今至而夏ものも元々品不足のところ御かけ引成さるべく候につき)	(明治10年)七月十九日	さの屋丹兵衛、徳助	渡邊屋儀造様、甚藏様、御店衆中様	状	
W7	34	86				(書状、大物調書別紙にて蓋上、御入手御引合下されたく、および三丹上銘六百六十五日など相場直段報知につき)	(明治10年)七月十四日	長山三・次郎兵衛、林七(印、長山三・大傳馬一・金錢不用・長谷川)	渡辺儀造様、甚藏様(○サマ)	状	
W7	34	87				(書状、過日荷物のうち買付御座無く不調法のため偏ニ御海容願上候などにつき)	(明治10年)七月十二日	さのや久右衛門、元七	渡邊儀三様、甚藏様、御店中様(○御店中)	状	
W7	34	88				(書状、三州上銘六百六十五日など相場成行報知につき)	(明治10年)七月六日	長山三・次郎兵衛、林七	渡辺屋儀造様、甚藏様(○サマ)	状	
W7	34	89				(書状、例之通宗調書別紙相認め同封貴覧入候につき)	(明治10年)七月十三日	佐野屋丹兵衛(<リヤヤ木>)	渡辺屋儀藏様、甚藏様、御店衆中様(○様)	状	
W7	34	90				(書状、唐糸百円内外など諸商品成行申上候につき)	(明治10年)六月廿二日	長山三・次郎兵衛、林七(印、長山三・大傳馬一・金錢不用・長谷川)	渡辺儀造様、甚藏様(○サマ)	状	
W7	34	91				(書状、此程ハ御国産養蚕大当り噂にて、今般利口物見抜別紙直段出精などにつき)	(明治10年)六月十七日	佐野屋久右衛門、元七	渡辺屋儀藏様、御尊店衆中様(○サマ)	状	
W7	34	92				(書状、尾丹七百廿五目など相場成行報知につき)	(明治10年)六月十五日	長山三・次郎兵衛、林七(印、長山三・大傳馬一・金錢不用・長谷川)	渡辺儀造様、甚藏様	状	
W7	34	93				(書状、当音物之儀是非御用向仰せ付けられたく候につき)	(明治10年)六月十三日	玉屋長藏、文六	渡辺儀藏様、御店中様	状	
W7	34	94				(書状、中打三拾弍匁など相場成行報知につき)	(明治10年)五月二十一日	長山三・次郎兵衛、林七(印、長山三・大傳馬一・金錢不用・長谷川)	渡辺儀造様、甚藏様	状	
W7	34	95				(はがき、並白・サラムなど諸商品御案内につき)	(明治10年)五月廿六日	東京本町三・小西弥七(印、<ホホ久>本町・三丁目・小西弥)	磐城白石・渡邊儀藏様、甚藏様	状	
W7	34	96				(書状、儀藏様御病氣のところ種々御薬用・御養生も相叶わず十一日午後三時御死去につき)	(明治10年)五月十八日	玉屋長藏、文六	渡辺甚藏様	状	
W7	34	97				(書状、兼而御注文の品々<井〇>御店荷物へ加入仕候につき)	(明治10年)五月十五日	長山三・次郎兵衛、林七(印、長山三・大傳馬一・金錢不用・長谷川)	渡辺儀造様、甚藏様(○サマ)	状	
W7	34	98				(書状、貴家御主君様此項中御不快にて過日宗三郎様より承知仕候につき)	(明治10年)五月十四日	佐野屋丹兵衛(ほか2名)	渡邊屋儀藏様、甚藏様、御尊店中様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	34	99				(書状、儀藏様御儀承知仕度などにつき)	(明治10年)五月十一日	長山三・次郎兵衛、林七(印、長山三・大傳馬一・金錢不用・長谷川)	渡辺儀造様、甚藏様	状	
W7	34	100				(はがき、先便の正金七十円、今日無事着任につき)	(明治10年)五月十九日	<大上>日本橋通四丁目・大文字屋治兵衛 佐野屋丹兵衛(まか2名)(<印付木>)	磐城白石・渡邊弥儀藏様	状	
W7	34	101				(書状、御新店宗三郎様御仕入および御用向のため御出府につき)	(明治10年)五月八日	佐野屋丹兵衛(まか2名)(<印付木>)	渡邊屋儀藏様、甚藏様、御尊 店中様(○サマ)	状	
W7	34	102				(書状、木綿縮新色中など成行相場報知につき)	(明治10年)五月六日	佐野屋久右衛門、元七	渡邊屋儀藏様、甚藏様、御尊 店中様	状	
W7	34	103				(書状、糸方成行、太物御品切御注文之儀につき)	(明治10年)五月二日	<井>○・莊三郎	御本家御叔父様、甚藏様	状	
W7	34	104				(書状、唐綿志貫目内外など相場成行報知につき)	(明治10年)五月二日	長山三・次郎兵衛、林七(印、長山三・大傳馬一・金錢不用・長谷川)	渡辺儀藏様、甚藏様	状	
W7	34	105				(書状、御注文之品今日御積入申上につき)	(明治10年)四月廿九日	大文字屋庄六、新兵衛	渡辺屋儀藏様、御店中	状	
W7	34	106				(書状、<井>○宗三郎様御見分成し下され候、鵬翔丸積、玉置方へ出荷仕候などにつき)	(明治10年)四月廿九日	いせや利平、直七	渡邊儀藏様、甚藏様	状	
W7	34	107				(はがき、品切御用向出帆次第御出荷申上のごろ未タ申し上げざるにつき)	(明治10年)四月十六日	東京本町三・小西弥七(印、<弥久>本町・三丁目・小西弥)	磐城白石中町・渡邊儀藏様、甚藏様	状	
W7	34	108				(書状、先便御積入申上候品々無事荷揃之由仰せ聞かされ候、および御注文品書上につき)	(明治10年)四月廿六日	大文字屋庄六、新兵衛	渡邊屋儀藏様、甚藏様、御店中(○様)	状	
W7	34	109				(書状、此度御注文の品別紙之通り取纏め、いせ利平方へ御廻合願上候につき)	(明治10年)四月廿四日	丁子や甚兵衛、健二郎	渡辺儀藏様、甚藏様	状	2紙1点
W7	34	110				(書状、兼而願上候品代金四百五十円<井>○宗三郎殿名正二人帳仕候、そのうち過上金七拾壹円三錢九厘六毛<井>○惣三郎様へ御渡し申上候につき)	(明治10年)四月廿四日	長山三・長谷川次郎兵衛、林七(印、長山三・大傳馬一・金錢不用・長谷川)	渡辺義藏様、甚藏様(○サマ)	状	2紙1点
W7	34	111				(書状、<井>○宗三郎様御尊来下され尊店様分中打手拭御見ぬけ成し下され取合志箇にて昨日蒸気積ヲ以玉置方へ出荷仕候につき)	(明治10年)四月廿一日	いせや利平、正七	渡邊儀藏様、甚藏様、御店中様	状	
W7	34	112				(書状、此度<井>○惣三郎様上り金四百五拾円、貴店様分ニ而正ニ請取入帳仕候につき)	(明治10年)四月十九日	長山三・長谷川次郎兵衛(まか2名)(印、長山三・大傳馬一・金錢不用・長谷川)	渡辺儀藏様、御店中様(○様)	状	
W7	34	113				(はがき、御品切物取合十六箇并ニ金朱包御注文の御札などにつき)	(明治10年)四月十一日	東京本町三・小西弥七(印、<弥久>本町・三丁目)	磐城國刈田郡白石中町・渡邊儀藏様、甚藏様	状	
W7	34	114				(はがき、上紺糸三百六十五斤・白糸四百三十など報知、および御用向願上候につき)	(明治10年)三月卅一日	森田吉兵衛	磐城白石・渡辺屋儀藏様	状	
W7	34	115				(書状、<井>○惣三様・<サマ>忠次様御用物遣中無事今日御安着などにつき)	(明治10年)三月廿六日	長山三・長谷川次郎兵衛(まか2名)(印、長山三・大傳馬一・金錢不用・長谷川)	渡辺儀藏様、甚藏様(○様)	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	34	116				(はがき、下地成行ノ義、告状ノ過日和白綿など報知につき)	(明治10年)三月十八日	<大1>東京通四丁目・大文字屋庄六	磐城白石中町・渡邊屋儀藏様	状	
W7	34	117				(書状、洋銀六拾匁七分・真綿式百枚など昨今成行申上候につき)	(明治10年)三月十三日	長山三・長谷川次郎兵衛、林七	渡辺儀造様、甚藏様	状	
W7	34	118				(書状、兼而御案内の金円之儀、通運会社ら金百五十円受取入帳仕候、および全国にて高直之由唯今取組見当書上につき)	(明治10年)三月十日	小西弥七(<カネ久>)	渡邊屋儀藏様、甚藏様、御店中(○様)	状	
W7	34	119				(書状、人力車之儀委細承知仕候、および本石町丸彦殿一条早速御遣し、丸彦殿最早閉店ニ相成候などにつき)	(明治10年)三月八日	佐野屋丹兵衛(ほか2名)(<カキヤ木>)	渡邊屋儀藏様、甚藏様、御店中(○サマ)	状	
W7	34	120				(はがき、<カサ>成行之儀和製のいさし向につき)	(明治10年)三月八日	本町三・小西弥七	磐城白石・渡辺儀藏様、御店中様	状	
W7	34	121				(はがき、上白・並白など成行申上、御注文成し下されたく候につき)	(明治10年)三月五日	<大1>東京通四丁目・大文字屋庄六	磐城白石中町・渡邊屋儀藏様	状	
W7	34	122				(書状、昨冬中御願申上候大物代金之内、通運会社便ヲ以金百円請取入帳仕候につき)	(明治10年)三月一日	伊勢屋利平、直七(印、<カキヤ平>堀江壹・金銀不用・伊勢屋)	渡邊屋儀藏様、甚藏様、御店中様	状	
W7	34	123				(書状、此度御注文御申上候、および金百円請取につき)	(明治10年)二月廿七日	長山三・長谷川次郎兵衛、林七(印、長山三・大傳馬一・金銀不用・長谷川)	渡辺屋儀藏様、甚藏様(○様)	状	
W7	34	124				(はがき、兼而御安着長寸代金百五十円通運会社ら正ニ受取入帳仕候につき)	(明治10年)二月廿六日	東京本町三・小西弥七(印、<カネ久>本町三丁目)	盤城白石中町・渡邊屋儀藏様、甚藏様	状	
W7	34	125				(書状、しかれば金百圓通運便を以過る廿四日無事着、および貴地御景氣御伺などにつき)	(明治10年)二月廿七日	佐野屋丹一郎(ほか2名)(印、<カキヤ木>野州・宇都宮・寺町・佐野屋丹一郎)	渡邊屋儀藏様(ほか2名)	状	
W7	34	126				(書状、商品取引・相場直段などにつき)	(明治10年)二月廿六日	佐野屋丹兵衛(ほか2名)(印、<カキヤ木>東京大傳馬壹丁目・佐丹本店)	渡辺屋儀藏様、御店衆中様	状	
W7	34	127				(書状、品物代金五拾円会社便リヲ以御出円成し下され候につき)	(明治10年)二月廿六日	佐野屋丹兵衛(ほか2名)(印、東京・大傳馬・佐野丹)(<カキヤ木>)	渡邊屋儀藏様、甚藏様、御店衆中様(○様)	状	
W7	34	128				(はがき、旧冬物差引にて相違之由早速取調候処、下店申取無く御詫申上候につき)	(明治10年)二月廿五日	丁子や甚兵衛	磐城白石・渡邊や儀藏様	状	
W7	34	129				(はがき、昨秋中御用品物代金百円有り難く入帳仕候につき)	(明治10年)二月廿四日	野州宇都宮・佐野屋久右衛門元七	磐城白石・渡邊屋儀藏様、甚藏様	状	
W7	34	130				(はがき、拙店伊兵衛儀御申上、御厚情御引立の御礼、および今般通運会社へ金百五拾圓御差出し下され無事入帳仕候につき)	(明治10年)二月廿四日	(徒宇都宮)玉屋長藏(印、野州・宇都宮)	磐城白石駒・渡辺屋儀藏様	状	
W7	34	131				(書状、来月上旬にも相至り御両家様御申上候につき)	(明治10年)二月廿二日	佐野屋丹兵衛(ほか2名)(<カキヤ木>)	渡邊屋儀藏様、甚藏様、御店中様(○サマ)	状	破損あり

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	34	132				(書状、惣仕切書御入手下され通運会社へ金百五拾円入金の御礼、および生糸之儀退々下向き当分御売物には御見切兼候由などにつき)	(明治10年) 二月廿二日	小西弥七 (<ネ久>)	渡邊屋儀藏様、甚藏様、御店中様(○様)	状	
W7	34	133				(書状、人力車二月末・三月上旬迄二出来次第船積にて出荷予定につき)	(明治10年) 二月十七日	佐野屋丹兵衛(ほか2名)	渡邊屋儀藏様、甚藏様、御店中様	状	
W7	34	134				(書状、兼而御注文のくり綿・唐糸積入御案内などにつき)	(明治10年) 一月十九日	長谷川次郎吉、つる八(印、<ヤ三>大傳馬)	渡部屋儀藏様、甚藏様	状	
W7	34	135				(書状、旧冬中成し下され正金之義無事着にて入手仕候、および品物払底のため一寸申上置候につき)	(明治10年) 一月十一日	長谷川次郎吉、つる八(印、<ヤ三>大傳馬)	渡邊屋儀藏様、甚藏様	状	
W7	35	1				(覚、か吉殿・喜三郎殿・儀七郎殿ほか4名分商品代金書上、帳簿の一部カ)	(明治・年月日未詳)			状	
W7	35	2				(商品代金勘定帳)	(明治・年月日未詳)			冊	丁はずれ、破損あり
W7	35	3				記(旧十二月のかり・たなかりなど金銭メ四拾三円七拾九錢五厘勘定につき)	(明治・年未詳) 旧十二月廿八日			状	
W7	35	4				記(旧八月・旧九月のかり・たなかり金銭メ拾七円五拾貳錢勘定につき)	(明治・年未詳) 旧九月十八日			状	
W7	35	5				記(旧十月・旧十一月のかり・たなかり金銭メ五拾円貳拾錢五厘勘定につき)	(明治・年未詳) 旧十一月卅日			状	
W7	35	6				記(松助・菊助など九月から旧十二月人夫書上)	(明治・年未詳) 旧十二月一日			状	
W7	35	7				(金銭勘定帳、反古紙として利用予定カ)	(明治・年月日未詳)			冊	
W7	36	1				口上(袴買入にて金貳切御かし下されたく候につき)	(慶応3年) 四月二日	田町・勇之進	本家渡辺やしち場御方様	状	
W7	36	2				口上(買入の品替成し下されたく候につき)	(慶応3年) 六月廿四日	兵吉	渡辺様	状	
W7	36	3				覚(惣兵衛殿へかすり篇かたびら袴買入代金書向貳朱御渡シ下され候につき)	(慶応3年) 五月十三日	柳町・今朝之介(印)	○様	状	
W7	36	4				覚(吸物わん代金書歩貳朱など書上)	(慶応3年)			状	
W7	36	5				(書状、別紙拜借手形につき)	(慶応3年) 七月十一日	佐川駒之進	渡部屋儀藏様御内・御手代様中	状	
W7	36	6				(覚、田町清助の品物御座候につき)	(慶応3年) 四月廿三日	田町・清助		状	
W7	36	7				口上(紺しまゆかた袴買入代金三朱請方仕候につき)	(慶応3年) 七月廿七日	本町・小田や安藏	中町・しちや儀藏様	状	
W7	36	8				覚(かたびら袴買入代金貳分一朱、田町ノおすいと申者ニ御貸し候得共、万一渡方ニまつがへなども御座候ハ、拙者方ニ而分方仕候につき)	(慶応3年) 六月廿四日	請合人・松次(印)	渡辺店入衆中様	状	
W7	36	9				覚(かたびら袴買入代金貳切ト六拾七文請方仕候につき)	(慶応3年) 六月廿三日	請合人・國分丈助(印)	渡辺様店入衆中	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	36	10				(覚、先刻貸受人候六切式朱相添上候につき)	(慶応3年)八月二日	本町・源之丞	中町・渡辺義藏様	状	
W7	36	11				(書状、先日中儀藏様二願置候質物、五兵衛来ル廿七日ニ差上申候につき)	(慶応3年)	小原村・長藏	渡辺や本家・儀藏様	状	
W7	36	12				覚(金四歩御預り仕候につき)	(慶応3年)	太田屋熊吉	渡辺屋儀藏様	状	
W7	36	13				(覚、脇指式本質入代金貳両、私親頼大澤忠治郎殿へ御渡シ下されたく候につき)	(慶応3年)六月晦日	巨り町・京三郎(印)	渡部や様	状	
W7	36	14				覚(小夜着浅黄草など質入メ三品書上)	(慶応3年)			状	
W7	36	15				覚(茶しま半てん質入代金壹切、手形紛失につき)	(慶応3年)五月廿四日	小田屋安藏	渡辺や手代様	状	
W7	36	16				(覚、金六両の質物、此者に御渡し成し下されたく願上候につき)	(慶応3年)七月三日	小原村東分・直治	白石中町二而・渡部儀藏様	状	
W7	36	17				口覚(手形紛失のため御氣遣い無く此者へ御渡し下されたく候につき)	(慶応3年)五月九日	万五郎	上	状	
W7	36	18				覚(木綿縮女單物九枚質札紛失、相違無く此度請戻候につき)	卯(慶応3年)五月二日	普門(印)	渡部義藏殿	状	
W7	36	19				覚(質入代金三切、此者ニ御かし下され候につき)	(慶応3年)十月	長利内	本家渡部様	状	
W7	36	20				(俳句書上、あさくもり晴て蝶飛日和りかな、ほか7句、下書カ)	(慶応3年)			状	
W7	36	21				覚(本町重次郎預り置候金壹切、二、三日之内勘定相済につき)	卯(慶応3年)四月八日	渡部屋儀藏	本町・武治様	状	
W7	36	22				(覚、風かは・茶嶋もめん・たか羽おり代金七切内貳切利足指上申候につき)	(慶応3年)四月八日	三沢村・善之助	渡部屋義藏様	状	
W7	36	23				(覚、こんしま半てん壹つ代銀九百文、今日質札持参仕らず、何卒今十四日ニ御渡し成し下されたく願上候につき)	(慶応3年)四月十四日	大町村・忠兵衛	上	状	
W7	36	24				(覚、おきの熊之助・丸か、み書上)	(慶応3年)四月	三井藤太	御本家・渡部様	状	
W7	36	25				口上(五切茶嶋など代金貳分一朱指上、先日利足不足之分も御指行下され候につき)	(慶応3年)四月十五日	幸七	半兵衛殿	状	
W7	36	26				(書状、金四切借用致置候、今日籠紋上下・せいごはかま式品利私致し、しち札相直し下され候様御願みにつき)	(慶応3年)四月朔日	田町・勇之進	本家渡部やしち場御方様中	状	
W7	36	27				覚(金壹切三朱、此者ニ御渡し下さるべく候につき)	(慶応3年)三月廿二日	及	本家・渡部屋様	状	
W7	36	28				口上(茶田裕志枚代金壹歩三朱、拙者請合のため御渡し成し下されたく候につき)	(慶応3年)三月十六日	本町・小田屋安藏(印)	渡邊屋儀藏様	状	
W7	36	29				口上(此者耕野村利八と申者、間違などこれ無く候間、何程成共御かし下されたく願上候につき)	卯(慶応3年)ノ三月廿五日	柴田屋久藏(印)	渡部屋様ノしち場	状	
W7	36	30				(覚、半切嶋給五書上)	(慶応3年)三月十三日	官の屋(印)	本家・渡部	状	
W7	36	31				おほへ(ゆかた質入代金壹朱など手形紛失につき)	(慶応3年)正月	請負人・象藏(印)	渡辺や手代様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	36	32				口上(大蔵村常吉と申者へ御かし成し下された く候につき)	(慶応3年)四月十七日	しばた屋久蔵	渡辺屋様ノしち場	状	
W7	36	33				覚(はがた間違も御座無き物にて此者へ御渡し 下されたく候につき)	(慶応3年)四月十八日	長町・和太郎	中町・本家渡辺屋様	状	
W7	36	34				(書状、丑ノ十一月廿七日之手形紛失につき)	(慶応3年)四月十九日	短ヶ町・麩屋寅八	渡部甚蔵様、御手代様中	状	
W7	36	35				(書状、其御町善吉殿御宅へ御預り仕候帯草物な どにつき)	(慶応3年)三月六日	かく山店	○御店様	状	
W7	36	36				覚(はおり袴帯枚代金式切、手形紛失につき)	(慶応3年)四月七日	御小人・久七	渡辺屋儀蔵様、御手代様中	状	
W7	36	37				(覚、女帯志本など質入のため正金三切式朱御わ たし下されたく候につき)	(慶応3年)四月二日	大町村・吉右衛門	白石中町・甚蔵様	状	
W7	36	38				おぼへ(去年十二月五日御願仕置候品、今日此子 共ニ御渡し下さるべく候につき)	(慶応3年)三月十七日	大町・太郎吉	渡部義蔵様	状	
W7	36	39				(覚、こんしまの男ゆかた帯枚代金帯切帯朱、手 札ふんしつ仕候につき)	(慶応3年)四月十七日	本町・小田屋内・月右衛門 (印)	中町・儀蔵様	状	
W7	36	40				(書状、桜小路三井様参候処、表家名前ニテ先月 朔日・二日方ニ金式分借方につき)	(慶応3年)三月四日	井丸・平吉	○半兵衛様、御買場様	状	
W7	36	41				(覚、拵付刀および脇指寸法などにつき)	(慶応3年)四月廿九日			状	
W7	36	42				(覚、二月九日茶しま松帯枚預け、代銭帯貫五百 文借り受のところ、此度請方仕候につき)	如(慶応3年)六月十四日	検断・今朝之助	中町・質屋義蔵様	状	
W7	36	43				(覚、大町村常吉品物共しち入仕候処、右しち札 取長仕候と申事につき)	如(慶応3年)ノ五月十一日	本町・小田屋栄蔵	渡邊屋儀蔵様	状	
W7	36	44				覚(かや三張にて金三両三分借用につき)	(慶応3年)六月六日	寺前・由兵衛	渡部や御内・半兵衛様	状	
W7	36	45				口上(此者大町村長治と申、御氣支無く質物御預 り下されたく候につき)	如(慶応3年)ノ五月十二日	大畑屋惣右衛門	質屋義蔵様	状	
W7	36	46				口上(紺絹帯反ほか質物2点書上)	(慶応3年)		中目留吉殿	状	
W7	36	47				口上(右之者如才など御座無き者にて御遠慮無 く御預り○印五切御かし成し下されたく願上候 につき)	(慶応3年)五月十一日	伊東屋忠之助	○御店様	状	
W7	36	48				(包紙)	(慶応3年)	三沢村五丁目屋敷・阿部喜 代治(印)		状	
W7	36	49				口上(丑十二月廿七日質物生糸預け置、寅三月利 済のため生糸此度此者ニ御渡し下さるべく候に つき)	(慶応3年)三月十九日	上小原村分・長蔵	白石中町・質や・儀蔵様	状	後欠カ
W7	36	50				口上(右品拙者預之品、金子入用のため品主ニ貸 渡申候間、成丈御借成し下されたく願上候につ き)	(慶応3年)四月廿五日	下戸沢分・赤井畑直衛	白石中町二而・渡部儀蔵様	状	
W7	36	51				(覚、此品へ金式切半借用致したく候につき)	(慶応3年)			状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	36	52				口上(右之品にて金三歩御貸し下されたく願上候につき)	(慶応3年)	左近	渡部や半兵衛殿	状	
W7	36	53				口瀆(古はぬい・むぢり巻枚にて借用銭六百文、此人へ御渡し下さるべく候につき)	(慶応3年)四月廿三日	柳町・勝五郎	本家・渡部様	状	
W7	36	54				口上(単半てん巻枚・帯巻本質入にて借用銭九百文願上候につき)	(慶応3年)五月七日	小田屋安藏	渡邊屋儀藏様	状	
W7	36	55				口上(金巻歩式未にて此品之内ゆかた巻枚、此者へ御渡し下されたく候につき)	(慶応3年)七月十六日	本町・小田屋安藏(印)	渡邊儀藏様	状	
W7	36	56				(覚、犬卒都婆村久助、御宅へさらし式反などしち物御預り願上候につき)	如(慶応3年)ノ七月九日	只野巳之助	渡邊儀藏様	状	
W7	36	57				(覚、只今拙者義品物早速此者ニ御渡し成し下されたく候につき)	(慶応3年)七月十二日	勘之丞	渡邊義藏様	状	
W7	36	58				分借證書(證文指出のため右品相渡し下されたく候につき)	(慶応3年)五月十八日	今朝之助	渡邊義藏様	状	
W7	36	59				覚(当正月二日私弟傳四郎品物御預り金子巻歩式未借受申候所、此度私方ニ而受方仕候につき)	如(慶応3年)六月三日	本郷・松五郎(印)	渡邊屋・質屋様	状	
W7	36	60				(覚、しち之物三品にて金三両御かし下さるべく候につき)	(慶応3年)四月廿七日	南小路ノ・勝見四郎右衛門(印)	中町・渡部儀藏様	状	
W7	37	1	1			(通知、区務所納税金壹円三拾貳錢につき)	(明治・年未詳)二月廿四日	郡山	渡辺義藏	状	こより共
W7	37	1	2			(通知、区務所納田方印税金壹円貳拾錢につき)	(明治・年未詳)二月廿九日	郡山村	渡辺儀藏	状	
W7	37	1	3			(通知、区務所納田方税金貳円三拾六錢壹厘につき)	(明治・年未詳)二月廿二日	郡山	渡辺儀藏	状	
W7	37	1	4			記(村費貳拾壹錢九厘支払通知につき)	(明治・年未詳)七月三十一日	戸長役場	渡辺惣吉	状	
W7	37	1	5			記(村費三円四錢六厘支払通知につき)	(明治・年未詳)七月三十一日	戸長役場	渡辺儀藏	状	
W7	37	1	6			記(租税五円六拾四錢壹厘支払通知につき)	(明治・年未詳)四月廿二日	戸長役場	渡辺儀藏	状	
W7	37	1	7			記(租税貳拾三錢壹厘支払通知につき)	(明治・年未詳)四月廿二日	戸長役場	渡辺惣吉	状	
W7	37	1	8			記(租税六円三拾錢支払通知につき)	(明治・年未詳)三月十日	戸長役場	渡部儀藏	状	
W7	37	1	9			(断簡)	(明治・年未詳)貳月十六日			状	
W7	37	1	10			(覚、租税壹円■錢壹厘支払通知につき)	(明治・年未詳)貳月廿二日	白石役場	渡辺儀藏	状	墨書判読不明の部分あり
W7	37	1	11			(覚、租税民費八円三拾錢貳厘支払通知につき)	(明治・年未詳)六月廿九日	白石本町元区務所	郡山村・渡部儀藏	状	
W7	37	1	12			(覚、田方式分税四拾八錢支払通知につき)	(明治・年未詳)本月十九日	区務所	郡山・渡邊儀藏	状	
W7	37	1	13			(覚、宅地畑税貳拾五錢八厘支払通知につき)	(明治・年月日未詳)	元区務所	渡部惣吉	状	
W7	37	1	14			(覚、宅地畑税壹円三拾三錢六厘支払通知につき)	(明治・年月日未詳)	元区務処	渡邊儀藏	状	
W7	37	1	15			(覚、租税貳円五拾壹錢六厘支払通知につき)	(明治・年未詳)本月廿二日	一小区々務所	郡山・渡邊儀藏	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	37	1	16			(覚、郡山川除追割人足七人志分勘定につき)	(明治・年月日未詳)		渡邊儀藏	状	
W7	37	1	17			(覚、郡山岩崎川除竹部わり勘定につき)	(明治・年月日未詳)		渡邊儀藏	状	
W7	37	1	18			(覚、畑地山林税式円五拾壹銭六厘支払通知につき)	(明治・年月日未詳)	区務所	渡邊儀藏	状	
W7	37	1	19			(覚、田方五分民費五分戸数地価合金拾三円拾壹銭六厘支払通知につき)	(明治・年未詳)十二月廿九日	事務扱所	渡邊儀藏	状	
W7	37	1	20			(覚、田方五分民費五分地価合金七拾五銭支払通知につき)	(明治・年未詳)十二月廿九日	事務扱所	渡邊惣吉	状	
W7	37	2				(覚、当郡五小区務所損失のため通知につき)	(明治12年)一月十七日	戸長役場	渡部義藏殿	状	
W7	37	3				證(反物代金百圓預りにつき)	明治十二年卯十月十八日	白石・渡邊儀藏(印)	越後見付・佐藤清兵衛殿	状	
W7	37	4				証(郡山村岩崎川除人足拾人代金式圓受取につき)	(明治12年)五月廿九日	高子利平(印)	伊藤伊之助殿	状	
W7	37	5				(覚、私方へ金三十円御貸につき)	(明治12年)三月六日	○義藏	御本所様	状	
W7	37	6				(断簡、金三円)	(明治12年)			状	
W7	37	7				(覚、金十円預りにつき)	(明治12年)五月十三日	○甚藏	圓治殿	状	
W7	37	8				(覚、御願上置候金壹切、此者へ御渡し下されたく候につき)	(明治12年)	川村代(印)	渡邊様	状	
W7	37	9				(覚、佐藤忠治ほか4名第三期及地方税協議費納入につき)	(明治12年)十二月廿日	戸長役場(印)	組長・安藤栄治郎殿	状	破損あり
W7	37	10				記(掛金メ六円受取につき)	辰(明治13年)ノ一月廿日	菊地庄兵衛、世話人中	渡辺儀藏様、同庄松様	状	
W7	37	11				記(塩代金のうち式拾円、丸二店へ御渡し成し下され候につき)	(明治12年)六月五日	渡邊留之助(印)、磐城・亘理・渡留)	渡部儀藏様	状	
W7	37	12				(覚、金五拾五圓借用致したく候につき)	(明治12年)五月廿日	郡山村・川村儀三郎(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	37	13				(書状、拝借金返上のところ御猶予成し下されたく候につき)	(明治12年)四月十四日	川田源語	渡邊儀藏様	状	
W7	37	14				(書状、過ル旧二日代金取立などにつき)	(明治12年)旧四月八日	川田源語	渡部儀藏様	状	
W7	37	15				(書状、拝借金昨夕まで御勘定のところ、当月中ニ一字御返金仕りたく候につき)	(明治12年)五月三十日	川田源語	渡邊儀藏様	状	破損あり
W7	37	16				(覚、金五円拝借相願申候につき)	(明治12年)旧四月十八日	小じま・隠居	渡部儀藏様	状	
W7	37	17				(書状、四ツ目屋御借入金来月送御日延願上候につき)	(明治12年)五月廿四日	<ナル久>栄治郎	○御兄様	状	
W7	37	18				(書状、○印三、四本だけ御都合願上候につき)	(明治12年)五月十八日	<ナル久>栄治郎	○御兄様	状	
W7	37	19				(覚、三寸五分釘御有合、式十把なり三十把なり此者へ御貸下されたく願上候につき)	(明治12年)五月廿日	<ナル久>栄治郎	○様	状	
W7	37	20				記(絹地三反ねり方御依頼により出来、金式十五銭いただきましたく候、および醬油十盃此者へ御かし渡願上候につき)	(明治12年)五月十八日	堤	渡邊様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	37	21				(書状、<ジガミー>方貸金之儀仰せ下され承知仕候につき)	(明治12年)六月二日	井丸・佐吉	御本家御尊兄様	状	
W7	37	22				(覚、不足代金御渡し下されたく候につき)	(明治12年)旧四月廿四日	慶吉(印)	渡辺様	状	
W7	37	23				記(たまり十盃、悴二御貸下されたく候につき)	(明治12年)旧四月廿三日	横山孫吉(印)	渡辺儀藏様	状	
W7	37	24				送り状(惣助殿分楮八俵などにつき)	(明治12年)五月廿二日	渡辺留之助(印)	渡部儀藏様	状	
W7	37	25				記(猛式拾壹俵送り申候につき)	(明治12年)五月廿九日	渡辺留之助(印、<ヤト>撃城・互理・渡留)	渡辺儀藏様	状	
W7	37	26				(書状、慶古水事之儀のため御厚情之儀御礼につき)	(明治12年)旧弐月廿七日	郡山村・川村儀三郎	中町・渡辺儀藏様	状	
W7	37	27				記(たまり十盃御かし渡願上候につき)	(明治12年)旧七月一日	つゝみ	寿丸様	状	
W7	37	28				(覚、金五拾銭など書上)	(明治12年)			状	
W7	37	29				送状之事(亘り町渡辺留之助殿地楮五拾六俵送り上申候につき)	明治十三年三月十六日	水戸安吉(印)	渡辺儀藏様	状	
W7	37	30				記(たまりかす金四円分御かし渡し成し下されたく候につき)	(明治13年)旧四月廿二日	堤	中町・寿丸様	状	
W7	37	31				(書状、先引今は弐十円二候得共伊、弐十五円二成し下され候などにつき)	(明治13年)五月三十日	井丸	御本家様	状	
W7	37	32				(書状、御依頼の染もの早速御届申上、金子の義ハ請取次第相渡し申候由御承引成さるべく候につき)	(明治13年)六月四日	(今東京)榮治郎	御兄様(渡邊儀藏様)、惣吉様	状	
W7	37	33				(書状、先日御願申上候金、熊助差上候間、此者へ拝借成し下されたく願上候につき)	(明治13年)四月廿二日	佐藤吏治郎	渡邊義藏様	状	
W7	37	34				(書状、拝借之金当秋送返済御猶予成し下されたく相願候につき)	(明治13年)六月十四日	川田源語	渡邊儀藏様	状	
W7	38	1	1			入記(商品番号四弐四など諸色代銀メ五貫八百弐拾目につき)	(文久3年)			状	
W7	38	1	2			入記(商品番号三弐弐など書上)	(文久3年)			状	
W7	38	1	3			入記(三ばん三七弐などメ拾貫三百六十三匁につき)	(文久3年)			状	
W7	38	1	4			入記(弐ばん四五弐などメ拾貫五百三匁につき)	(文久3年)			状	
W7	38	2				覚(売上残金明八日取引荷物御渡しにつき)	(文久3年)八月七日	金右衛門(印)	白石中町・藤平様	状	
W7	38	3				四百弐拾番入記(弐拾九、九貫目指せ申候につき)	丑(慶応元年)ノ九月廿日	仙台生糸造問屋・得可主屋徳藏(印)	荷主・高橋屋喜右衛門殿、白石村ノ渡部屋義藏殿	状	
W7	38	4	1	1		覚<カロ>・〇・<ジガミー>各三口合金四両弐弐弐朱勘定につき)	(文久3年)			状	
W7	38	4	1	2		覚(金四十四料弐分弐朱余受取につき)	亥(文久3年)ノ八月五日	<ジガミー>平次郎	豊吉様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形態	状態／備考
W7	38	4	1	3		(寛)糸口・丸角口ノ壹貫五百五十九匁余勘定につき)	(文久3年)			状	
W7	38	4	1	4		入記(三巻八など三口ノ金百両壹分式朱余勘定につき)	(文久3年)			状	
W7	38	4	1	5		(寛)武〇七など書上)	(文久3年)			状	
W7	38	4	1	6		約定手形之事(生糸七貫目など売却につき)	亥(文久3年)ノ七月廿六日	渡部屋信五郎(印)	新谷村・専左衛門様、市左衛門様	状	
W7	38	4	1	7		寛(木綿ち、み・たまりかすなど拜借、此ものへ御渡し下されたく願上候につき)	(文久3年)八月六日	番丁	中町様	状	
W7	38	4	2	1		(断簡、四百三十五)	(文久3年)			状	
W7	38	4	2	2		(断簡、五貳四)	(文久3年)			状	
W7	38	4	2	3		(断簡、貳百三十七)	(文久3年)			状	
W7	38	4	2	4		(断簡、四百八十五)	(文久3年)			状	
W7	38	4	2	5		(断簡、貳七)	(文久3年)			状	
W7	38	4	2	6		(断簡、貳五四春次)	(文久3年)			状	
W7	38	4	2	7		(断簡、貳百八十)	(文久3年)			状	
W7	38	4	2	8		(断簡、三八五)	(文久3年)			状	
W7	38	4	2	9		(断簡、三七)	(文久3年)			状	
W7	38	4	2	10		(断簡、改メ四七八・五〇九)	(文久3年)			状	
W7	38	4	2	11		(断簡、貳七五)	(文久3年)			状	
W7	38	4	2	12		(断簡、三巻七)	(文久3年)			状	
W7	38	4	2	13		(断簡、四貳六)	(文久3年)			状	
W7	38	4	2	14		(断簡、三百九十)	(文久3年)			状	
W7	38	4	2	15		(断簡、三百十六)	(文久3年)			状	
W7	38	5	1			寛(売上代金百四拾貳両余請取につき)	い(文久3年)八月十四日	高橋屋権三郎(印)	渡藤兵衛様	状	
W7	38	5	2			寛(生糸九百八拾三匁代金拾四両三步勘定につき)	(文久3年)			状	
W7	38	6	1			寛(百十六などノ五百貳十二代金七両壹朱勘定につき)	(文久3年)			状	
W7	38	6	2			寛(金剛鏡など諸色代金ノ六両壹歩壹朱ト七百文勘定につき)	(文久3年)			状	
W7	38	7				寛(売上代金ノ百壹両貳歩余勘定につき)	(文久3年)九月六日	越後屋惣兵衛	渡部や儀藏様、藤兵衛様	状	
W7	38	8	1			入記(三八七など此之内金三拾八両一分余につき)	(文久3年)			状	
W7	38	8	2			入記(三六貳など貳拾把ノ五貫八百九拾九匁につき)	(文久3年)			状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7 38	9				(和歌8首書上)	(文久3年)			状	破損あり
W7 38	10				入記(式七式などメ五貫五百〇壹匁ほかにつき)	(文久3年)			冊	
W7 38	11				口上(御面御様ながら前書状壹通御返却下されたく候につき)	(文久3年)正月廿日	とし	〇様	状	
W7 38	12				覚(壹ばん生糸九匁八百八匁などメ三拾貫六百七十三匁、此金四百拾貳貳式分仁米勘定につき)	亥(文久3年)ノ六月廿四日	渡邊屋庄松、最上屋平次郎	岩崎様、取次・酒井屋辰次郎殿	状	
W7 38	13				(覚、奥州白石行荷物運賃尋ねにつき)	(文久3年)正月十九日	上西店	せと物町・会社様	状	
W7 39	1				片平興左衛門御拜借之屋根指査調(見積書)	(明治)三十二年二月三日	郡山村・高子熊藏		状	
W7 39	2				金子借用証(案、壹百円、白石本郷宅地・建物抵当につき)	明治十八年一月何日	刈田郡白石本郷本町四百六十七番地・借用人・山田久之助(ほか2名)	渡邊儀藏殿	状	
W7 39	3				預金内渡シ口(十八年二月二日金貳拾七銭六厘、十九年三月十六日同四円二十六銭八厘につき)	(明治・年月日未詳)			状	破損あり
W7 39	4				驛馬江出頭調左ニ(メ拾壹日出勤につき)	明治十八年十二月廿九日	片平興左衛門		状	
W7 39	5				(覚、金貨百十六円六十銭など両替相場書上)	(明治)十七年十月	東京平松町十九番地・第四十五国立銀行		状	
W7 39	6				(覚、白紙布・三円六十五銭など商品代金書上)	(明治・年月日未詳)			状	
W7 39	7				(覚、壹朱銀七百弍十匁などメ五十匁余ほか勘定につき)	(明治・年月未詳)十月十日			状	
W7 39	8				(書状、仰せの通り素より預り領収共二五二取換候などにつき)	(明治・年月未詳)三月廿九日	大味	寿丸様	状	破損あり
W7 39	9				材木見積り左ニ(見積代金拾六圓九拾五銭につき)	(明治・年未詳)旧九月二日	高橋清三郎	渡邊儀藏様	状	
W7 39	10				証(金四拾八円拾貳銭五リ請取、間違にて墨引につき)	明治貳拾年亥八月三十一日	渡邊儀藏(印、渡儀)	上西国八殿	状	
W7 39	11				(書状断簡、昨日願置候金之内など、裏面に八十三式円四十八銭六リとあり)	(明治・年月日未詳)			状	
W7 39	12				(書状、本日午後出館のところ他用にて猶一泊シ、明朝出立仕候、および例年ノ思召御初穂を山崎円二方へ御渡シ下されたく候につき)	(明治・年月未詳)旧十五日夜	柳左近	渡辺儀藏様	状	報徳熱田講社の票紙使用
W7 39	13				記(秋四寸角・壹丈三尺・壹本など秋五本相渡し候につき)	亥(明治20年)六月			状	
W7 39	14				(覚、屋敷三口メ式反六畝廿分、地価金六拾九円八拾七銭弍厘勘定につき)	(明治・年月日未詳)			状	
W7 39	15				(ほかき断簡、兵庫丸出帆)	(明治・年月日未詳)	伊勢町川岸・山中屋茂兵衛(印、<small>コレは>東京・伊勢町・運送方・山中屋)	磐城白石・渡邊儀藏様	状	ほかきの右半分のみ
W7 39	16				(書状、大河行の件、十一時二列車にて到着につき)	(明治・年月日未詳)	丹野清兵衛	渡辺又四郎様	状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7 39	17				(覚、安藤殿へ織地巻反につき)	(明治・年月日未詳)			状	前後欠カ
W7 39	18				(覚、遠藤方へ持参金三門書上)	(明治・年月日未詳)十月廿五日			状	
W7 39	19				(覚、糊五斗など常費分書上)	(明治・年月日未詳)			状	
W7 39	20				共進會書圖販額調(紙布販売額書上の雛型)	(明治・年月日未詳)			状	W7-39-22の文中「別紙雛型」にあたるものか
W7 39	21				(付札、地券八拾七錢五厘)	(明治・年月日未詳)		佐藤勇治様	状	
W7 39	22				(通知、東京上野共進會出品の紙布販額至急別紙雛型之通ニ取調指出相達し候につき)	(明治・年月未詳)十二月十七日	白石北郷村三ヶ村戸長役場(印)	渡邊儀藏	状	
W7 39	23				使(来ル十一月日連夜分報恩講のため十七日・十八日例年之通庵末之時進申したく候につき)	(明治・年月未詳)十二月	伝来寺		状	
W7 39	24				口上(食貨荷丈ヶ指上候につき)	(明治)廿年四月三十日	上西定三郎(印、磐城国白石停車場前・上西陸送店)	渡辺貴店様中	状	
W7 40	1	1			覚(武○式・三四など惣メ金式拾八両三歩式未勘定につき)	(近世・年月未詳)二月十二日		渡邊屋儀藏様	状	こより共 こより付札「申奉分酉ノ 春語或春巻藏仕切」とあ り
W7 40	1	2			覚(敷屋<マ>屏風代など諸色代金メ廿六両三朱・三十文勘定につき)	(近世・年月未詳)五月廿一日	さゝ木や米作(印)	渡部儀藏様、沼口屋喜藏様	状	
W7 40	1	3			覚(下布帆・下古手取合三固代金四拾六切受取につき)	(近世・年月未詳)八月二日	長谷川吉郎次(印、奥州山形・十日町・長谷川)	白石町・渡邊屋儀藏様	状	
W7 40	1	4	1		覚(井丸式○式・壹九八など諸色代錢メ拾貫五百八十三文内三貫五百九十文勘定につき)	(近世・年月未詳)十月廿三日	柴喜様	柴喜様	冊	W7-40-1-4-1-2収録一括
W7 40	1	4	2		覚(商品代銀惣メ拾五貫百九十文勘定につき)	(近世・年月未詳)四月朔日	柴田屋喜吉	渡邊屋平治郎様	冊	
W7 40	1	5			(覚、商品代銀メ八貫三匁勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	前後欠
W7 40	1	6			覚(付糸など諸色代金七拾六両勘定につき)	(近世・年月未詳)四月朔日	柴田屋喜吉	渡邊屋平治郎様	状	
W7 40	2	1			覚(忠兵衛・式本代金三分式朱・三百三十文など請取につき)	子(近世)三月十八日	斎川・半兵衛(印)	渡部屋儀藏様	状	
W7 40	2	2			(覚、十四・甚印五十状など書上)	酉(近世)ノ正月廿二日			状	
W7 40	2	3			覚(十七・兵印百五十状送りにつき)	(近世・年月未詳)十二月廿四日	舟生・斎藤喜藏(印)	渡部屋甚藏様、阿子嶋佐兵衛様	状	
W7 40	2	4			覚(勘印廿六状代金式切・八文など送りにつき)	(近世・年月未詳)正月十二日	船生・斎藤喜藏	渡辺屋儀藏様、(白石本町)渡辺屋勘藏様	状	
W7 40	2	5			覚(ちり紙代金九十一切半など書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W7 40	2	6			覚(庄印八十状代金六切式朱・五十文など売上申候につき)	(近世・年月未詳)五月廿八日	舟生ノ・斎藤喜藏(印)	白石ノ・渡辺屋甚藏様	状	
W7 40	2	7			(書状、去暮中奉送り上候紙代残金御取調御仕切成し下されたく候につき)	(近世・年月未詳)三月十九日	斎藤喜藏	渡辺屋甚藏様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	40	2	8			寛(惣大分ちり紙拾八本など紙代金メ四拾八切三朱ト式貫四百文御渡し下されたく候につき)	(近世・年未詳)九月廿八日	平村・平兵衛(印)	中町・渡部義藏様	状	
W7	40	2	9			寛(十式式ト五・金拾切書上)	(近世・年月日未詳)	衆七	渡辺屋甚藏様	状	
W7	40	2	10	1		(寛、三月八日入メ金七切および佐兵衛様々預り代錢壹貫文勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	40	2	10	2		寛(幸介二本代金壹切三朱・百六拾文など三月八日入金書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	40	2	11			(書状、紙ハ引合成立下され候品、右納金之内殘金式分ト六百七拾四文、此者へ御渡し願上候につき)	(近世・年未詳)四月十四日	斎藤喜藏	渡辺屋勘藏様	状	
W7	40	2	12			寛(久之助六切代四百五十文など紙代金メ五両ト壹貫貳百七拾五文・口せん壹貫文勘定につき)	(近世・年未詳)三月廿八日	斎川・利右衛門	白石・渡部屋儀藏様	状	
W7	40	2	13			寛(用次・金四切代三百文など書上、ほかに廿五文口せんおよび駄ちん八十八文渡しにつき)	(近世・年未詳)四月三日	斎川・利右衛門	白石・渡部屋儀藏様	状	
W7	40	2	14			(寛、新印五切式朱・貳百十文など紙代金メ八切式朱・四百十文勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	40	2	15			(寛、運藏式本代金三切半・百五十文など紙十一本代金メ十九切・壹貫七十五文勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	40	2	16			寛(助次九百五十帖など紙メ四千貳百七十勘定につき)	(近世・年未詳)十二月十七日		○様	状	
W7	40	2	17			寛(休七金式切代百文など紙代金メ五両三分三朱奈勘定につき)	(近世・年未詳)三月十五日	斎川・利右衛門	白石・渡部儀藏様	状	
W7	40	2	18			口上(中奉書五帖差上のため金式切御かし下されたく候につき)	(近世・年未詳)二月廿九日	中目村・武藏	義藏様	状	
W7	40	2	19			寛(惣吉殿金苞分など書上)	(近世・年月日未詳)			状	3紙1点
W7	40	2	20			(書状断簡)	(近世・年月日未詳)	従船生・斎藤喜藏	白石町・渡辺屋甚藏様	状	
W7	40	2	21			寛(並下寄紙四百帖代金三拾三切、殘金貳拾五切勘定につき)	(近世・年未詳)三月七日	川張村カ・衆治	白石・渡辺屋義藏様	状	
W7	40	2	22			口演(今日紙貳百帖相送り、うち百帖は厚手のため直段御約束より御働き下されたく候につき)	(近世・年未詳)三月七日	従耕野・喜三郎(印、仙臺・伊具郡・耕野村)	渡辺屋儀藏様	状	破損あり 2紙1点
W7	40	2	23			寛(茂吉下寄紙百五拾状代金三両など紙代金メ九拾五切壹朱勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	40	2	24			寛(十三五・兵印など紙直段取究、および手附金受取につき)	(近世・年未詳)三月十九日	船生村・喜藏、庄藏	白石本町・渡辺屋儀藏様	状	
W7	40	2	25			寛(庄七金式切代百五十文など紙八本メ金拾五切三朱奈勘定につき)	(近世・年未詳)三月廿三日	斎川・利右衛門	白石・渡部屋儀藏様	状	
W7	40	2	26			寛(孫印式百状など送り申上候、御改め御入帳成し下されたく候につき)	(近世・年未詳)三月廿四日	斎藤喜藏、同庄藏	白石本町・渡辺屋義藏様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	40	2	27			(寛、三印百状など紙代金メ廿三切三朱・九文勘定につき)	(近世・年未詳)三月廿四日	馬場糸七	渡辺屋甚藏様	状	
W7	40	2	28			入記(杉原彦印七拾状代金八切五朱・五文など指上申候間、御入帳成し下さるべく候につき)	(近世・年未詳)三月八日	川張村・植屋幸助(印、仙台・伊具・川張・植屋)	白石中町・渡辺屋儀藏様	状	
W7	40	2	29			寛(善右衛門七百・八切ト三百七十六文など書上)	(近世・年未詳)十二月十八日	<卯生>	○様	状	
W7	40	2	30			寛(庄印八十など紙代金メ九切余売上申候間、殘金御渡し下されたく候につき)	(近世・年未詳)五月卅日	舟生ノ・喜藏、同庄藏	わた儀藏様	状	
W7	40	2	31			寛(七之助五百状代金五切八朱など指上申候につき)	(近世・年月未詳)十七日	<ジガミー>	○御店様	状	
W7	40	2	32			(書状、昨日出荷式簡分代錢壹貫四百文さし上候につき)	(近世・年未詳)三月廿二日	<卯生>茂吉	○御主人様	状	
W7	40	2	33			入記(杉原松百廿状など紙代金メ貳拾両指上候間、御入帳下されたく候につき)	(近世・年未詳)三月八日	八兵衛	儀藏様	状	
W7	40	2	34			寛(半印杉原三十など指上申候間、代金三拾切余御渡し下されたく候につき)	(近世・年未詳)三月廿五日	八兵衛(印、仙台・伊具・川張・植屋)	儀藏様	状	
W7	40	2	35			寛(金七両壹分貳朱御渡し下されたく候につき)	(近世・年未詳)三月十九日	半兵衛(印、奥州・齋川)	渡部屋儀藏様	状	
W7	40	2	36			寛(杉原代印廿状代銀三十五匁三分など売上代銀八十三匁九分・八文請取につき)	申(近世)十二月九日	越後屋惣兵衛(印)	渡辺儀藏様	状	
W7	40	2	37			寛(下寄八印半し貳百状代金拾八切など売上殘金九拾三切五分御渡し下されたく候につき)	(近世・年未詳)三月九日	八兵衛(印、仙台・伊具・川張・植屋)	渡儀様	状	
W7	40	2	38			寛(秀太七本代金四切など書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	40	2	39			寛(清四郎三本代金壹切三朱など入帳につき)	(近世・年未詳)二月廿三日			状	
W7	40	2	40			寛(伊達紙代金・駄賃など諸色代金メ四拾壹兩余のうち、拾五切・貳百五拾九匁不足につき)	(近世・年未詳)三月十五日	<ヤラ上>与右衛門	○御主人様	状	
W7	40	2	41			寛(利印○三千八百五拾帖など紙メ三万四千五百帖書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	40	2	42			人記(下寄八印○貳百帖など御注文品書上、および注文之目録三百帖入手仕候などにつき)	酉(近世)三月五日	つち屋(印、<ワカ>仙臺・川張・植屋)	渡儀様	状	
W7	40	2	43			寛(市印五拾帖など紙代金メ三両勘定につき)	(近世・年未詳)十二月廿日	舟生ノ・喜藏	白石中町・渡部屋甚藏様	状	
W7	40	2	44			寛(清四郎一本・忠助一本など代金メ拾切余勘定につき)	(近世・年未詳)二月廿三日	佐兵衛、儀藏	利右衛門様	状	
W7	40	2	45			寛(佐平・要藏ほか二月・三月分拾式本など勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	40	2	46			(寛、榮藏百帖代金貳切・五百文、良助貳百代金四切・壹貫八十文など書上)	(近世・年月日未詳)			状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	40	2	47			寛(小船ヨ百帖・下寄八印式百帖など惣金三拾両請取につき)	西(近世)ノ二月廿九日	吉郎(印、<ヤ>さ>仙臺・伊具・川張・廻屋)	白石町・渡邊屋儀藏様	状	
W7	40	2	48			寛(平六百帖・弥平百帖など紙代金御渡し下されたく候につき)	(近世・年未詳)八月十四日	佐藤	甚藏様	状	
W7	40	2	49	1		寛(幸助壹本・長右衛門式本など代金ノ三両式分書未勘定につき)	(近世・年未詳)三月八日	儀藏	利右衛門様	状	
W7	40	2	49	2		寛(久之助式本・利惣治三本など代金ノ拾七切・八百十文勘定につき)	(近世・年未詳)二月十九日			状	
W7	40	2	49	3		寛(忠藏式本・専治郎式本・清四郎壹本代金ノ八切卷朱・七百三拾文勘定につき)	(近世・年未詳)二月十九日			状	
W7	40	2	50			(寛 六右衛門四百帖・善右衛門三百帖など書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	40	2	51			(書状、先日中御送申上候紙御売札代金、此ものへ御渡し下されたく願上候につき)	(近世・年未詳)二月廿九日	舟生ノ・喜藏(斎藤喜藏)	白石ノ・わた甚様(白石ノ渡邊甚藏様)	状	
W7	40	2	52			寛(利印・半印・留印ノ千六百帖、品物御改め御入帳下され候につき)	(近世・年未詳)十二月十一日	<ヤ>上>与右衛門	○御主人様	状	
W7	40	2	53			寛(庄之助・百代金壹切三朱ト廿五文、勇作・式百代金三切式未書上)	(近世・年未詳)三月七日			状	
W7	40	2	54			寛(十九日買分・孫兵衛百代金壹切ト壹貫百文など書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	40	2	55			(書状、目六紙、此節遞出不足のため三百状入手仕候につき)	(近世・年未詳)三月五日	川張村・うえや幸助	白石中町二而・渡邊屋儀藏様	状	
W7	40	2	56			寛(三印百状など手金拾切請取につき)	(近世・年未詳)三月廿三日	馬場 糸七	渡辺屋甚藏様	状	
W7	40	2	57			寛(杉原百状など手金五両請取につき)	(近世・年未詳)二月晦日	馬場 糸七	白石町・渡辺屋甚藏様	状	
W7	40	2	58			寛(市印五十状代金式切余など代金ノ拾五切六分余勘定につき)	(近世・年未詳)十二月廿日			状	
W7	40	2	59			(寛、彦久壹本代金壹切三朱・五十文など代金ノ五両・四百七十五文勘定につき)	(近世・年未詳)三月四日			状	
W7	40	2	60			寛(弥平百状代金壹切ト四百七拾五文など書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	40	2	61			寛(三印三百状代金式拾切など勘定につき)	(近世・年未詳)二月五日	糸七	渡辺屋甚藏様	状	
W7	40	2	62			寛(下寄百五拾状代金拾壹切余など勘定につき)	西(近世)三月	八兵衛	渡儀様	状	
W7	40	2	63			寛(伊印など売上申候につき)	(近世・年未詳)二月卅日	舟生ノ・喜藏(印)	白石ノ渡辺屋甚藏様	状	
W7	40	2	64			寛(兵印五十状など代金三切四朱・式文など送上候間、入帳成し下されたく候につき)	(近世・年未詳)三月六日	斎藤 喜藏	白石ノ・渡辺屋義藏様	状	

白石市文化財調査報告書第56集

渡辺家文書Ⅲ 〔現況目録3〕

平成三〇年三月二六日 発行

編集・発行 白石市教育委員会

〒九八九―〇二〇六

白石市字寺屋敷前二五―六

電話 〇二二四―二二―一三四三

印刷 株式会社阿部紙工

※表紙・裏表紙の図は、渡辺家文書の資料より掲載。